

**令和7年度
熊野町総合計画に関する住民意識調査報告書**

令和7年10月

熊野町

《目次》

第1章 調査方法	1
第2章 調査結果	2
1. あなた自身のことや住まいについて	2
2. 熊野町の現在のまちづくりについて	9
3. まちの住みやすさについて	42
4. 今後のまちづくりについて	50

第1章 調査方法

1. 調査の目的

本町では、目指すべき本町の将来像を描き、その実現に向けて実施する施策や事業の体系を示す「第6次熊野町総合計画」（令和3年度～令和12年度）を策定し、まちづくりを進めております。

このアンケート調査は、第6次熊野町総合計画の前期計画（令和3年度～令和7年度）が令和7年度に満了することに伴い、これまでの基本施策やまちづくり指標の進捗状況や成果を検証し、今後のまちづくりの方向性や課題を検討する上での貴重な資料とさせていただくことを目的に実施するものです。

本調査は18歳以上の町内居住者の中から、地域、年齢層ごとに配布数を定め、無作為に抽出した方に無記名での回答をお願いしています。

2. 実施概要

- 調査対象者 : 令和7年6月1日現在、熊野町に住んでいる町内居住者
- 対象数 : 地域、年齢層ごとに配布数を定め、無作為に抽出した方2,500人
- 調査期間 : 令和7年6月27日～令和7年7月11日まで
- 調査方法 : 郵送による配布回収

3. 回収結果

	配布数	回収数	回収率
住民意識調査	2,500件	1,029件	41.2%

4. 調査集計にあたっての留意事項

○回答結果は小数点以下第2位を四捨五入しています。このため、単回答（複数の選択肢から1つだけを選ぶ形式）の場合、合計値が「100.0」にならない場合があります。

○複数回答（2つ以上の回答を選ぶ形式）における割合の単位はパーセントとしています。この場合、回答は有効標本数全体に対して各々の割合を示すものであり、各選択肢の回答を合計すると「100.0」を超える場合があります。

○本報告書における「n」「SA」「MA」「FA」「数量」は、それぞれ

「n」 = サンプル数のこと

「SA」 = 単回答のこと（Single Answer の略）

「MA」 = 複数回答のこと（Multiple Answer の略）

「FA」 = 自由回答のこと（Free Answer の略）

「数量」 = 数量回答のこと

を示します。

○図表中において「無回答」とある項目については、「回答のなかったもの」、もしくは「判別ができなかったもの」を表しています。

○本文中の設問の選択肢が長い場合は、簡略化している場合があります。

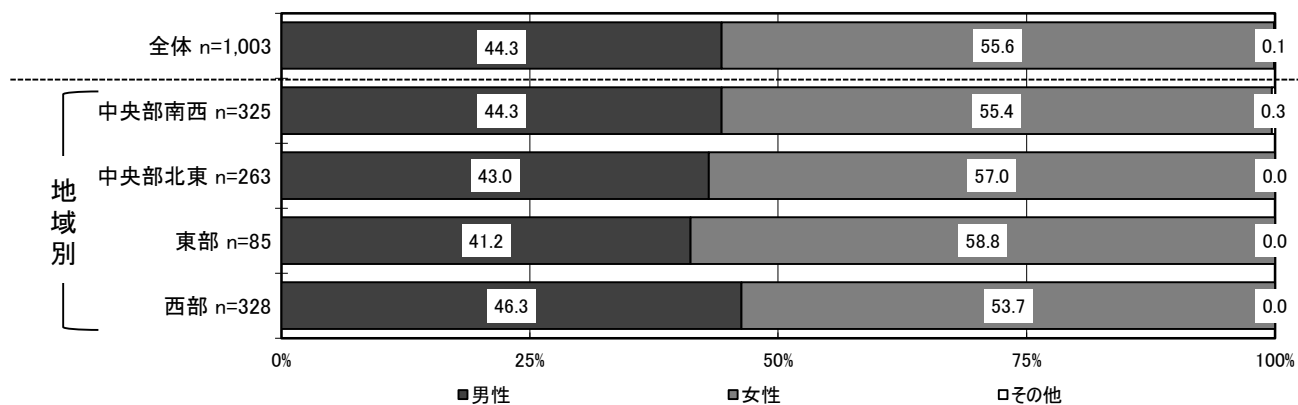
第2章 調査結果

1. あなた自身のことや住まいについて

問1 あなたはの性別をお答えください。(SA)

「女性」が55.6%、「男性」が44.3%となっています。

年代別では、『30歳代』『80歳以上』で「女性」の割合が高くなっています。

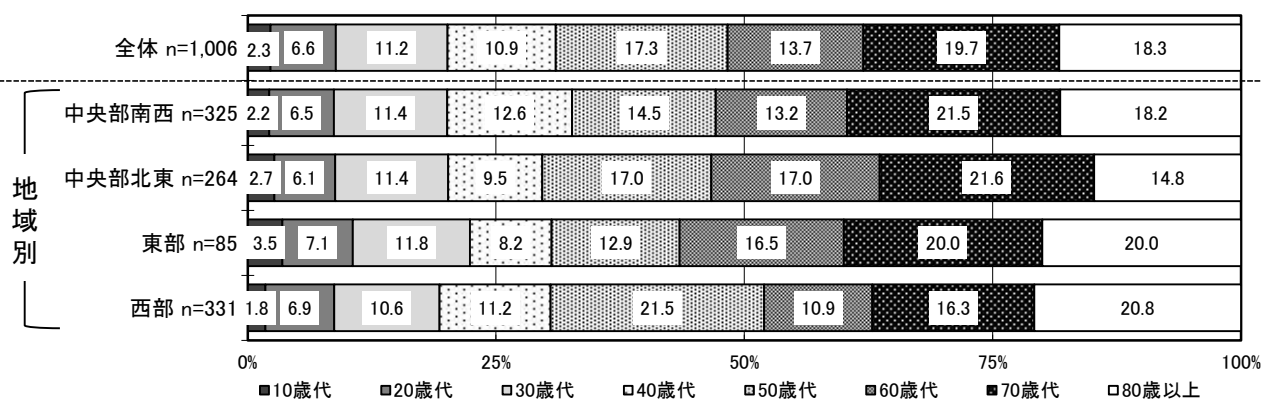
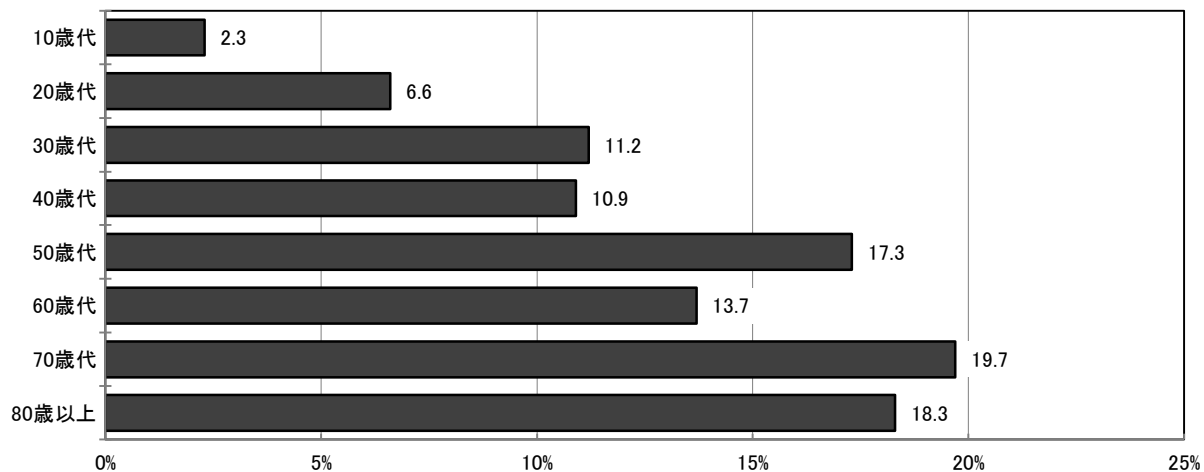


	全体 n=1,003	地区				年齢区分						
		中央部南 西 n=325	中央部北 東 n=263	東部 n=85	西部 n=328	10・20歳 代 n=88	30歳代 n=112	40歳代 n=109	50歳代 n=174	60歳代 n=138	70歳代 n=198	80歳以上 n=182
男性	44.3	44.3	43.0	41.2	46.3	44.3	41.1	43.1	46.0	46.4	48.5	39.6
女性	55.6	55.4	57.0	58.8	53.7	55.7	58.0	56.9	54.0	53.6	51.5	60.4
その他	0.1	0.3	-	-	-	-	0.9	-	-	-	-	-

問2 あなたの満年齢をお答えください。(SA)

「70歳代」が19.7%で最も高くなっています。次いで「80歳以上」が18.3%、「50歳代」が17.3%が続いています。

(SA) n=1,006

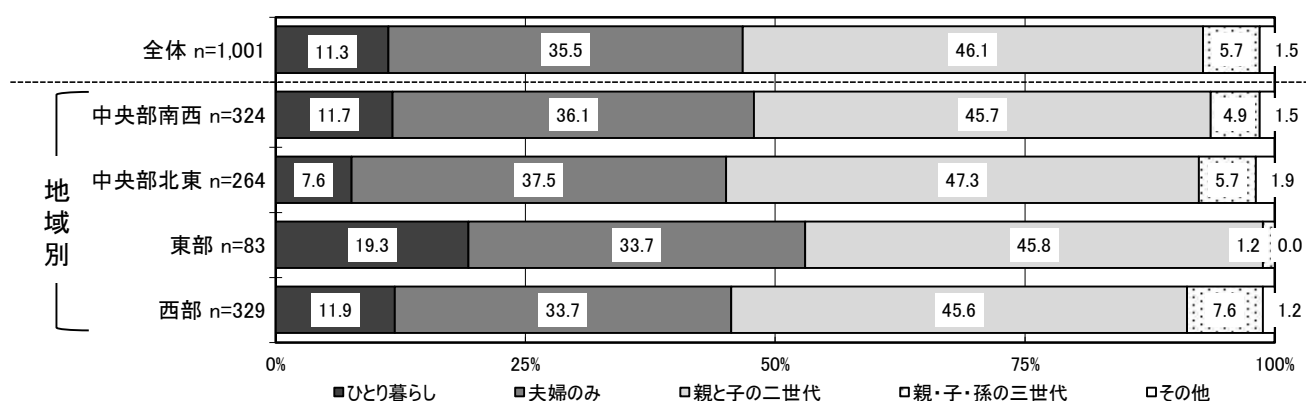


問3 あなたの世帯構成をお答えください。(SA)

「親と子の二世代」が46.1%で最も高くなっています。次いで「夫婦のみ」が35.5%、「ひとり暮らし」が11.3%で続いています。

地域別では、『東部』では「ひとり暮らし」の割合が高くなっています。

年代別では、他の年代に比べて『10・20 歳代』『30 歳代』『40 歳代』で「親と子の二世代」、『60 歳代』『70 歳代』で「夫婦のみ」、『80 歳以上』で、「ひとり暮らし」の割合が高くなっています。



	全体 n=1,001	地区				年齢区分							
		中央部南 西 n=324	中央部北 東 n=264	東部 n=83	西部 n=329	10・20歳 代 n=87	30歳代 n=112	40歳代 n=109	50歳代 n=174	60歳代 n=138	70歳代 n=198	80歳以上 n=183	
ひとり暮らし	11.3	11.7	7.6	19.3	11.9	-	4.5	4.6	6.3	9.4	16.2	25.7	
夫婦のみ	35.5	36.1	37.5	33.7	33.7	3.4	9.8	11.0	29.9	51.4	62.1	45.4	
親と子の二世帯	46.1	45.7	47.3	45.8	45.6	82.8	80.4	76.1	55.7	32.6	14.1	25.1	
親・子・孫の三世帯	5.7	4.9	5.7	1.2	7.6	12.6	3.6	5.5	6.9	3.6	6.6	3.3	
その他	1.5	1.5	1.9	-	1.2	1.1	1.8	2.8	1.1	2.9	1.0	0.5	

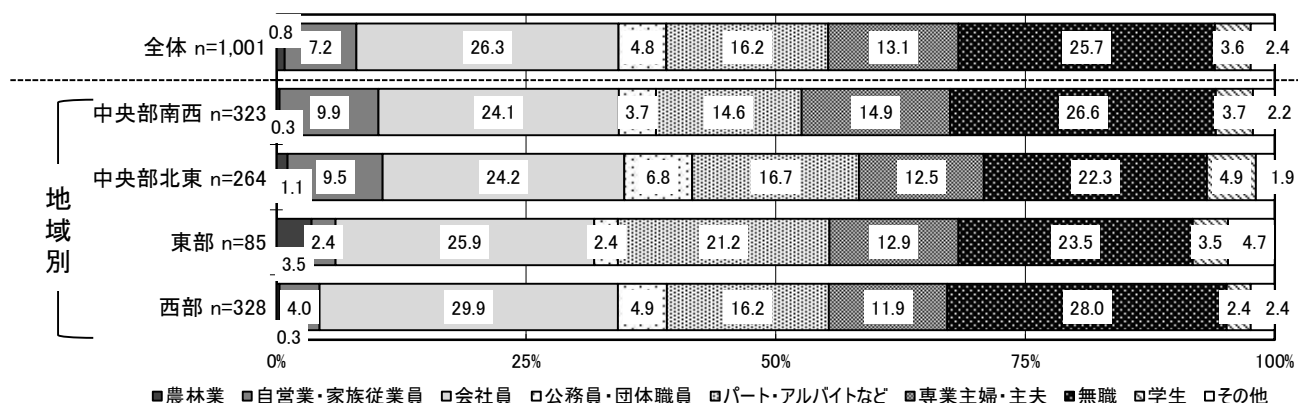
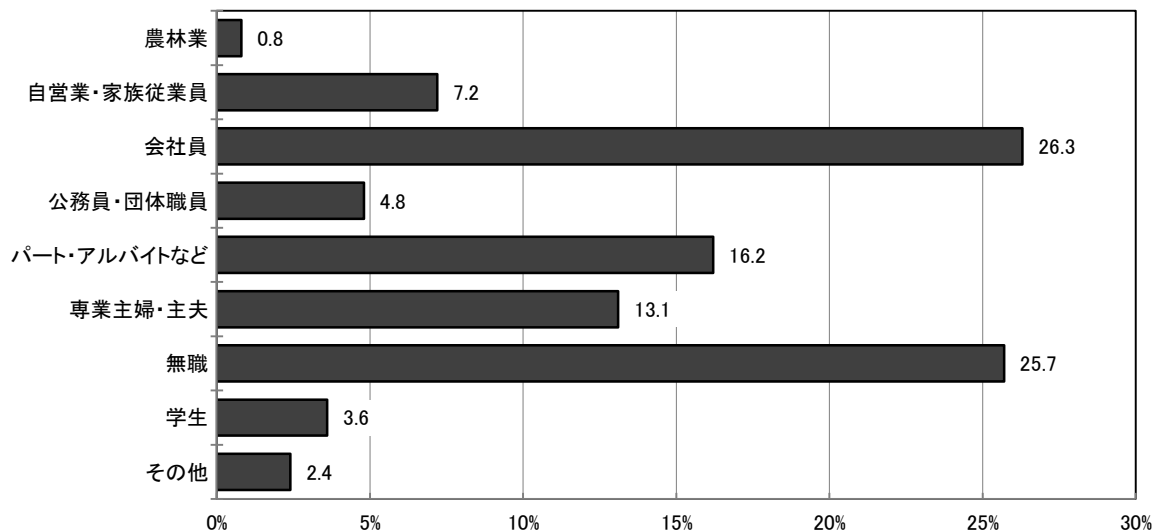
(網掛け)は上位3項目

問4 あなたの職業は、次のうちどれに該当しますか。(SA)

「会社員」が26.3%で最も高くなっています。次いで「無職」が25.7%、「パート・アルバイトなど」が16.2%が続いています。

年代別では、他の年代に比べて『10・20歳代』で「会社員」「学生」、『30歳代』で「会社員」、『40歳代』で「会社員」「パート・アルバイトなど」、『70歳代』『80歳以上』で「無職」の割合が高くなっています。

(SA) n=1,001



	全体 n=1,001	地区				年齢区分							
		中央部南 西 n=323	中央部北 東 n=264	東部 n=85	西部 n=328	10・20歳 代 n=89	30歳代 n=113	40歳代 n=110	50歳代 n=173	60歳代 n=138	70歳代 n=196	80歳以上 n=181	
農林業	0.8	0.3	1.1	3.5	0.3	－	－	－	－	0.7	2.0	1.7	
自営業・家族従業員	7.2	9.9	9.5	2.4	4.0	1.1	7.1	11.8	6.9	9.4	10.7	2.2	
会社員	26.3	24.1	24.2	25.9	29.9	37.1	47.8	37.3	50.3	23.9	7.7	－	
公務員・団体職員	4.8	3.7	6.8	2.4	4.9	2.2	12.4	10.0	6.4	7.2	－	－	
パート・アルバイトなど	16.2	14.6	16.7	21.2	16.2	7.9	25.7	26.4	23.1	23.9	10.7	1.7	
専業主婦・主夫	13.1	14.9	12.5	12.9	11.9	3.4	4.4	8.2	9.2	13.8	21.9	19.3	
無職	25.7	26.6	22.3	23.5	28.0	6.7	2.7	3.6	2.9	15.9	45.4	70.7	
学生	3.6	3.7	4.9	3.5	2.4	40.4	－	－	－	－	－	－	
その他	2.4	2.2	1.9	4.7	2.4	1.1	－	2.7	1.2	5.1	1.5	4.4	

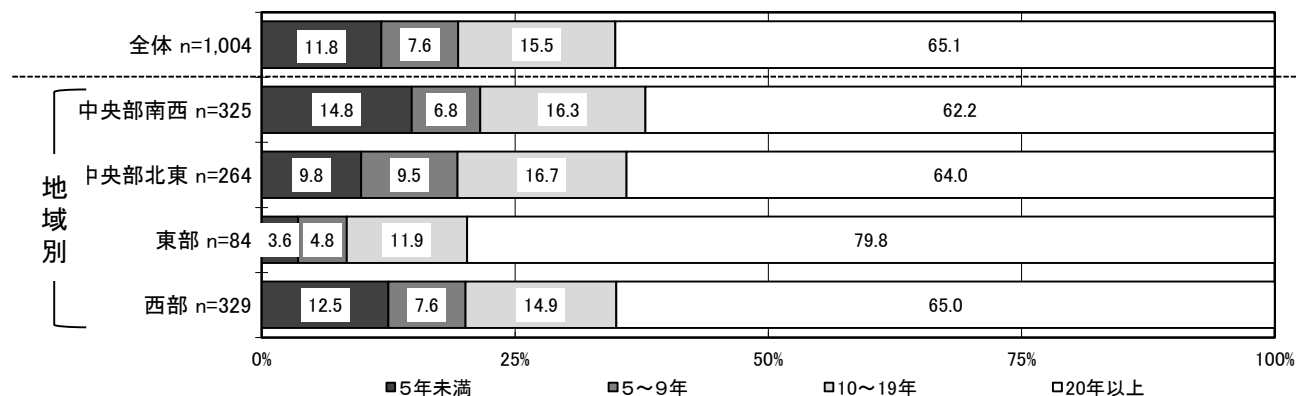
(網掛け)は上位3項目

問5 今の場所にどのくらいお住まいですか。(SA)

「20 年以上」が 65.1%を占めています。

地域別では、4地域とも「20 年以上」の割合が最も高く、特に『東部』では8割近くとなっています。

年代別では、他の年代に比べて『10・20 歳代』で「5年未満」、「10～19 年」、『30 歳代』で「5年未満」、「5～9年」、『40 歳代』で「10～19 年」、『60 歳代』『70 歳代』『80 歳以上』で「20 年以上」の割合が高くなっています。



	全体 n=1,004	地区				年齢区分							
		中央部南 西 n=325	中央部北 東 n=264	東部 n=84	西部 n=329	10・20歳 代 n=89	30歳代 n=113	40歳代 n=109	50歳代 n=173	60歳代 n=138	70歳代 n=197	80歳以上 n=183	
5年未満	11.8	14.8	9.8	3.6	12.5	29.2	37.2	14.7	9.2	6.5	2.0	2.7	
5～9年	7.6	6.8	9.5	4.8	7.6	3.4	25.7	16.5	6.4	5.1	1.5	2.7	
10～19年	15.5	16.3	16.7	11.9	14.9	36.0	13.3	32.1	25.4	9.4	5.6	3.3	
20年以上	65.1	62.2	64.0	79.8	65.0	31.5	23.9	36.7	59.0	79.0	90.9	91.3	

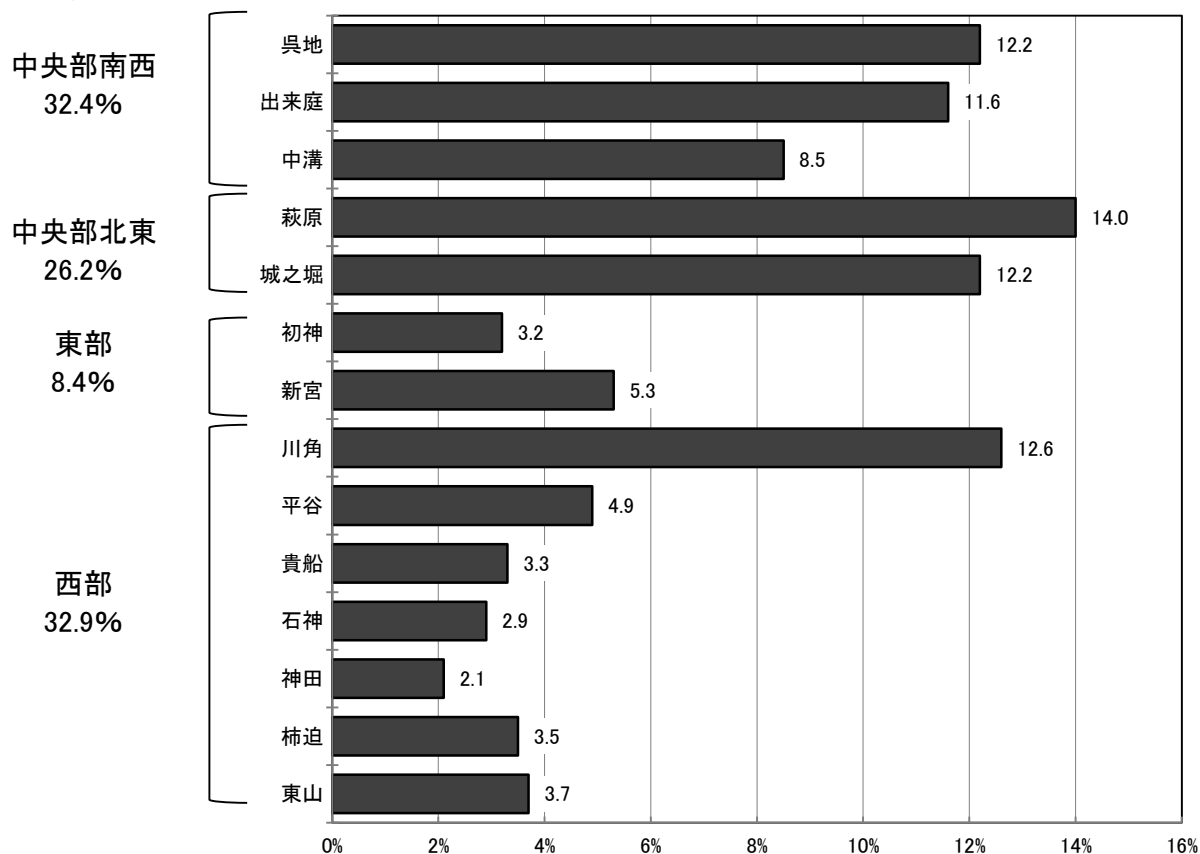
(網掛け)は上位3項目

問6 あなたの住まいが属する地区（大字）はどこですか。（SA）

「萩原」が14.0%で最も高くなっています。次いで「川角」が12.6%、「呉地」「城之堀」が12.2%が続いています。

地域別では、「西部」が32.9%で最も高く、次いで「中央部南西」が32.4%、「中央部北東」が26.2%が続いています。

（SA） n=1,006

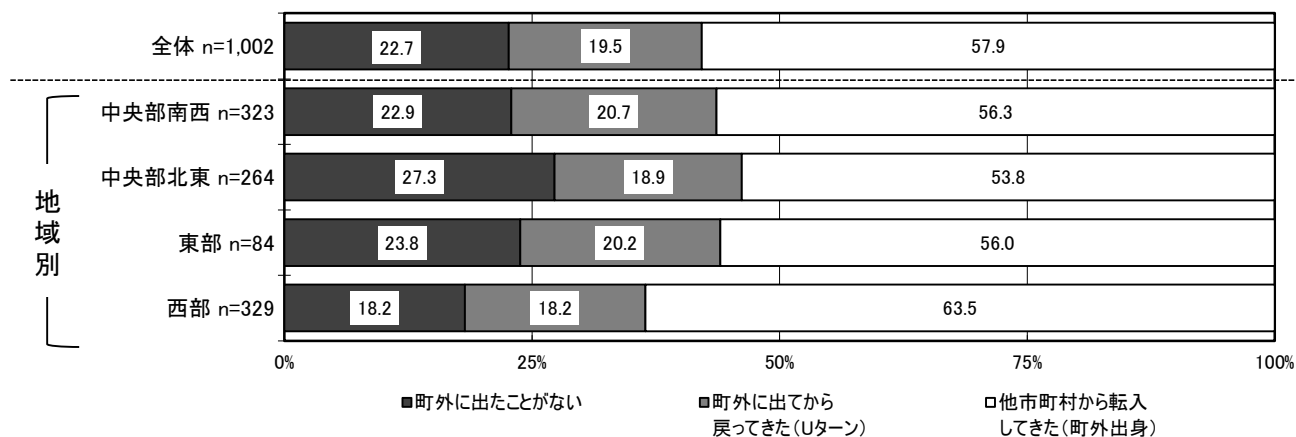


問 7 熊野町への転入・転出についてお聞きします。(SA)

「他市町村から転入してきた(町外出身)」が 57.9%を占めています。

地域別では、4地域とも「他市町村から転入してきた(町外出身)」の割合が最も高く、特に『西部』では6割以上となっています。

年代別では、他の年代に比べて『10・20 歳代』で「町外に出たことがない」の割合が高くなっています。



	全体 n=1,002	地区				年齢区分						
		中央部南 西 n=323	中央部北 東 n=264	東部 n=84	西部 n=329	10・20歳 代 n=88	30歳代 n=112	40歳代 n=110	50歳代 n=172	60歳代 n=138	70歳代 n=197	80歳以上 n=183
町外に出たことがない	22.7	22.9	27.3	23.8	18.2	52.3	14.3	22.7	12.8	15.9	24.4	25.7
町外に出てから 戻ってきた(Uターン)	19.5	20.7	18.9	20.2	18.2	12.5	26.8	24.5	27.3	20.3	14.7	12.6
他市町村から転入 してきた(町外出身)	57.9	56.3	53.8	56.0	63.5	35.2	58.9	52.7	59.9	63.8	60.9	61.7

2. 熊野町の現在のまちづくりについて

問8 次にあげる町の基本施策について、現在、どの程度満足していますか。また、あなたの「今」、あるいは「これから」の生活にとって、どのくらい重要ですか。

満足度(「満足している」+「やや満足している」)が高い順に『22 消防・救急救助体制』、『24 避難喚起・避難所誘導体制』、『12 伝統文化の継承と振興』となっています。

重要度(「重要」+「やや重要」)が高い順に、『19 道路の整備』、『2 医療体制・医療サービスの充実』、『22 消防・救急救助体制』となっています。

【満足度】（高い順）



【重要度】（高い順）

	■重要 □あまり重要ではない	■やや重要 □重要ではない	□どちらともいえない		順位	（前回）	（前々回）
19 道路の整備	56.7	30.3	11 1.1	0.7	1	(4)	(-)
2 医療体制・医療サービスの充実	59.1	27.6	11 0.4	0.3	2	(2)	(1)
22 消防・救急救助体制	62.9	23.1	13 0.7	0.3	3	(1)	(4)
13 防犯・交通安全対策	59.4	26.2	13 0.8	0.4	4	(5)	(3)
23 地震・風水害などの防災・減災対策	63.0	22.0	14 0.3	0.3	5	(3)	(2)
20 路線バスの利便性	54.8	27.6	14.7 1.7	1.1	6	(7)	(-)
24 避難喚起・避難所誘導体制	54.9	26.8	17.4 0.5	0.3	7	(6)	(8)
14 ごみの発生抑制・再利用・再資源化	41.7	37.2	18.8 1.7	0.7	8	(10)	(6)
17 良好な住環境の整備	41.4	36.7	20.5 0.8	0.7	9	(13)	(11)
4 高齢者福祉サービス	50.3	27.1	20.0 1.6	1.0	10	(8)	(9)
25 防災教育への取組	49.6	27.4	21.7 0.9	0.4	11	(9)	(5)
11 学校教育の充実	47.1	27.4	23.8 1.3	0.4	12	(12)	(10)
1 健康づくりの支援	42.5	31.6	23.2 1.9	0.9	13	(11)	(12)
18 公共施設のバリアフリーの整備	36.8	36.3	24.4 1.9	0.7	14	(15)	(20)
3 子育て支援	51.0	21.7	24.0 1.6	1.8	15	(14)	(15)
27 商業施設の充実	34.9	37.7	24.6 1.6	1.2	16	(22)	(31)
10 学校施設の整備	43.1	27.3	27.0 1.9	0.7	17	(16)	(14)
15 空き家・荒地対策	34.5	35.7	26.8 2.1	0.9	18	(21)	(13)
5 障害者福祉サービス	39.5	29.2	28.1 1.7	1.4	19	(17)	(17)
6 人権が尊重された社会づくり	38.3	29.9	29.0 1.8	1.0	20	(18)	(19)
12 伝統文化の継承と振興	32.9	34.7	29.0 1.9	1.5	21	(26)	(-)
8 青少年の健全育成	34.0	33.1	31.1 0.9	0.8	22	(19)	(24)
21 公園や広場の整備	31.2	35.8	28.9 3.0	1.1	23	(27)	(29)
36 町の行政・財政運営	35.4	31.4	31.9 0.9	0.4	24	(20)	(18)
35 町からの情報発信（量・内容・手段）	30.7	35.8	30.9 2.1	0.7	25	(23)	(-)
26 地域産業の振興	30.3	36.1	31.1 1.2	1.2	26	(30)	(26)
31 雇用対策	34.9	31.2	32.6 0.7	0.7	27	(24)	(22)
16 自然環境の保全と活用	33.2	31.8	31.8 2.4	0.8	28	(25)	(25)
30 熊野筆のブランド戦略	30.2	32.9	32.8 1.9	2.3	29	(29)	(21)
9 生涯学習・スポーツ活動の支援	26.7	36.0	33.5 2.6	1.2	30	(28)	(30)
32 企業誘致の取組	31.5	30.5	34.4 2.6	1.0	31	(33)	(33)
33 住民と行政の協働のまちづくり	25.9	35.3	36.5 1.5	0.8	32	(31)	(28)
7 男女共同参画社会の推進	27.0	30.3	37.7 2.9	2.1	33	(35)	(34)
34 ボランティア・地域活動への支援	23.1	33.3	40.0 2.3	1.2	34	(32)	(35)
37 デジタル化への取組	23.8	31.9	39.9 3.4	1.0	35	(-)	(-)
28 観光の振興	21.9	32.8	39.2 4.0	2.1	36	(34)	(36)
29 農林業の振興	22.8	29.5	44.6 2.0	1.1	37	(36)	(32)

0% 20% 40% 60% 80% 100%

【満足度（令和7年）地域別、年齢別】

満足度	全体	地区				年齢区分							
		中央部 南西	中央部 北東	東部	西部	10・20歳 代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	
1 健康づくりの支援	43.0	44.9	38.5	46.3	43.0	43.5	32.7	44.2	35.7	30.8	51.4	53.9	
2 医療体制・医療サービスの充実	35.6	35.4	32.8	43.2	36.0	45.9	25.0	30.5	28.3	23.5	48.0	43.3	
3 子育て支援	34.5	33.5	29.7	33.4	39.2	44.8	37.1	47.2	35.3	24.8	33.1	24.8	
4 高齢者福祉サービス	29.5	32.5	25.1	34.5	28.2	29.4	11.2	20.8	23.8	26.5	39.0	43.6	
5 障害者福祉サービス	20.9	20.5	19.6	23.5	21.4	28.2	9.4	18.9	16.4	14.5	28.9	27.7	
6 人権が尊重された社会づくり	30.0	31.5	25.0	31.3	32.7	46.5	25.2	32.1	27.1	21.0	32.4	31.8	
7 男女共同参画社会の推進	22.9	20.4	22.1	30.8	24.3	43.0	21.5	22.7	21.7	12.7	22.6	24.3	
8 青少年の健全育成	26.6	25.5	25.4	36.4	26.3	46.5	25.3	26.4	25.2	18.5	25.3	27.3	
9 生涯学習・スポーツ活動の支援	36.3	36.7	32.3	44.2	36.9	53.5	31.5	36.2	26.2	28.8	40.7	42.7	
10 学校施設の整備	29.4	29.5	27.8	26.6	30.0	51.1	24.0	30.2	26.1	19.5	27.6	32.6	
11 学校教育の充実	30.5	29.1	28.7	34.2	31.7	55.8	27.1	34.3	26.3	20.4	27.7	31.5	
12 伝統文化の継承と振興	43.7	41.3	39.3	52.0	47.2	60.5	42.1	46.2	42.7	33.9	40.1	47.2	
13 防犯・交通安全対策	31.3	30.7	29.3	32.5	33.7	48.8	18.7	35.3	29.4	21.0	31.7	38.5	
14 ごみの発生抑制・再利用・再資源化	43.5	44.2	39.8	42.3	44.9	50.0	36.4	40.0	41.8	36.8	45.4	50.0	
15 空き家・荒地対策	11.0	11.9	6.1	13.9	13.5	18.3	8.4	14.3	10.6	6.1	11.1	11.5	
16 自然環境の保全と活用	22.2	19.4	18.7	24.1	26.9	39.6	24.3	23.8	21.9	10.6	19.0	22.9	
17 良好な住環境の整備	34.1	29.7	29.5	42.9	39.1	55.3	41.2	37.8	28.6	23.7	30.0	32.4	
18 公共施設のバリアフリーの整備	36.2	33.4	30.9	41.7	41.0	51.2	37.7	33.0	33.5	30.6	33.7	38.2	
19 道路の整備	28.4	26.9	26.2	26.0	31.6	39.1	24.8	28.3	28.9	19.9	28.8	30.1	
20 路線バスの利便性	16.2	14.3	11.2	12.4	22.8	21.8	14.9	19.8	11.5	10.3	16.4	20.9	
21 公園や広場の整備	30.4	25.7	20.7	47.5	37.7	37.9	32.7	37.8	24.9	21.8	29.3	33.1	
22 消防・救急救助体制	54.6	51.5	52.3	67.1	55.1	53.5	41.2	41.5	50.3	44.4	67.3	68.7	
23 地震・風水害などの防災・減災対策	43.1	39.1	38.3	58.8	46.9	47.1	35.2	46.2	46.8	39.2	45.6	40.7	
24 避難喚起・避難所誘導体制	44.9	42.6	39.1	57.6	48.6	49.4	42.6	46.2	50.3	37.0	46.7	42.1	
25 防災教育への取組	38.3	37.6	32.5	53.8	39.1	49.5	40.2	48.1	39.5	28.1	36.5	32.5	
26 地域産業の振興	29.0	29.1	27.9	34.7	28.4	42.4	26.4	37.2	26.9	21.5	26.4	29.7	
27 商業施設の充実	40.7	46.9	34.1	40.1	40.6	37.2	33.4	46.2	45.1	37.5	43.8	38.7	
28 観光の振興	20.8	21.8	19.2	21.6	21.1	28.0	16.7	30.2	18.5	17.0	16.5	24.3	
29 農林業の振興	13.7	14.4	10.7	14.1	15.7	23.3	10.3	19.1	13.2	9.6	13.6	12.1	
30 熊野筆のブランド戦略	42.2	40.5	40.4	43.6	45.3	57.6	37.1	51.9	43.7	31.1	40.6	41.3	
31 雇用対策	15.0	16.3	12.9	16.6	15.2	23.2	13.0	16.0	12.7	11.1	17.7	14.6	
32 企業誘致の取組	16.9	19.6	11.6	14.1	20.1	27.0	12.9	18.8	16.7	10.4	22.3	14.3	
33 住民と行政の協働のまちづくり	25.8	24.8	21.7	34.6	27.7	38.4	25.9	26.7	19.6	16.3	28.7	29.8	
34 ボランティア・地域活動への支援	26.3	24.9	24.1	35.5	27.0	36.5	25.0	29.9	23.1	15.8	28.3	29.5	
35 町からの情報発信(量・内容・手段)	37.9	37.8	34.0	45.5	38.6	50.0	38.5	42.5	33.3	27.4	40.2	37.9	
36 町の行政・財政運営	27.1	25.9	23.0	27.9	31.0	37.2	25.0	28.3	26.6	17.8	25.7	31.6	
37 デジタル化への取組	18.7	20.6	15.4	19.0	19.9	27.9	24.1	21.7	19.7	11.9	17.2	15.4	

(網掛け)は上位3項目

【重要度（令和7年）地域別、年齢別】

重要度	全体	地区				年齢区分						
		中央部 南西	中央部 北東	東部	西部	10・20歳 代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
1 健康づくりの支援	74.1	73.8	71.9	78.7	75.9	76.2	65.8	74.5	77.7	70.3	81.7	71.2
2 医療体制・医療サービスの充実	86.7	86.0	86.4	90.9	86.5	89.3	87.1	89.9	92.2	86.1	87.5	75.5
3 子育て支援	72.7	72.2	68.2	73.0	76.9	83.4	84.2	80.0	75.9	68.7	69.6	54.0
4 高齢者福祉サービス	77.4	77.4	75.8	84.6	77.8	73.8	62.0	72.0	84.5	83.6	85.2	73.8
5 障害者福祉サービス	68.7	68.6	68.9	68.9	69.1	69.0	58.8	65.0	72.4	75.9	73.0	63.4
6 人権が尊重された社会づくり	68.2	70.8	64.3	70.7	68.9	79.8	62.9	67.7	68.7	64.4	72.3	65.2
7 男女共同参画社会の推進	57.3	52.3	57.8	63.5	60.3	71.4	50.0	53.5	60.0	51.6	57.5	58.8
8 青少年の健全育成	67.1	65.3	67.8	79.8	66.3	75.0	68.9	60.6	67.6	70.0	68.4	63.2
9 生涯学習・スポーツ活動の支援	62.7	62.6	62.4	75.0	59.7	69.1	64.1	59.6	63.3	62.0	64.0	58.2
10 学校施設の整備	70.4	70.7	66.4	80.0	70.9	82.1	82.2	72.0	72.0	66.7	67.3	57.5
11 学校教育の充実	74.5	74.8	70.4	80.2	75.5	83.3	81.2	75.0	77.1	71.3	72.1	65.2
12 伝統文化の継承と振興	67.6	68.2	65.7	71.0	67.8	77.4	66.3	62.0	72.9	67.4	62.9	66.2
13 防犯・交通安全対策	85.6	85.5	85.4	88.3	84.8	90.4	87.9	91.9	86.7	86.8	83.3	76.3
14 ごみの発生抑制・再利用・再資源化	78.9	80.6	76.2	76.7	79.4	80.7	73.9	75.8	85.6	80.8	79.3	72.1
15 空き家・荒地対策	70.2	71.7	70.1	78.0	67.9	72.9	63.5	69.7	72.4	76.7	69.1	68.3
16 自然環境の保全と活用	65.0	67.6	62.0	68.9	64.3	74.7	64.5	66.4	66.2	66.4	62.6	58.9
17 良好な住環境の整備	78.1	76.9	73.6	86.7	80.8	84.2	79.0	77.8	79.0	78.5	76.7	72.9
18 公共施設のバリアフリーの整備	73.1	72.6	71.4	74.3	74.3	78.3	72.4	65.3	75.4	73.1	75.0	70.2
19 道路の整備	87.0	89.0	88.6	87.2	84.1	92.8	86.0	89.9	87.5	92.1	85.5	79.1
20 路線バスの利便性	82.4	81.1	81.8	84.7	84.4	87.0	83.2	79.8	87.6	85.9	79.8	75.5
21 公園や広場の整備	67.0	71.4	60.8	68.4	66.6	72.3	76.4	69.4	62.5	64.6	66.7	60.7
22 消防・救急救助体制	86.0	87.4	84.0	89.8	84.9	85.7	80.8	83.0	86.9	86.1	89.7	85.2
23 地震・風水害などの防災・減災対策	85.0	86.3	82.3	88.5	85.2	88.1	87.8	84.0	87.6	89.9	85.7	74.0
24 避難喚起・避難所誘導体制	81.7	81.1	79.6	84.7	84.0	85.7	81.1	78.0	85.2	86.0	81.2	75.9
25 防災教育への取組	77.0	76.5	73.7	83.4	78.7	83.3	82.0	75.0	77.5	78.3	76.6	69.6
26 地域産業の振興	66.4	67.9	66.0	69.3	64.7	76.1	65.1	70.7	72.6	62.0	62.9	59.3
27 商業施設の充実	72.6	74.1	71.7	77.2	71.5	83.1	81.1	73.0	74.4	66.1	69.8	68.8
28 観光の振興	54.7	56.1	57.2	57.7	51.7	72.3	56.6	57.0	59.2	45.3	47.8	55.1
29 農林業の振興	52.3	53.8	51.5	57.7	49.5	61.4	45.3	52.0	56.8	51.2	50.3	48.5
30 熊野筆のブランド戦略	63.1	64.0	63.7	59.8	61.9	78.3	58.4	62.2	61.7	59.7	61.9	63.5
31 雇用対策	66.1	65.4	66.3	68.0	67.1	76.2	66.9	74.8	73.4	67.4	57.8	54.9
32 企業誘致の取組	62.0	63.1	63.4	62.4	60.0	72.6	65.4	59.0	65.6	60.2	59.5	56.0
33 住民と行政の協働のまちづくり	61.2	62.9	59.1	71.5	59.5	72.6	58.5	61.6	59.5	54.7	63.6	63.2
34 ボランティア・地域活動への支援	56.4	57.0	56.6	65.4	54.7	72.6	47.6	58.6	53.5	51.5	60.9	57.6
35 町からの情報発信(量・内容・手段)	66.5	69.3	65.1	74.4	63.2	75.0	60.7	62.3	68.0	64.9	72.6	62.6
36 町の行政・財政運営	66.8	67.1	63.7	71.8	68.3	72.3	66.3	71.7	66.9	64.9	65.9	64.7
37 デジタル化への取組	55.7	54.0	57.1	56.4	57.0	71.4	68.2	57.5	56.2	52.4	51.5	44.9

(網掛け)は上位3項目

【満足度・重要度の評価】

調査結果をもとに、質問項目別に満足度と重要度を集計しました。満足度・重要度の考え方は以下のとおりです。

①満足度スコア：「満足している」「やや満足している」と回答した人の割合－「やや不満である」「不満である」と回答した人の割合

②重要度スコア：「重要」「やや重要」と回答した人の割合－「あまり重要ではない」「重要ではない」と回答した人の割合

※無回答については、スコアから除外しています。

施策の満足度の評価をみると、37項目のうち、第1位は50.1%、第37位は-38.1%で、88.2ポイントの乖離があります。

最も満足度が高いのは「消防・救急救助体制」、次いで「伝統文化の継承と振興」「避難喚起・避難所誘導体制」「健康づくりの支援」「熊野筆のブランド戦略」で、これらが上位5位を占めています。

一方、最も満足度が低いのは、「路線バスの利便性」、次いで「空き家・荒地対策」「道路の整備」「企業誘致の取組」「雇用対策」で、これらが下位5位を占め、交通、産業について満足度が低くなっています。

施策の重要度を数値化した値でみると、37項目のうち、第1位は86.0%、第37位は48.6%で、37.4ポイントの開きがあります。

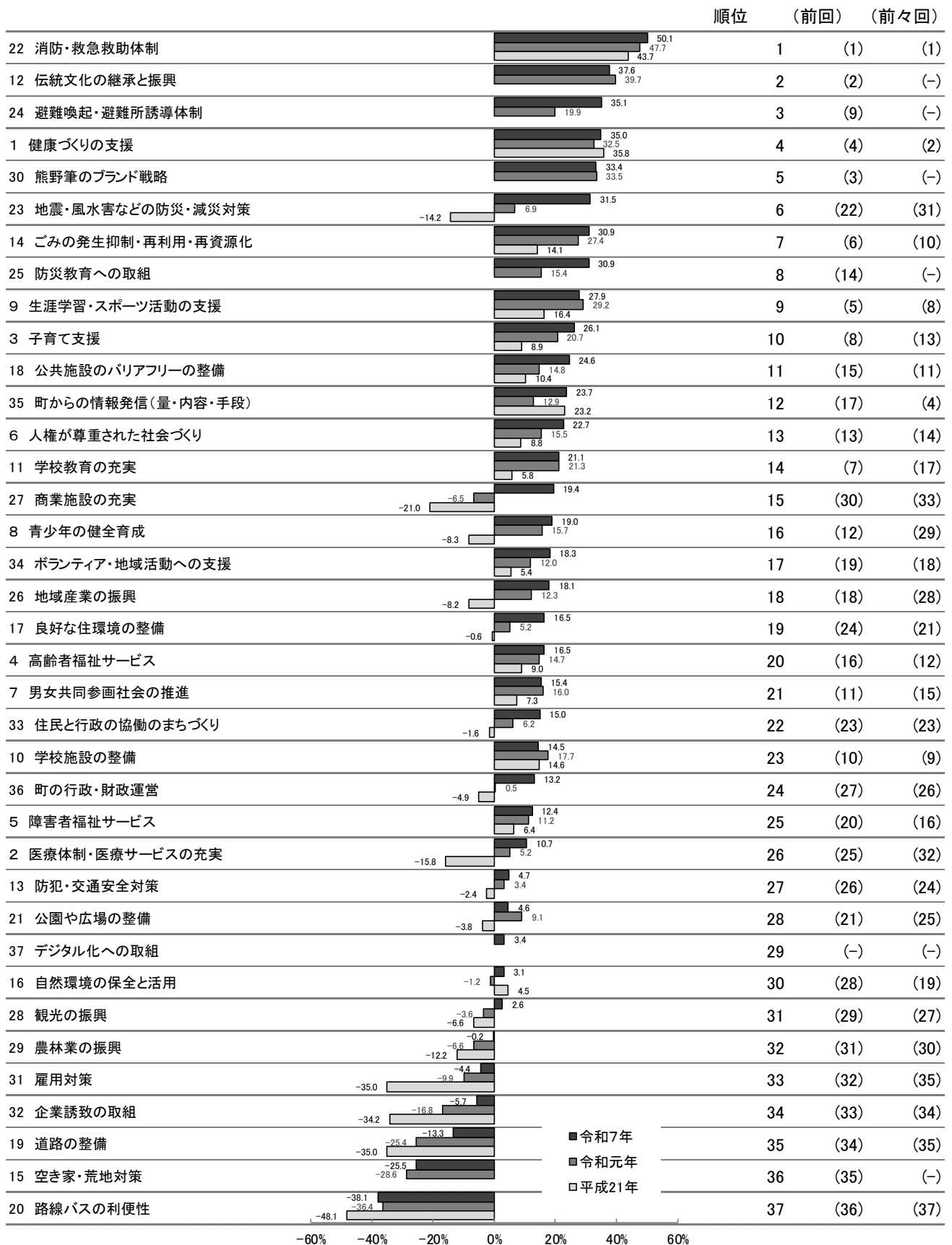
重要度がマイナスになった項目はなく、すべてにおいて重要性が勝っている結果となっています。

最も重要度が高いのは「医療体制・医療サービスの充実」、次いで「道路の整備」「消防・救急救助体制」「地震・風水害などの防災・減災対策」「防犯・交通安全対策」で、これらが上位5位を占め、防災・減災について重要度が高くなっています。

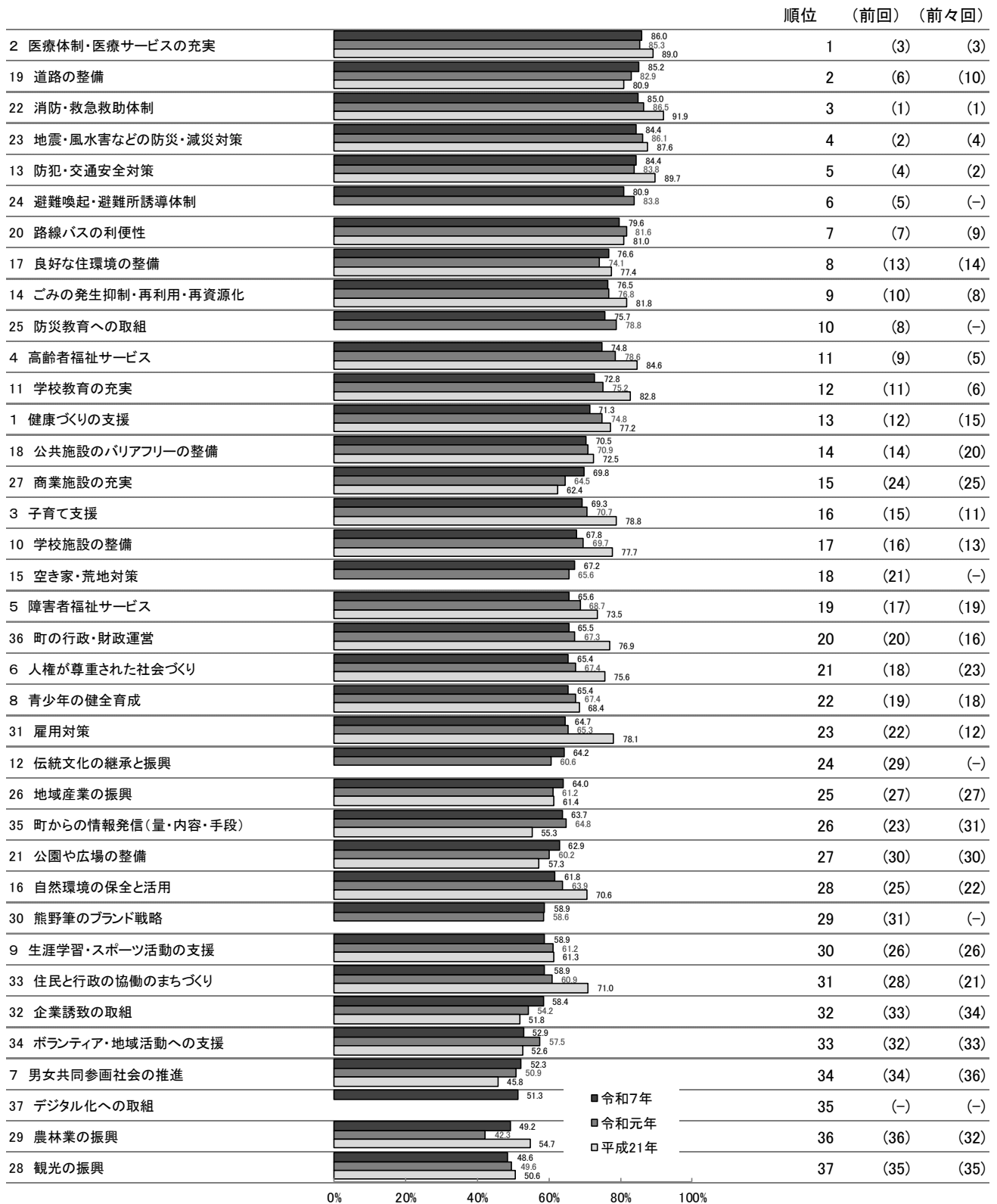
一方、最も重要度が低いのは、「観光の振興」、次いで「農林業の振興」「デジタル化への取組」「男女共同参画社会の推進」「ボランティア・地域活動への支援」で、これらが下位5位を占め、産業について重要度が低くなっています。

重要度が高いのに、満足度が低い項目のうち、特に改善が求められるもの（重要度が上位10位以内で、満足度が下位10位以内）は、「道路の整備」と「路線バスの利便性」となっています。

【37の施策に対する満足度スコアによる前回調査との比較】



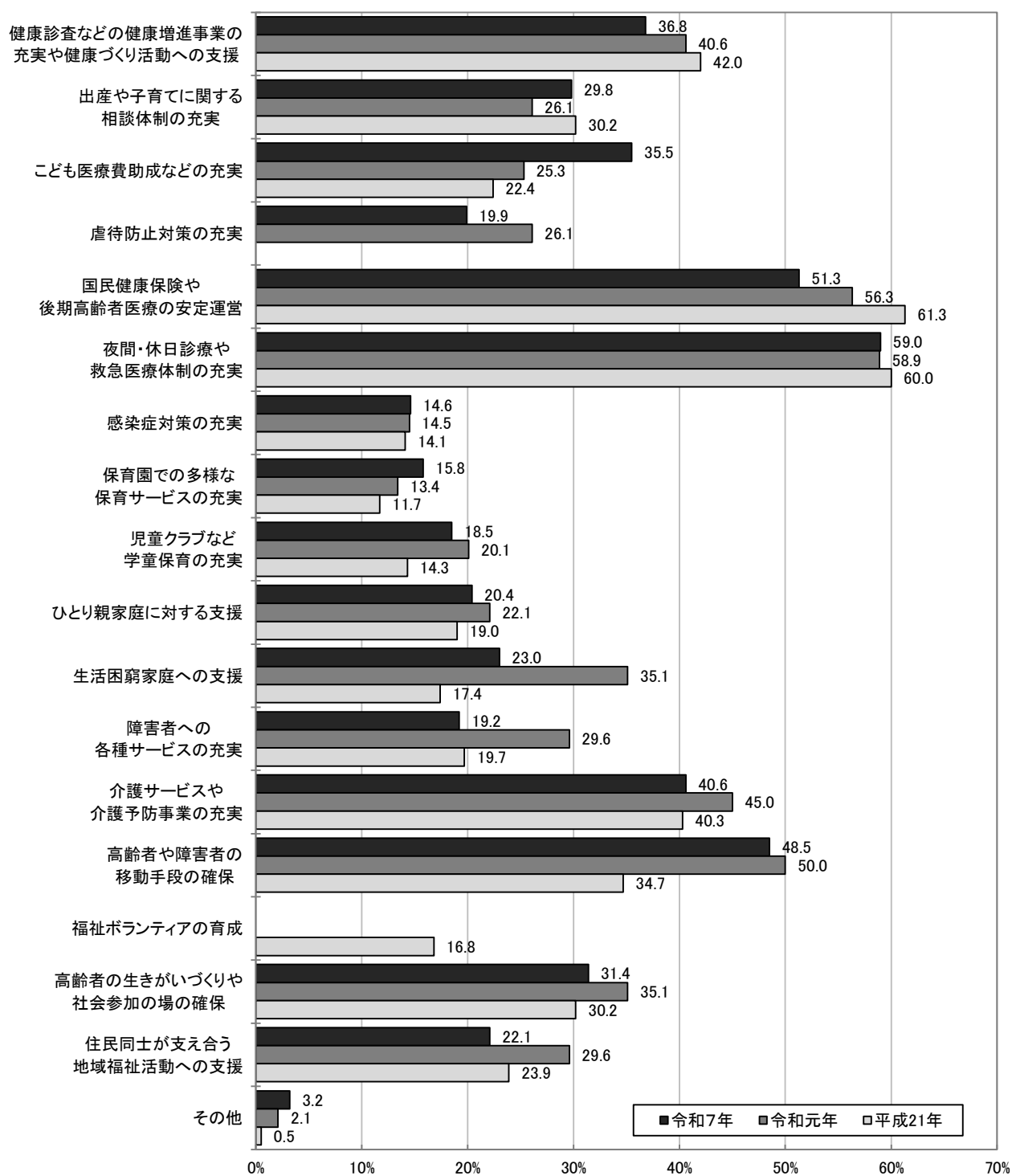
【37の施策に対する重要度スコアによる前回調査との比較】



問9 あなたは保健・医療・福祉の分野について、今後どのような点に力を入れていくべきだと思いますか。(MA)

「夜間・休日診療や救急医療体制の充実」が59.0%で最も高くなっています。次いで「国民健康保険や後期高齢者医療の安定運営」が51.3%、「高齢者や障害者の移動手段の確保」が48.5%が続いています。

前回調査と比較すると、「こども医療費助成などの充実」の割合が高くなっています。



年代別では、他の年代に比べて『10・20 歳代』で「出産や子育てに関する相談体制の充実」「こども医療費助成などの充実」「保育園での多様な保育サービスの充実」、『30 歳代』で「出産や子育てに関する相談体制の充実」「こども医療費助成などの充実」「保育園での多様な保育サービスの充実」「児童クラブなど学童保育の充実」、『40 歳代』で「こども医療費助成などの充実」「夜間・休日診療や救急医療体制の充実」、『70 歳代』で「国民健康保険や後期高齢者医療の安定運営」、『80 歳以上』で「国民健康保険や後期高齢者医療の安定運営」「介護サービスや介護予防事業の充実」「高齢者の生きがいづくりや社会参加の場の確保」「住民同士が支え合う地域福祉活動への支援」の割合が高くなっています。

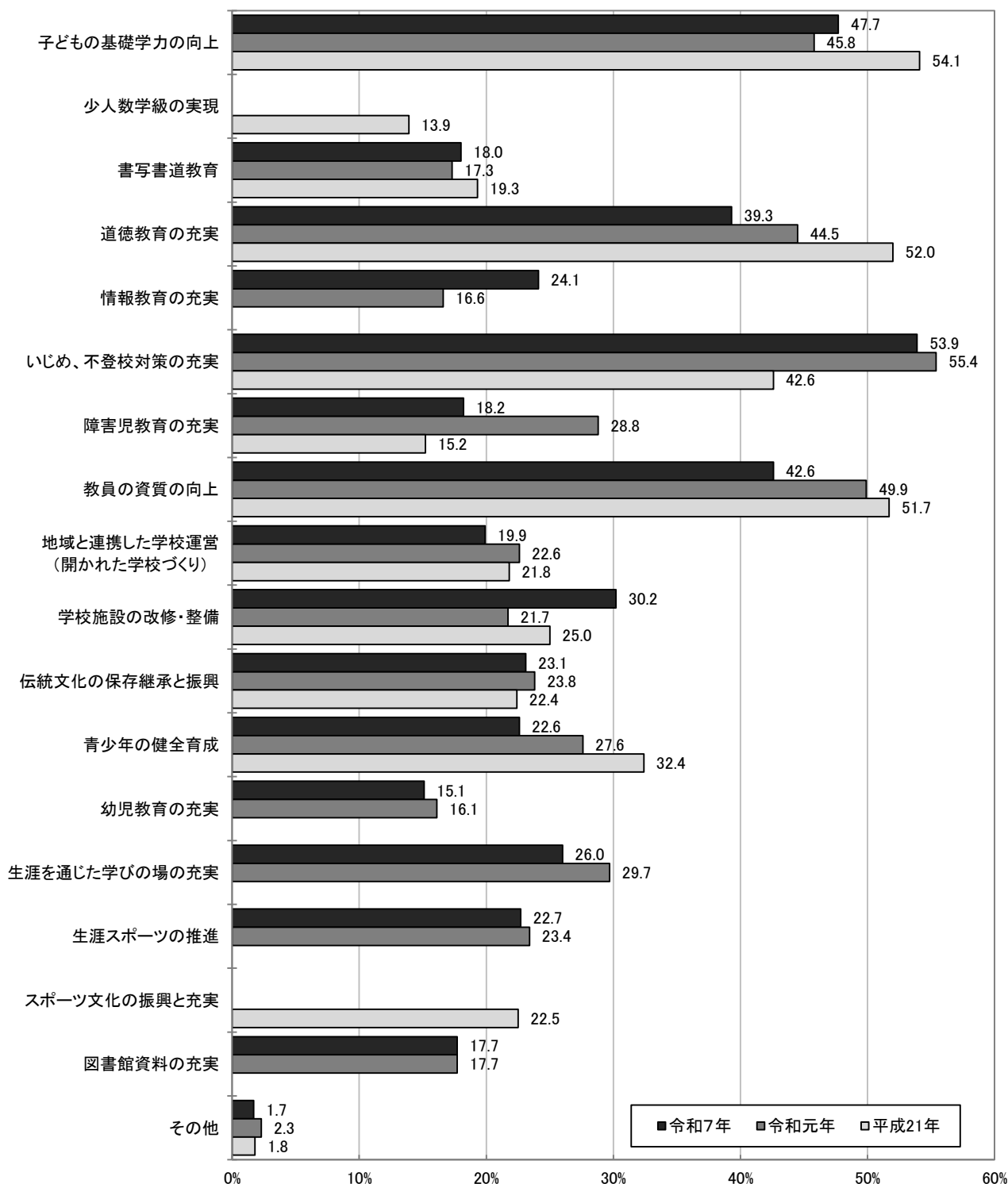
	全体 n=998	地区				年齢区分							
		中央部南 西 n=317	中央部北 東 n=254	東部 n=83	西部 n=322	10・20歳 代 n=89	30歳代 n=109	40歳代 n=109	50歳代 n=170	60歳代 n=134	70歳代 n=187	80歳以上 n=177	
健康診査などの健康増進事業の 充実や健康づくり活動への支援	36.8	37.2	35.8	44.6	35.4	31.5	33.0	25.7	37.6	34.3	44.4	41.8	
出産や子育てに関する相談体制の充実	29.8	30.6	28.0	25.3	30.1	44.9	47.7	35.8	25.9	24.6	21.4	21.5	
こども医療費助成などの充実	35.5	35.3	29.9	33.7	40.7	57.3	68.8	48.6	32.4	31.3	20.9	18.1	
虐待防止対策の充実	19.9	19.2	20.1	18.1	21.1	24.7	25.7	25.7	18.2	18.7	16.0	17.5	
国民健康保険や後期高齢者医療の 安定運営	51.3	51.4	50.4	51.8	51.6	27.0	24.8	30.3	48.2	59.0	67.9	71.8	
夜間・休日診療や救急医療体制の充実	59.0	59.0	62.2	57.8	58.4	65.2	63.3	69.7	66.5	63.4	47.6	50.8	
感染症対策の充実	14.6	14.8	16.5	6.0	14.9	12.4	9.2	11.0	14.1	14.2	16.0	20.3	
保育園での多様な保育サービスの充実	15.8	13.2	14.6	14.5	18.9	29.2	40.4	20.2	12.9	12.7	5.9	5.6	
児童クラブなど学童保育の充実	18.5	17.7	17.3	9.6	21.7	25.8	39.4	19.3	16.5	14.2	14.4	9.6	
ひとり親家庭に対する支援	20.4	17.7	18.9	21.7	23.9	25.8	19.3	24.8	12.9	18.7	22.5	22.0	
生活困窮家庭への支援	23.0	23.0	21.3	28.9	22.7	25.8	19.3	18.3	22.4	21.6	26.2	24.9	
障害者への各種サービスの充実	19.2	17.0	22.8	13.3	20.2	22.5	11.0	18.3	19.4	17.9	21.9	20.9	
介護サービスや介護予防事業の充実	40.6	38.5	40.6	47.0	41.3	24.7	22.0	31.2	50.0	36.6	47.6	52.5	
高齢者や障害者の移動手段の確保	48.5	49.8	50.4	45.8	46.9	29.2	31.2	42.2	58.2	53.7	54.0	54.2	
高齢者の生きがいづくりや 社会参加の場の確保	31.4	32.8	27.2	31.3	33.5	23.6	14.7	32.1	32.9	26.9	35.8	42.9	
住民同士が支え合う 地域福祉活動への支援	22.1	20.5	24.8	25.3	21.7	18.0	13.8	21.1	18.8	20.1	25.1	32.8	
その他	3.2	3.5	2.8	2.4	3.1	1.1	5.5	6.4	3.5	1.5	2.1	2.3	

(網掛け)は上位3項目

問 10 あなたは教育・文化の分野について、今後どのような点に力を入れていくべきだと思いますか。(MA)

「いじめ、不登校対策の充実」が 53.9%で最も高くなっています。次いで「子どもの基礎学力の向上」が 47.7%、「教員の資質の向上」が 42.6%が続いています。

前回調査と比較すると、「情報教育の充実」「学校施設の改修・整備」の割合が高くなっています。



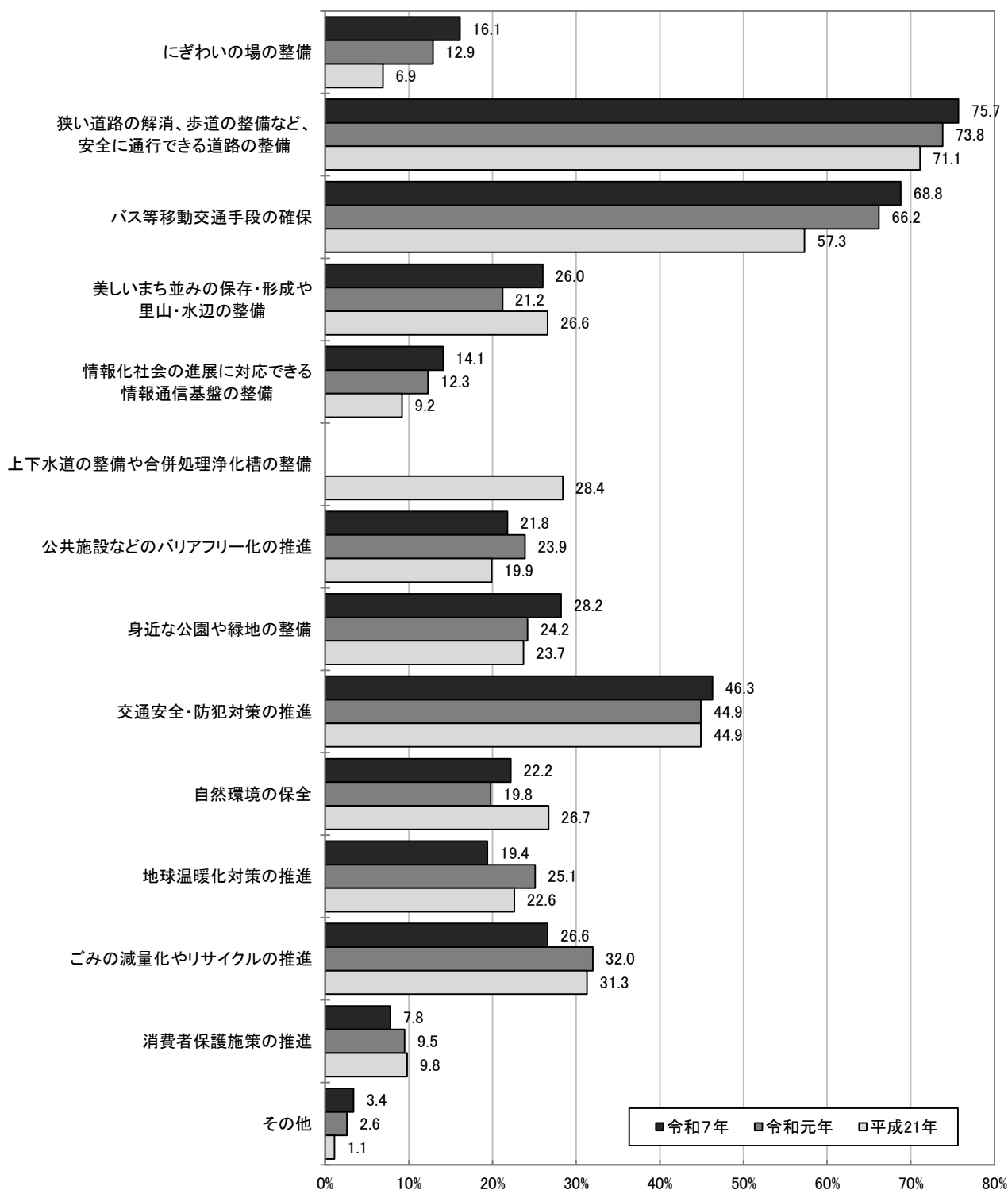
年代別では、他の年代に比べて『10・20 歳代』で「情報教育の充実」「いじめ、不登校対策の充実」「学校施設の改修・整備」、『30 歳代』では「子どもの基礎学力の向上」「情報教育の充実」「学校施設の改修・整備」「幼児教育の充実」、『40 歳代』で「学校施設の改修・整備」の割合が高くなっています。

	全体 n=974	地区				年齢区分							
		中央部南 西 n=307	中央部北 東 n=250	東部 n=82	西部 n=314	10・20歳 代 n=89	30歳代 n=110	40歳代 n=107	50歳代 n=167	60歳代 n=133	70歳代 n=180	80歳以上 n=166	
子どもの基礎学力の向上	47.7	43.3	50.0	40.2	52.5	56.2	60.9	58.9	41.3	42.1	39.4	48.2	
書写書道教育	18.0	20.8	18.4	23.2	13.4	23.6	24.5	23.4	19.2	19.5	9.4	13.9	
道徳教育の充実	39.3	40.1	38.0	37.8	39.2	33.7	43.6	45.8	32.3	41.4	36.1	42.8	
情報教育の充実	24.1	22.8	25.2	28.0	23.2	36.0	34.5	29.9	26.3	21.1	15.0	16.9	
いじめ、不登校対策の充実	53.9	55.0	51.6	58.5	53.2	66.3	58.2	56.1	49.1	55.6	51.7	48.8	
障害児教育の充実	18.2	18.6	17.6	19.5	17.2	21.3	12.7	15.0	20.4	24.8	16.7	15.1	
教員の資質の向上	42.6	44.3	39.6	35.4	45.9	50.6	42.7	45.8	44.3	41.4	40.6	39.2	
地域と連携した学校運営 (開かれた学校づくり)	19.9	20.5	21.2	15.9	19.7	20.2	17.3	25.2	21.6	18.0	18.9	19.9	
学校施設の改修・整備	30.2	34.2	26.4	26.8	30.3	41.6	50.9	40.2	33.5	29.3	18.9	13.9	
伝統文化の保存継承と振興	23.1	26.1	25.2	23.2	19.1	32.6	20.0	25.2	21.0	24.8	20.6	23.5	
青少年の健全育成	22.6	23.5	24.4	18.3	21.3	18.0	28.2	19.6	21.6	18.8	23.9	25.9	
幼児教育の充実	15.1	14.7	14.8	14.6	15.9	24.7	31.8	13.1	8.4	14.3	13.3	9.6	
生涯を通じた学びの場の充実	26.0	25.1	28.8	23.2	25.8	20.2	25.5	28.0	26.3	24.1	27.8	27.7	
生涯スポーツの推進	22.7	23.8	24.0	17.1	22.6	30.3	30.0	21.5	24.6	21.8	18.9	18.1	
図書館資料の充実	17.7	20.2	18.4	12.2	15.6	22.5	20.0	22.4	19.8	12.8	13.9	15.7	
その他	1.7	0.3	2.8	3.7	1.6	2.2	0.9	4.7	1.8	0.8	1.1	1.2	

(網掛け)は上位3項目

問 11 あなたは都市基盤や生活環境などの分野について、今後どのような点に力を入れていくべきだと思いますか。(MA)

「狭い道路の解消、歩道の整備など、安全に通行できる道路の整備」が 75.7%で最も高くなっています。次いで「バス等移動交通手段の確保」が 68.8%、「交通安全・防犯対策の推進」が 46.3%で続いています。



年代別では、他の年代に比べて『10・20 歳代』で「にぎわいの場の整備」、「バス等移動交通手段の確保」の割合が高くなっており、『30 歳代』で「にぎわいの場の整備」「身近な公園や緑地の整備」、『40 歳代』で「交通安全・防犯対策の推進」の割合が高くなっています。

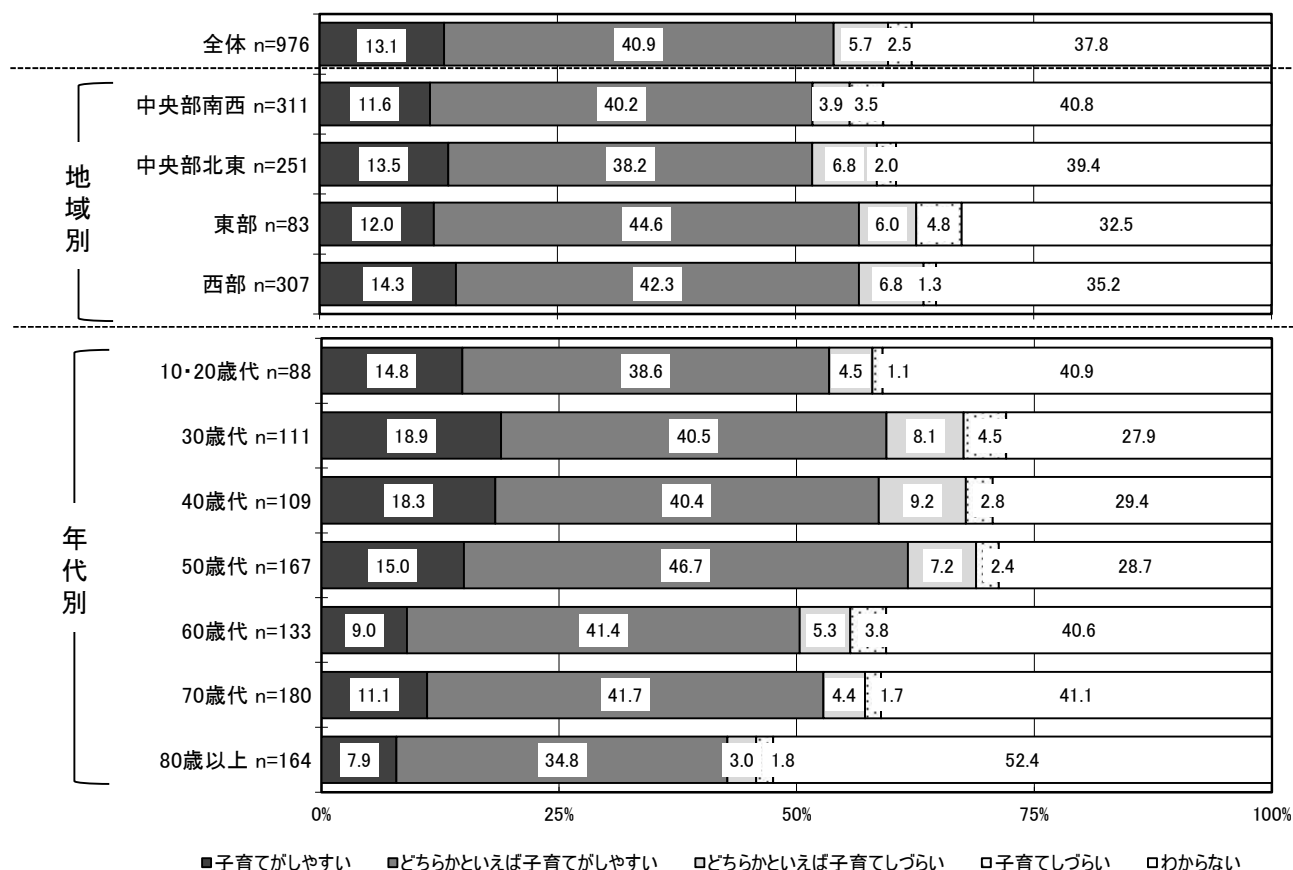
	全体 n=994	地区				年齢区分							
		中央部南 西 n=316	中央部北 東 n=253	東部 n=83	西部 n=321	10・20歳 代 n=89	30歳代 n=110	40歳代 n=110	50歳代 n=170	60歳代 n=134	70歳代 n=186	80歳以上 n=173	
にぎわいの場の整備	16.1	15.2	17.0	18.1	16.2	30.3	26.4	21.8	20.6	8.2	8.6	9.2	
狭い道路の解消、歩道の整備など、安全に通行できる道路の整備	75.7	79.1	79.4	79.5	68.2	78.7	80.9	75.5	77.6	79.1	71.0	71.7	
バス等移動交通手段の確保	68.8	68.0	68.4	73.5	69.8	80.9	67.3	61.8	75.3	67.2	66.7	67.1	
美しいまち並みの保存・形成や里山・水辺の整備	26.0	28.2	24.9	25.3	24.0	33.7	30.9	34.5	27.1	22.4	17.2	23.1	
情報化社会の進展に対応できる情報通信基盤の整備	14.1	12.7	17.4	8.4	14.6	21.3	19.1	15.5	17.1	13.4	10.2	8.7	
公共施設などのバリアフリー化の推進	21.8	21.2	22.9	13.3	24.3	25.8	13.6	19.1	22.4	18.7	24.7	26.6	
身近な公園や緑地の整備	28.2	30.4	24.9	18.1	30.8	32.6	44.5	30.9	24.7	29.9	18.3	26.0	
交通安全・防犯対策の推進	46.3	49.4	47.0	38.6	45.8	46.1	53.6	57.3	51.2	43.3	38.2	42.8	
自然環境の保全	22.2	22.2	22.9	22.9	21.8	23.6	20.9	29.1	20.6	20.9	20.4	23.1	
地球温暖化対策の推進	19.4	20.9	19.0	10.8	19.3	15.7	13.6	18.2	19.4	19.4	21.5	20.8	
ごみの減量化やリサイクルの推進	26.6	27.5	26.9	14.5	26.8	16.9	20.0	20.0	24.1	24.6	33.3	33.5	
消費者保護施策の推進	7.8	6.6	6.7	6.0	10.9	2.2	5.5	8.2	10.0	6.7	8.6	11.0	
その他	3.4	2.8	5.5	4.8	2.2	7.9	3.6	5.5	2.9	2.2	2.2	2.9	

(網掛け)は上位3項目

問 12 熊野町は子育てがしやすいまちですか。(SA)

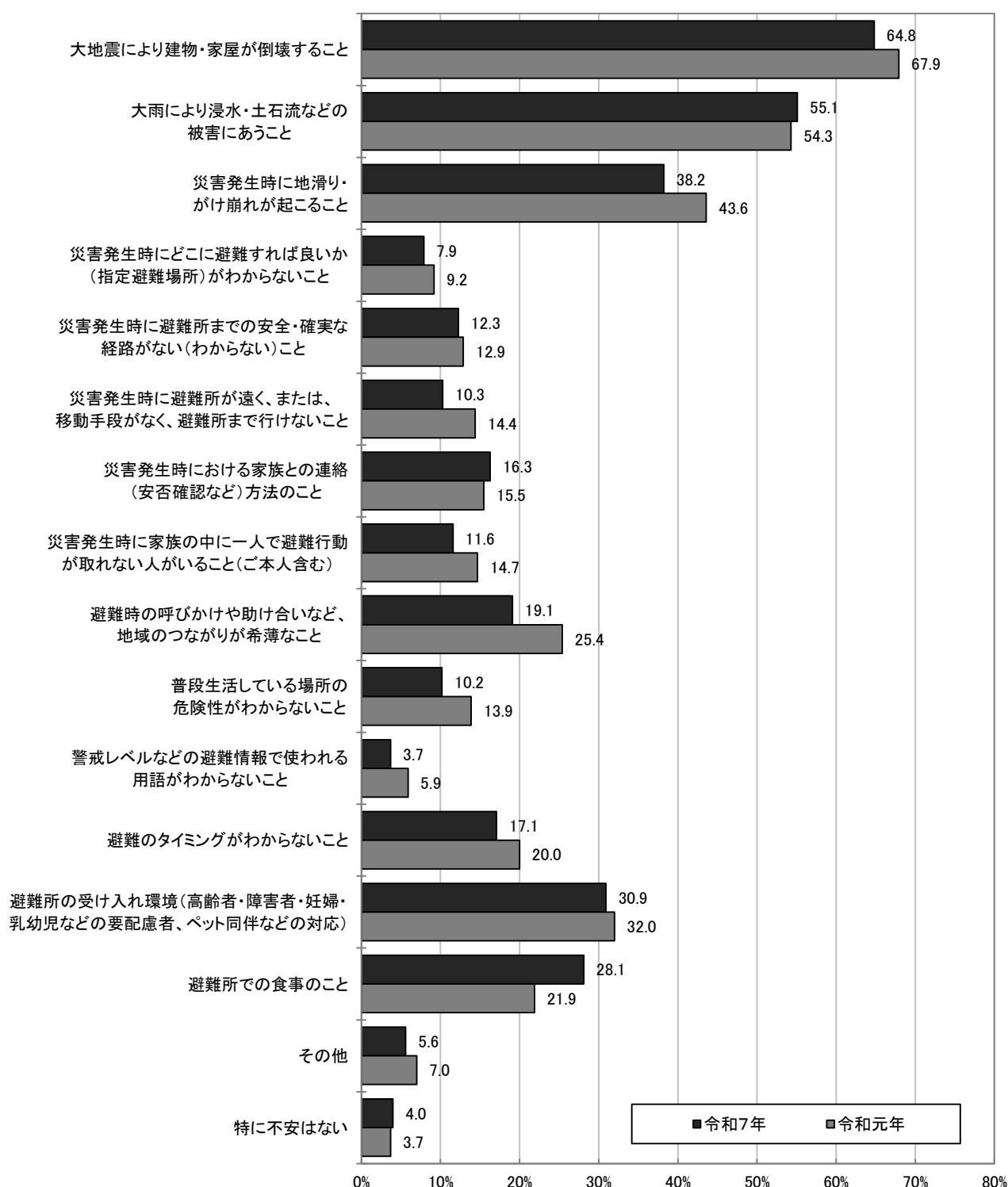
「どちらかといえば子育てがしやすい」が 40.9%、「わからない」が 37.8%で群を抜いて高くなっています。次いで「子育てがしやすい」が 13.1%で続いています。

年代別では、他の年代に比べて『80 歳以上』で「わからない」が半数以上と高くなっています。



問 13 地震や大雨などの災害に対して、特に不安に思うことは何ですか。(MA)

「大地震により建物・家屋が倒壊すること」が 64.8%で最も高くなっています。次いで「大雨により浸水・土石流などの被害にあうこと」が 55.1%、「災害発生時に地滑り・がけ崩れが起こること」が 38.2%で続いています。



地域別では、他の地域に比べて『東部』で「大雨により浸水・土石流などの被害にあうこと」の割合が高くなっています。

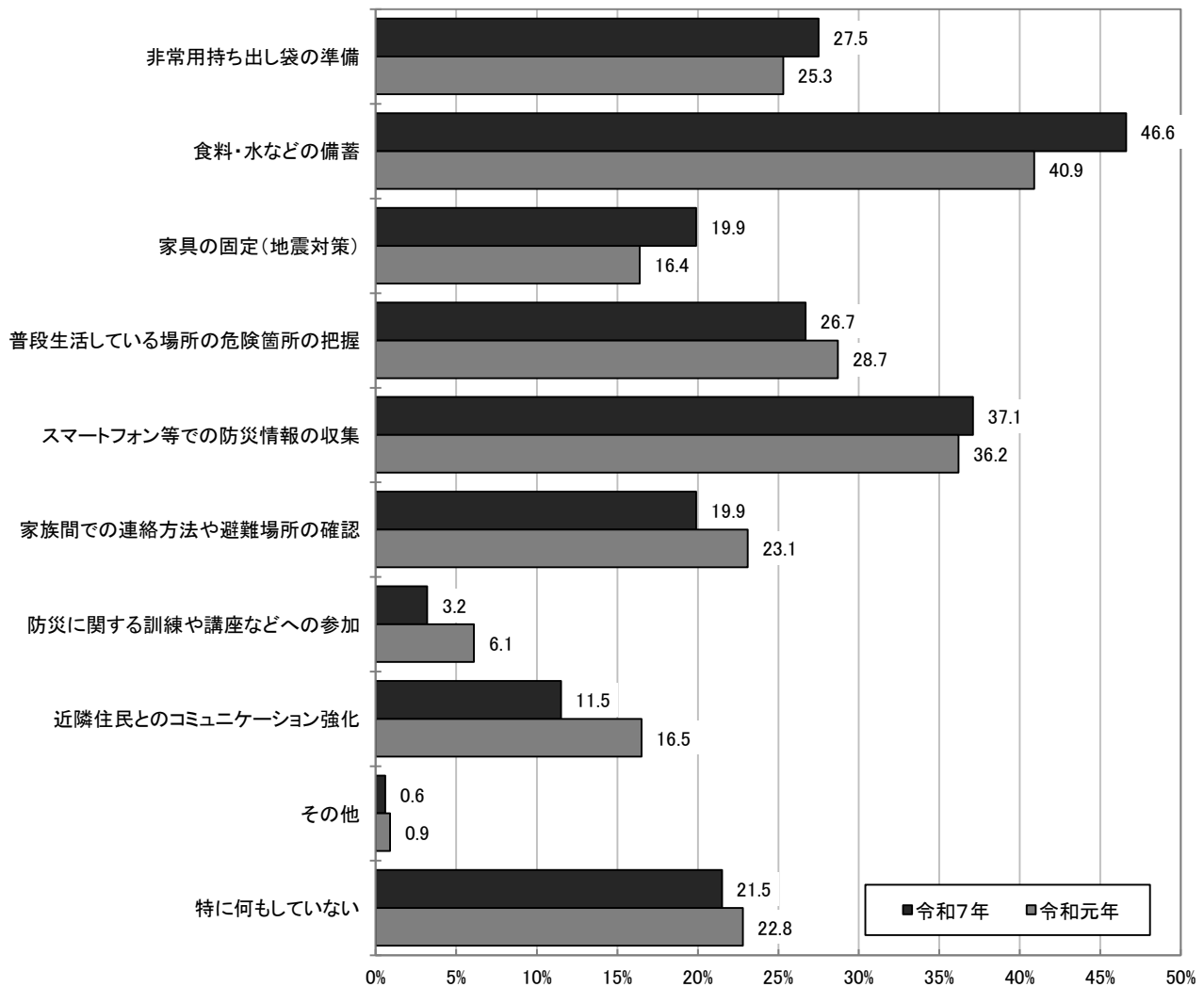
年代別では、他の年代に比べて『10・20 歳代』で「大雨により浸水・土石流などの被害にあうこと」「災害発生時に地滑り・がけ崩れが起こること」「災害発生時における家族との連絡(安否確認など)方法のこと」、『30 歳代』で「大雨により浸水・土石流などの被害にあうこと」「災害発生時における家族との連絡(安否確認など)方法のこと」「避難所での食事のこと」、『40 歳代』で「災害発生時に地滑り・がけ崩れが起こること」、『80 歳以上』で、「災害発生時に避難所が遠く、または、移動手段がなく、避難所まで行けないこと」「災害発生時に家族の中に一人で避難行動が取れない人がいること(ご本人含む)」の割合が高くなっています。

	全体 n=994	地区				年齢区分							
		中央部南 西 n=316	中央部北 東 n=252	東部 n=83	西部 n=320	10・20歳 代 n=88	30歳代 n=110	40歳代 n=108	50歳代 n=169	60歳代 n=135	70歳代 n=187	80歳以上 n=173	
大地震により建物・家屋が倒壊すること	64.8	65.5	66.7	67.5	62.8	60.2	68.2	60.2	62.7	67.4	71.1	63.0	
大雨により浸水・土石流などの被害にあうこと	55.1	59.8	56.7	67.5	46.6	68.2	65.5	62.0	61.5	60.0	46.5	37.6	
災害発生時に地滑り・がけ崩れが起こること	38.2	39.2	35.7	47.0	37.2	51.1	41.8	52.8	43.2	35.6	31.0	25.4	
災害発生時にどこに避難すれば良いか (指定避難場所)がわからないこと	7.9	9.8	9.1	-	7.2	12.5	7.3	7.4	6.5	5.9	6.4	11.0	
災害発生時に避難所までの安全・確実な経路がない(わからない)こと	12.3	13.9	13.1	9.6	10.3	17.0	12.7	13.9	13.0	9.6	9.1	12.7	
災害発生時に避難所が遠く、または、移動手段がなく、避難所まで行けないこと	10.3	9.2	13.9	10.8	8.8	12.5	2.7	3.7	5.9	5.9	13.4	23.1	
災害発生時における家族との連絡 (安否確認など)方法のこと	16.3	17.1	14.3	12.0	19.4	27.3	31.8	20.4	16.6	13.3	7.5	12.1	
災害発生時に家族の中に一人で避難行動 が取れない人がいること(ご本人含む)	11.6	11.4	9.9	12.0	12.8	15.9	10.0	13.0	7.1	5.9	5.9	24.3	
避難時の呼びかけや助け合いなど、 地域のつながりが希薄なこと	19.1	22.8	19.0	8.4	19.1	13.6	8.2	17.6	17.2	19.3	23.0	28.9	
普段生活している場所の 危険性がわからないこと	10.2	13.0	10.7	3.6	9.1	12.5	13.6	10.2	6.5	8.9	7.5	14.5	
警戒レベルなどの避難情報で使われる 用語がわからないこと	3.7	3.2	3.2	2.4	5.0	5.7	5.5	3.7	3.0	2.2	2.7	4.6	
避難のタイミングがわからないこと	17.1	18.7	18.7	13.3	15.3	19.3	20.9	18.5	16.6	16.3	13.9	17.3	
避難所の受け入れ環境(高齢者・ 障害者・妊婦・乳幼児などの 要配慮者、ペット同伴などの対応)	30.9	29.7	33.3	16.9	34.4	30.7	29.1	26.9	32.5	32.6	33.2	30.6	
避難所での食事のこと	28.1	25.9	31.0	31.3	28.1	37.5	40.9	30.6	28.4	26.7	21.9	23.1	
その他	5.6	6.3	5.6	2.4	5.9	5.7	7.3	9.3	8.3	5.2	2.7	3.5	
特に不安はない	4.0	3.2	4.0	2.4	5.0	2.3	0.9	-	3.0	3.7	6.4	7.5	

(網掛け)は上位3項目

問 14 ご家庭で、日頃からどのような防災・減災対策に取り組まれていますか。(MA)

「食料・水などの備蓄」が 46.6%で最も高くなっています。次いで「スマートフォン等での防災情報の収集」が 37.1%、「非常用持ち出し袋の準備」が 27.5%で続いています。



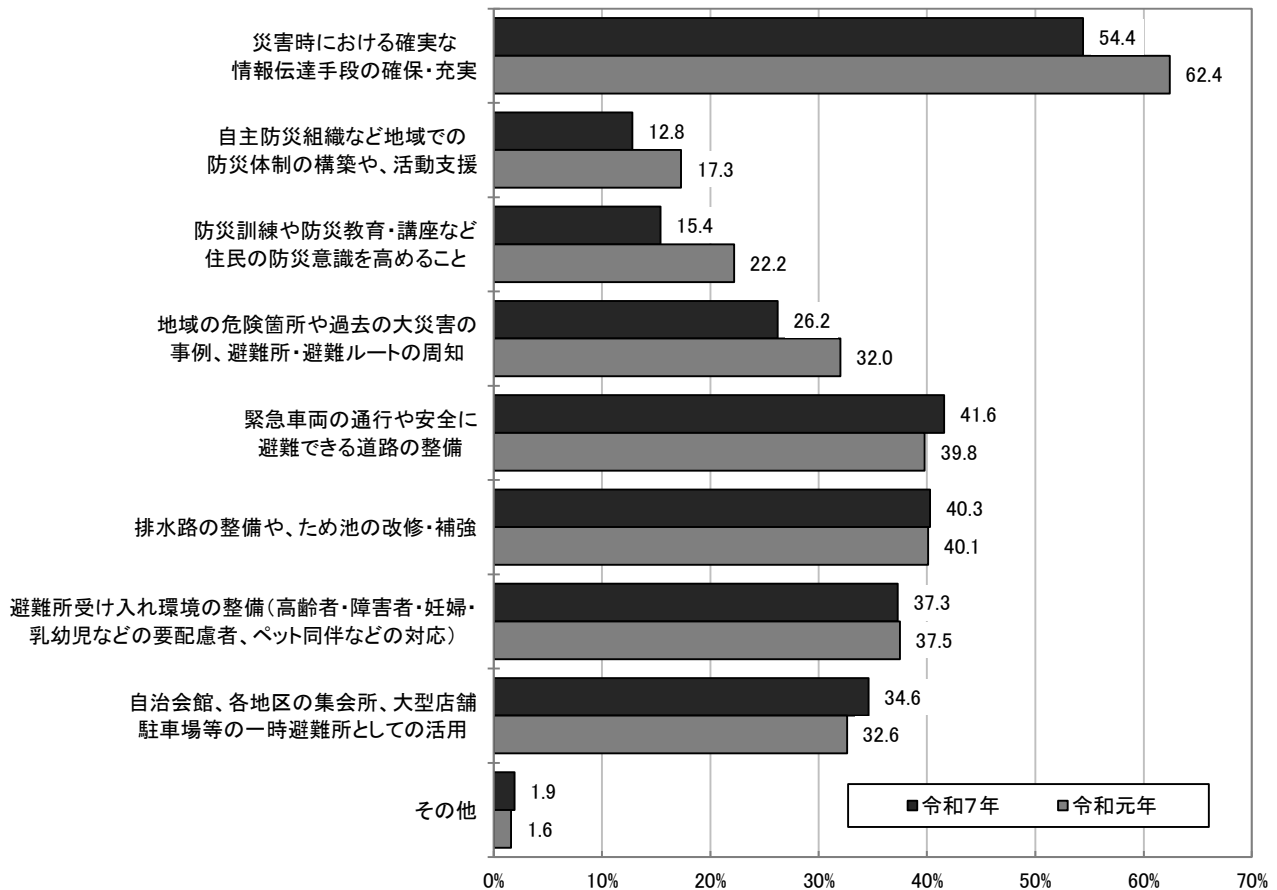
年代別では、他の年代に比べて『40 歳代』で「食料・水などの備蓄」「スマートフォン等での防災情報の収集」「家族間での連絡方法や避難場所の確認」の割合が高くなっています。

	全体 n=1,006	地区				年齢区分							
		中央部南 西 n=320	中央部北 東 n=260	東部 n=82	西部 n=322	10・20歳 代 n=88	30歳代 n=112	40歳代 n=108	50歳代 n=170	60歳代 n=136	70歳代 n=196	80歳以上 n=173	
非常用持ち出し袋の準備	27.5	26.3	25.4	32.9	30.1	27.3	28.6	31.5	28.2	25.0	28.1	27.2	
食料・水などの備蓄	46.6	42.2	47.7	43.9	51.6	47.7	55.4	58.3	46.5	47.8	44.4	36.4	
家具の固定(地震対策)	19.9	18.1	22.7	18.3	20.2	12.5	12.5	22.2	23.5	16.2	23.5	23.1	
普段生活している場所の危険箇所の把握	26.7	28.4	24.2	25.6	27.0	23.9	18.8	30.6	25.3	30.1	30.6	24.9	
スマートフォン等での防災情報の収集	37.1	38.1	36.5	31.7	38.5	35.2	42.0	47.2	46.5	39.0	33.2	23.7	
家族間での連絡方法や避難場所の確認	19.9	19.1	20.4	20.7	20.2	27.3	19.6	30.6	17.6	14.7	14.3	22.5	
防災に関する訓練や講座などへの参加	3.2	2.5	4.2	3.7	2.8	2.3	3.6	2.8	1.8	2.9	3.6	4.6	
近隣住民とのコミュニケーション強化	11.5	8.1	11.9	20.7	12.4	11.4	13.4	7.4	10.0	5.1	11.2	20.2	
その他	0.6	0.9	0.4	—	0.6	—	—	1.9	0.6	0.7	0.5	0.6	
特に何もしていない	21.5	22.5	20.8	22.0	20.2	21.6	17.9	13.0	15.9	22.1	23.0	30.6	

(網掛け)は上位3項目

問 15 あなたは防災・減災の分野について、今後どのような点に力を入れていくべきだと思いますか。(MA)

「災害時における確実な情報伝達手段の確保・充実」が 54.4%で最も高くなっています。次いで「緊急車両の通行や安全に避難できる道路の整備」が 41.6%、「排水路の整備や、ため池の改修・補強」が 40.3%が続いています。



年代別では、他の年代に比べて『10・20 歳代』で「避難所受け入れ環境の整備(高齢者・障害者・妊婦・乳幼児などの要配慮者、ペット同伴などの対応)」、『30 歳代』で「緊急車両の通行や安全に避難できる道路の整備」、『40 歳代』で「排水路の整備や、ため池の改修・補強」の割合が高くなっています。

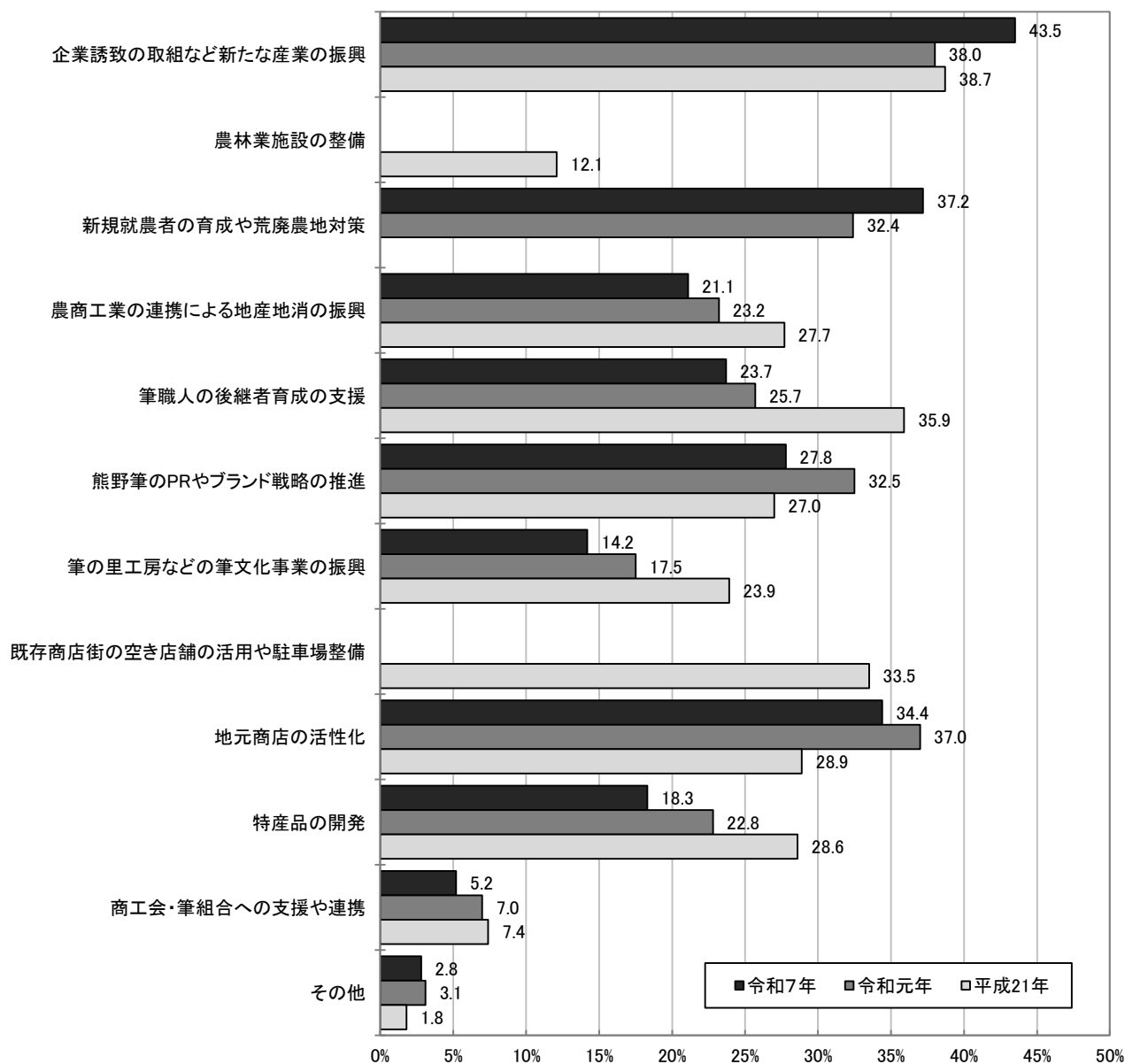
	全体 n=982	地区				年齢区分							
		中央部南 西 n=311	中央部北 東 n=252	東部 n=81	西部 n=317	10・20歳 代 n=88	30歳代 n=110	40歳代 n=105	50歳代 n=169	60歳代 n=136	70歳代 n=184	80歳以上 n=168	
災害時における確実な 情報伝達手段の確保・充実	54.4	52.1	52.0	56.8	58.7	53.4	50.0	54.3	62.7	48.5	53.8	56.0	
自主防災組織など地域での 防災体制の構築や、活動支援	12.8	13.2	11.9	13.6	12.9	14.8	8.2	15.2	11.2	15.4	12.0	13.1	
防災訓練や防災教育・講座など 住民の防災意識を高めること	15.4	15.8	20.2	17.3	11.0	21.6	10.9	18.1	14.2	14.0	12.5	19.6	
地域の危険箇所や過去の大災害の 事例、避難所・避難ルートの周知	26.2	26.4	26.6	23.5	27.4	35.2	30.0	33.3	21.9	25.7	22.8	25.0	
緊急車両の通行や安全に 避難できる道路の整備	41.6	46.0	43.3	35.8	37.9	50.0	51.8	46.7	46.2	42.6	35.9	29.2	
排水路の整備や、ため池の改修・補強	40.3	40.5	43.3	39.5	37.2	39.8	49.1	52.4	37.3	44.1	38.6	28.0	
避難所受け入れ環境の整備 (高齢者・障害者・妊婦・乳幼児などの 要配慮者、ペット同伴などの対応)	37.3	35.4	38.5	22.2	42.6	47.7	39.1	37.1	34.3	36.0	35.3	38.1	
自治会館、各地区の集会所、大型店舗 駐車場等の一時避難所としての活用	34.6	33.8	37.3	28.4	36.0	27.3	32.7	34.3	34.3	35.3	38.6	37.5	
その他	1.9	1.9	2.0	2.5	1.6	－	1.8	1.9	2.4	1.5	2.2	2.4	

(網掛け)は上位3項目

問 16 あなたは産業の振興に向けて、今後どのような点に力を入れていくべきだと思いますか。(MA)

「企業誘致の取組など新たな産業の振興」が 43.5%で最も高くなっています。次いで「新規就農者の育成や荒廃農地対策」が 37.2%、「地元商店の活性化」が 34.4%で続いています。

前回調査と比較すると、「企業誘致の取組など新たな産業の振興」「新規就農者の育成や荒廃農地対策」の割合が高くなっています。



年代別では、他の年代に比べて『10・20 歳代』で「筆職人の後継者育成の支援」「熊野筆の PR やブランド戦略の推進」、『30 歳代』で「企業誘致の取組など新たな産業の振興」の割合が高くなっています。

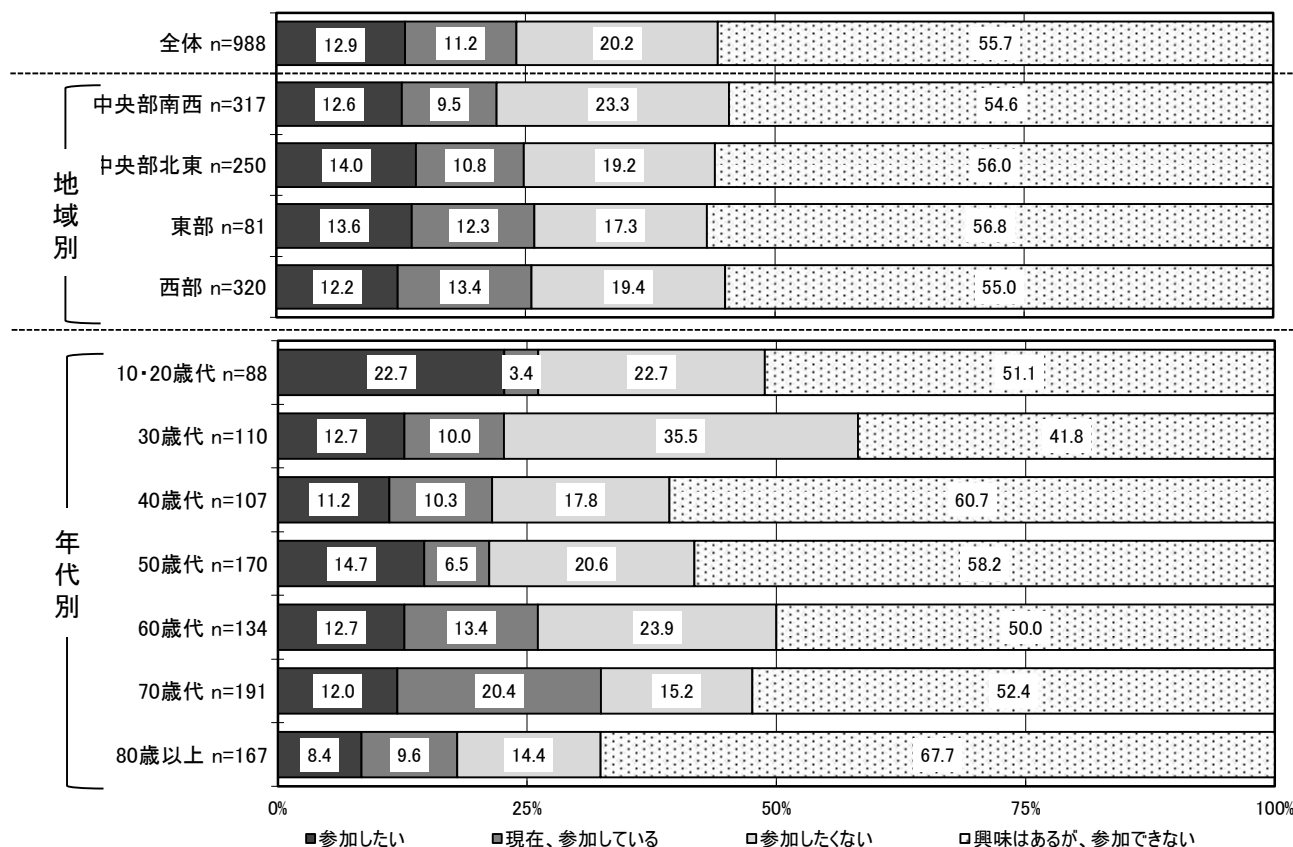
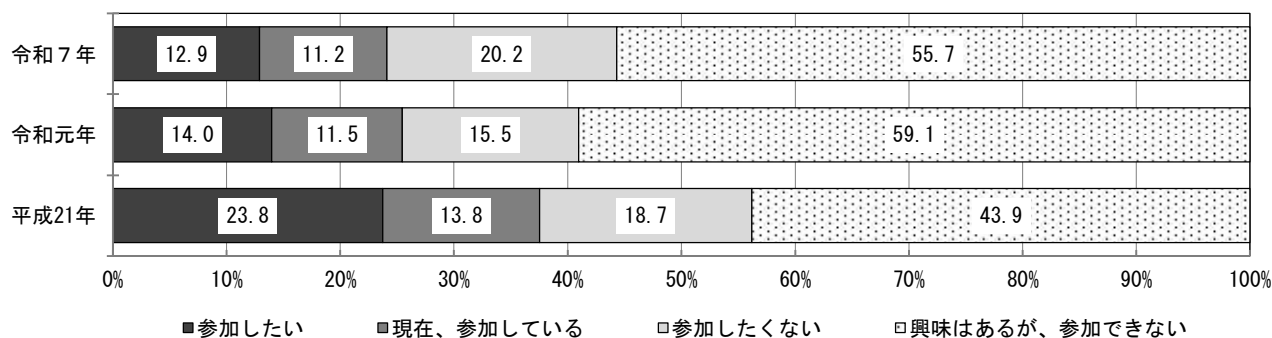
	全体 n=935	地区				年齢区分							
		中央部南 西 n=296	中央部北 東 n=242	東部 n=77	西部 n=298	10・20歳 代 n=86	30歳代 n=109	40歳代 n=102	50歳代 n=166	60歳代 n=127	70歳代 n=172	80歳以上 n=151	
企業誘致の取組など新たな産業の振興	43.5	42.6	45.0	40.3	45.3	50.0	55.0	50.0	47.6	47.2	35.5	30.5	
新規就農者の育成や荒廃農地対策	37.2	38.5	40.1	46.8	32.2	34.9	30.3	36.3	37.3	44.1	45.3	31.1	
農商工業の連携による地産地消の振興	21.1	18.9	23.6	22.1	20.1	15.1	16.5	23.5	24.7	23.6	19.2	20.5	
筆職人の後継者育成の支援	23.7	25.0	24.4	19.5	23.2	36.0	31.2	29.4	24.7	21.3	11.0	23.2	
熊野筆のPRやブランド戦略の推進	27.8	28.7	28.1	16.9	30.5	46.5	30.3	31.4	24.7	24.4	23.3	27.2	
筆の里工房などの筆文化事業の振興	14.2	15.9	11.2	7.8	17.1	22.1	16.5	14.7	13.3	9.4	11.0	17.2	
地元商店の活性化	34.4	32.8	31.4	32.5	38.9	33.7	23.9	39.2	37.3	29.9	33.7	40.4	
特産品の開発	18.3	17.6	19.8	13.0	19.5	22.1	12.8	25.5	18.1	17.3	13.4	22.5	
商工会・筆組合への支援や連携	5.2	7.1	5.8	1.3	3.7	3.5	6.4	6.9	6.0	7.1	4.1	2.6	
その他	2.8	1.4	5.8	-	2.0	3.5	2.8	1.0	2.4	2.4	2.9	3.3	

(網掛け)は上位3項目

問 17 あなたは、地域活動やボランティア活動、協働のまちづくりに参加したいと思いますか。(SA)

「興味はあるが、参加できない」が 56.7%を占めています。

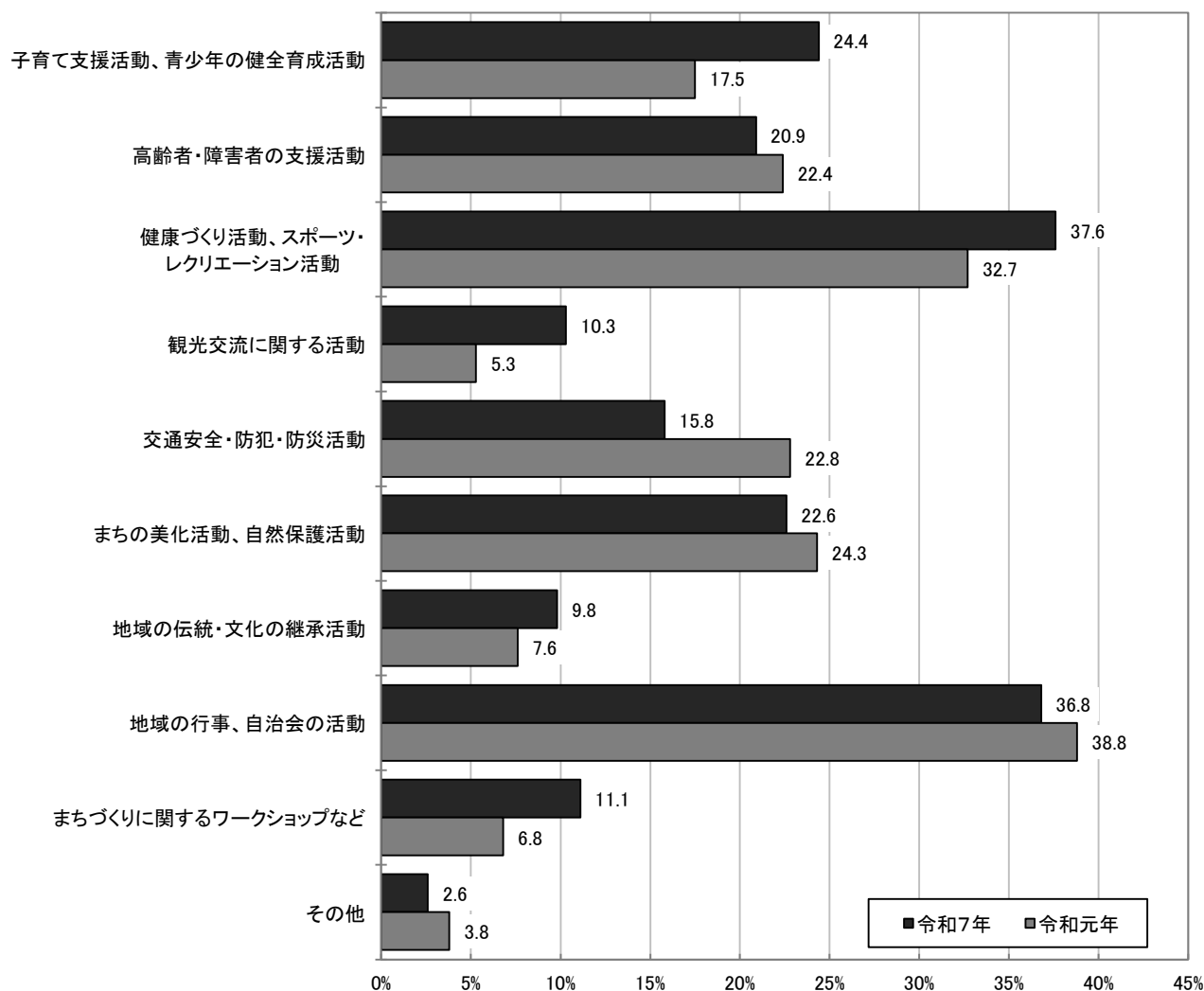
年代別では、他の年代に比べて『30 歳代』で「参加したくない」、『80 歳以上』で、「興味はあるが、参加できない」の割合が高くなっています。



※ 問 17 で「1. 参加したい」「2. 現在、参加している」を選択した方におうかがいします。

問 18 どんな分野に参加したいですか。また、参加していますか。(MA)

「健康づくり活動、スポーツ・レクリエーション活動」が 37.6%で最も高くなっています。次いで「地域の行事、自治会の活動」が 36.8%、「子育て支援活動、青少年の健全育成活動」が 24.4%が続いています。



地域別では、『中央部北東』で「観光交流に関する活動」、『東部』で「地域の行事、自治会の活動」の割合が高くなっています。

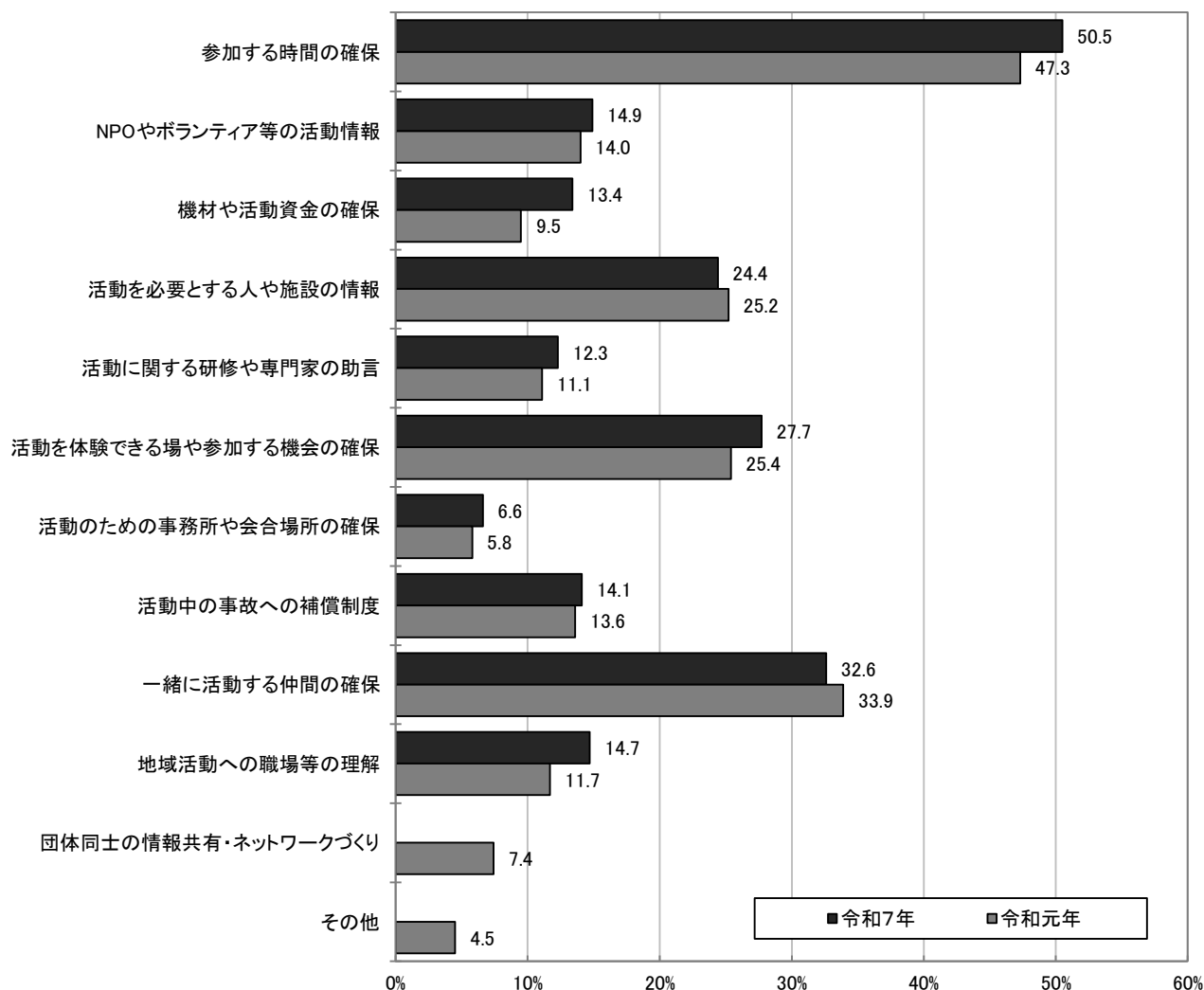
年代別では、他の年代に比べて『10・20 歳代』で「観光交流に関する活動」「地域の伝統・文化の継承活動」、『30 歳代』で「子育て支援活動、青少年の健全育成活動」「まちの美化活動、自然保護活動」、『40 歳代』で「子育て支援活動、青少年の健全育成活動」「まちの美化活動、自然保護活動」「地域の行事、自治会の活動」「まちづくりに関するワークショップなど」の割合が高くなっています。

	全体 n=234	地区				年齢区分							
		中央部南 西 n=70	中央部北 東 n=60	東部 n=20	西部 n=81	10・20歳 代 n=23	30歳代 n=25	40歳代 n=21	50歳代 n=36	60歳代 n=35	70歳代 n=61	80歳以上 n=29	
子育て支援活動、青少年の健全育成活動	24.4	22.9	26.7	20.0	23.5	26.1	44.0	38.1	27.8	20.0	21.3	-	
高齢者・障害者の支援活動	20.9	15.7	25.0	15.0	23.5	4.3	4.0	9.5	30.6	22.9	27.9	24.1	
健康づくり活動、スポーツ・ レクリエーション活動	37.6	44.3	38.3	40.0	30.9	39.1	40.0	38.1	47.2	34.3	31.1	37.9	
観光交流に関する活動	10.3	8.6	21.7	10.0	3.7	34.8	8.0	9.5	16.7	8.6	3.3	3.4	
交通安全・防犯・防災活動	15.8	11.4	23.3	20.0	13.6	17.4	16.0	19.0	16.7	11.4	18.0	13.8	
まちの美化活動、自然保護活動	22.6	25.7	21.7	25.0	21.0	21.7	44.0	33.3	22.2	22.9	13.1	20.7	
地域の伝統・文化の継承活動	9.8	10.0	18.3	5.0	4.9	34.8	-	14.3	19.4	8.6	3.3	-	
地域の行事、自治会の活動	36.8	37.1	35.0	50.0	35.8	43.5	36.0	47.6	30.6	40.0	32.8	41.4	
まちづくりに関するワークショップなど	11.1	11.4	11.7	15.0	9.9	30.4	8.0	23.8	8.3	14.3	3.3	6.9	
その他	2.6	2.9	-	5.0	3.7	-	-	9.5	-	2.9	4.9	-	

(網掛け)は上位3項目

問 19 あなたが地域活動や協働のまちづくりに参加しやすくなるためには何が必要だと思いますか。(MA)

「参加する時間の確保」が50.5%で最も高くなっています。次いで「一緒に活動する仲間の確保」が32.6%、「活動を体験できる場や参加する機会の確保」が27.7%が続いています。



年代別では、他の年代に比べて『10・20 歳代』で「参加する時間の確保」「活動を体験できる場や参加する機会の確保」、『30 歳代』で「参加する時間の確保」、『40 歳代』で「参加する時間の確保」「地域活動への職場等の理解」、『50 歳代』で「参加する時間の確保」の割合が高くなっています。

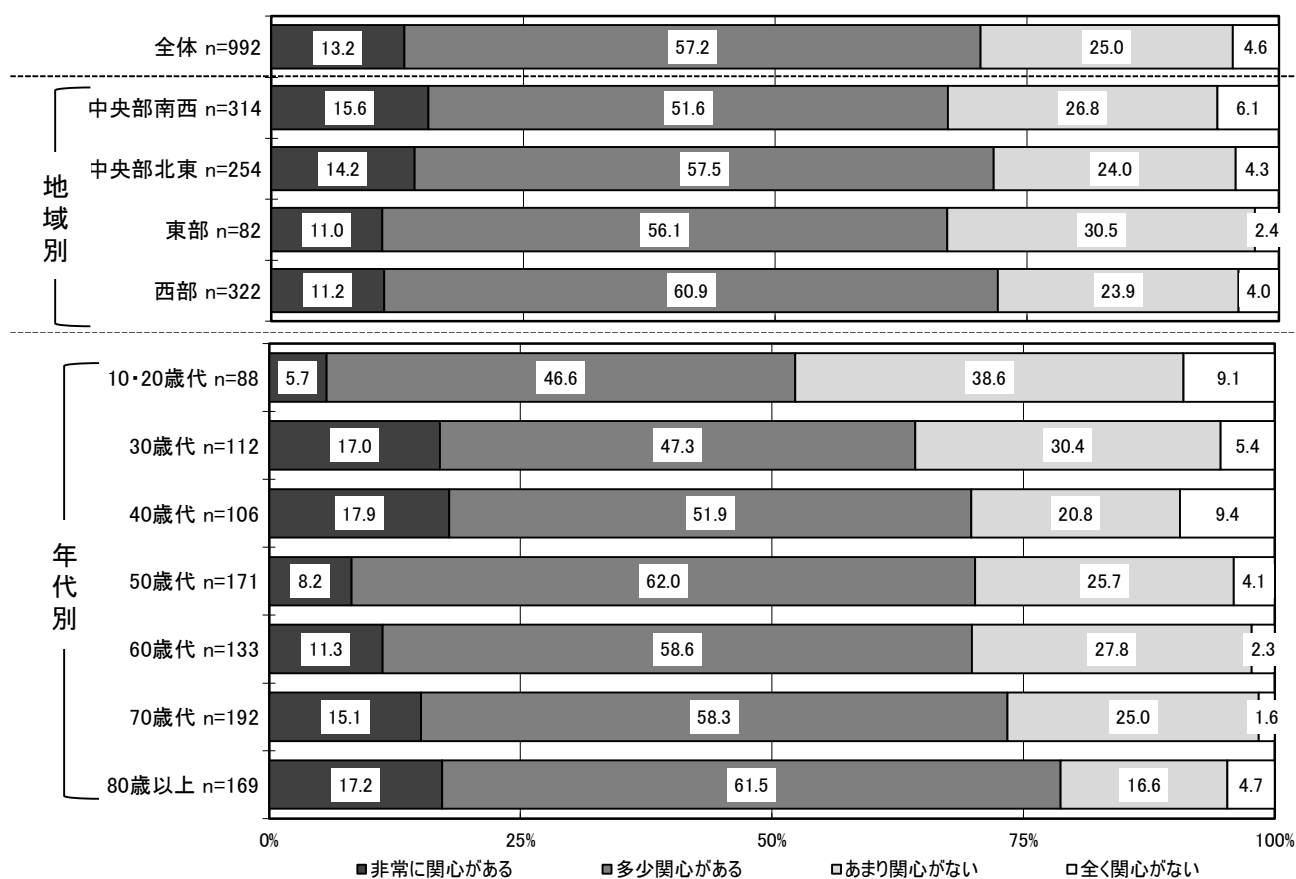
	全体 n=859	地区				年齢区分							
		中央部南 西 n=268	中央部北 東 n=220	東部 n=72	西部 n=281	10・20歳 代 n=83	30歳代 n=101	40歳代 n=100	50歳代 n=158	60歳代 n=123	70歳代 n=158	80歳以上 n=117	
参加する時間の確保	50.5	49.3	45.9	55.6	53.4	61.4	74.3	68.0	63.3	38.2	32.3	26.5	
NPOやボランティア等の活動情報	14.9	15.3	15.5	5.6	16.4	14.5	13.9	11.0	16.5	14.6	16.5	15.4	
機材や活動資金の確保	13.4	11.6	14.5	5.6	16.4	15.7	11.9	18.0	10.8	16.3	11.4	12.8	
活動を必要とする人や施設の情報	24.4	20.5	34.1	19.4	21.7	20.5	19.8	25.0	22.8	27.6	29.1	22.2	
活動に関する研修や専門家の助言	12.3	13.1	14.5	5.6	11.4	8.4	5.9	10.0	8.9	13.0	17.1	18.8	
活動を体験できる場や参加する機会の確保	27.7	26.1	30.5	26.4	27.4	38.6	24.8	24.0	24.1	30.9	25.9	29.9	
活動のための事務所や会合場所の確保	6.6	6.7	6.8	4.2	6.8	3.6	3.0	5.0	3.2	8.9	9.5	11.1	
活動中の事故への補償制度	14.1	16.8	13.6	12.5	11.0	9.6	6.9	17.0	15.8	17.9	12.0	14.5	
一緒に活動する仲間の確保	32.6	28.4	31.8	38.9	34.9	39.8	27.7	33.0	28.5	35.8	29.7	35.9	
地域活動への職場等の理解	14.7	13.8	16.4	9.7	14.6	19.3	16.8	26.0	18.4	12.2	6.3	6.8	

(網掛け)は上位3項目

問 20 あなたは、熊野町で実施している基本施策・行政サービスにどの程度関心をお持ちですか。(SA)

「多少関心がある」が 57.2%を占めています。

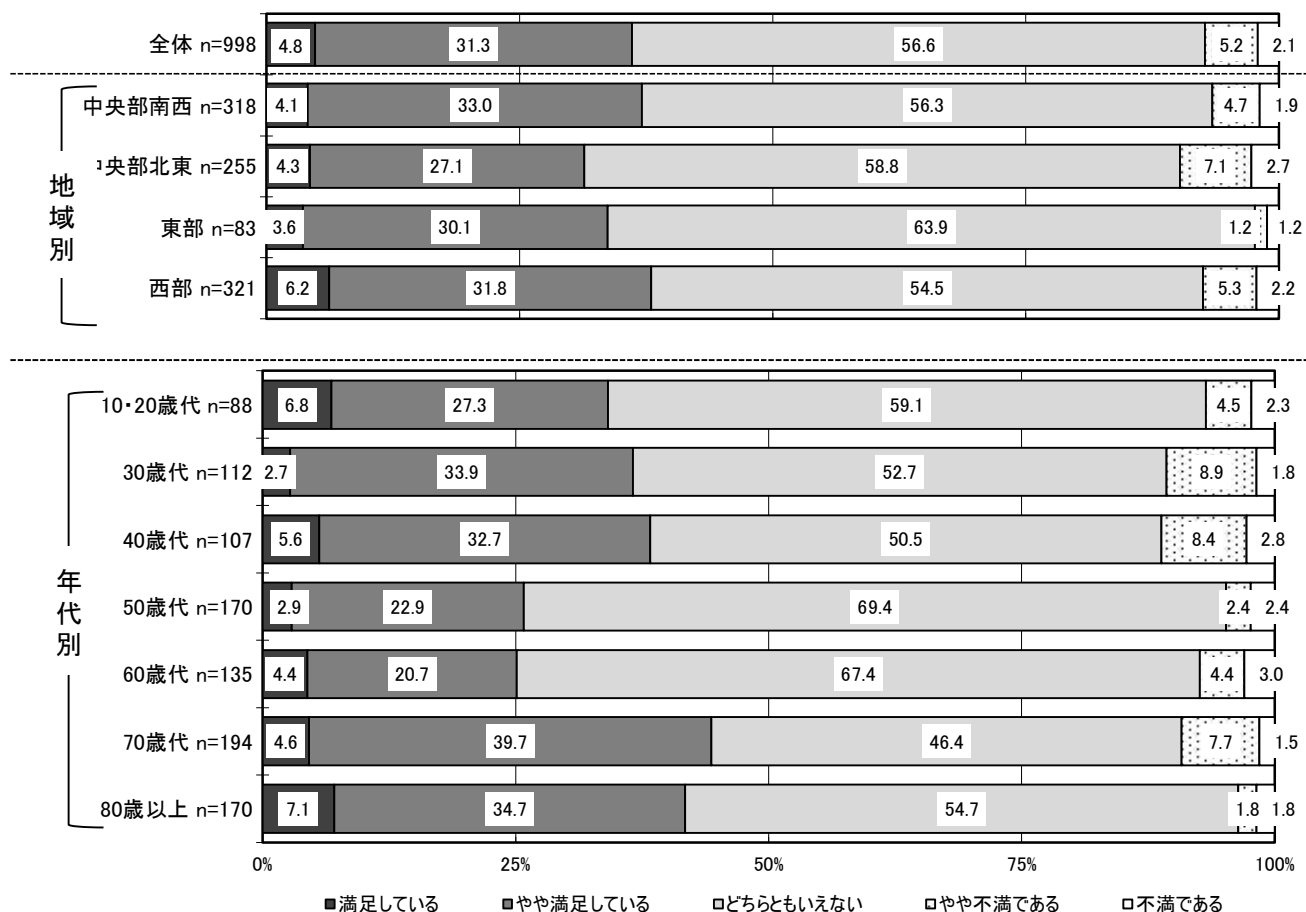
年代別では、他の年代に比べて『10・20 歳代』で「あまり関心がない」の割合が高くなっています。



問 21 あなたは熊野町で実施している事業・行政サービスについて、どの程度満足されていますか。(SA)

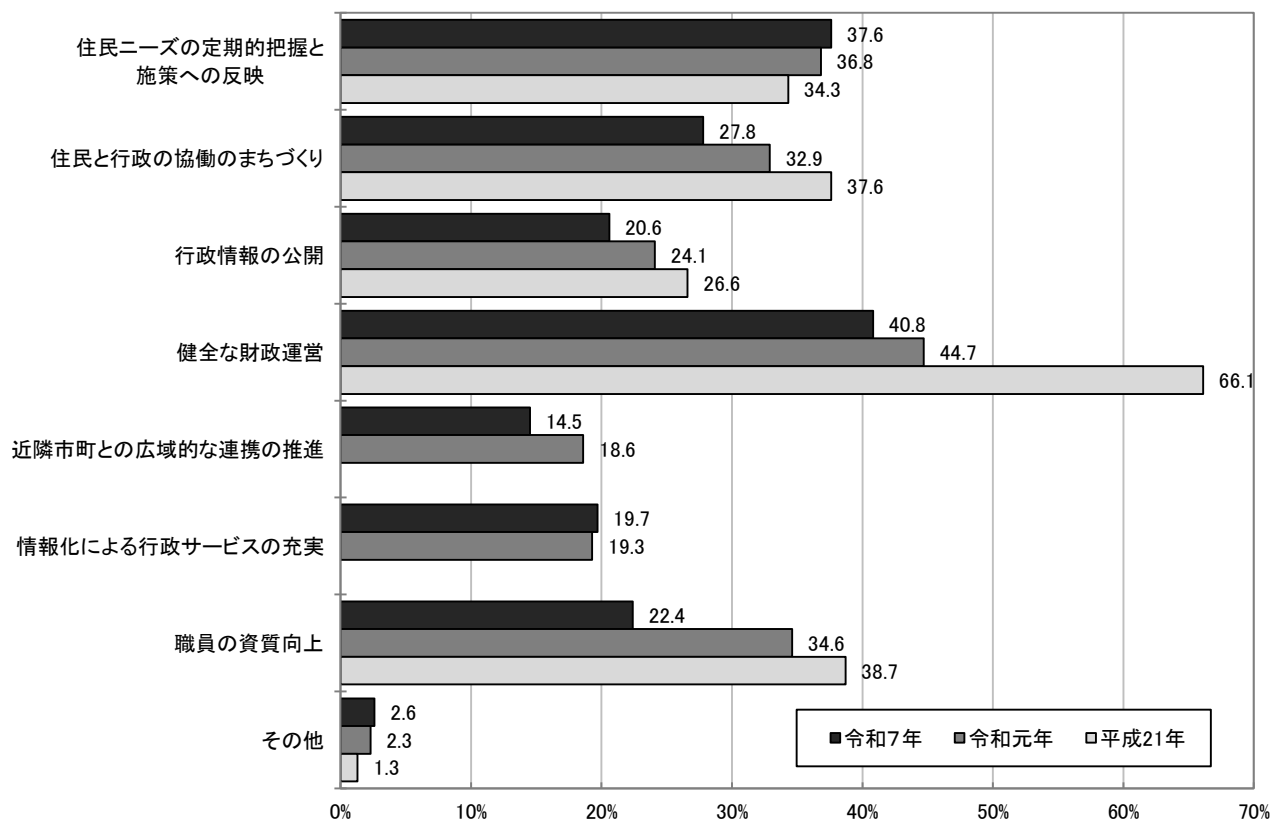
「どちらともいえない」が 56.6%を占めています。

年代別では、他の年代に比べて『50 歳代』『60 歳代』で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。



問 22 あなたは、行政運営について、今後どのような点に力を入れていくべきだと思いますか。(MA)

「健全な財政運営」が 40.8%で最も高くなっています。次いで「住民ニーズの定期的把握と施策への反映」が 37.6%、「住民と行政の協働のまちづくり」が 27.8%で続いています。



年代別では、他の年代に比べて『30 歳代』『40 歳代』で「住民ニーズの定期的把握と施策への反映」、『80 歳以上』で、「住民と行政の協働のまちづくり」の割合が高くなっています。

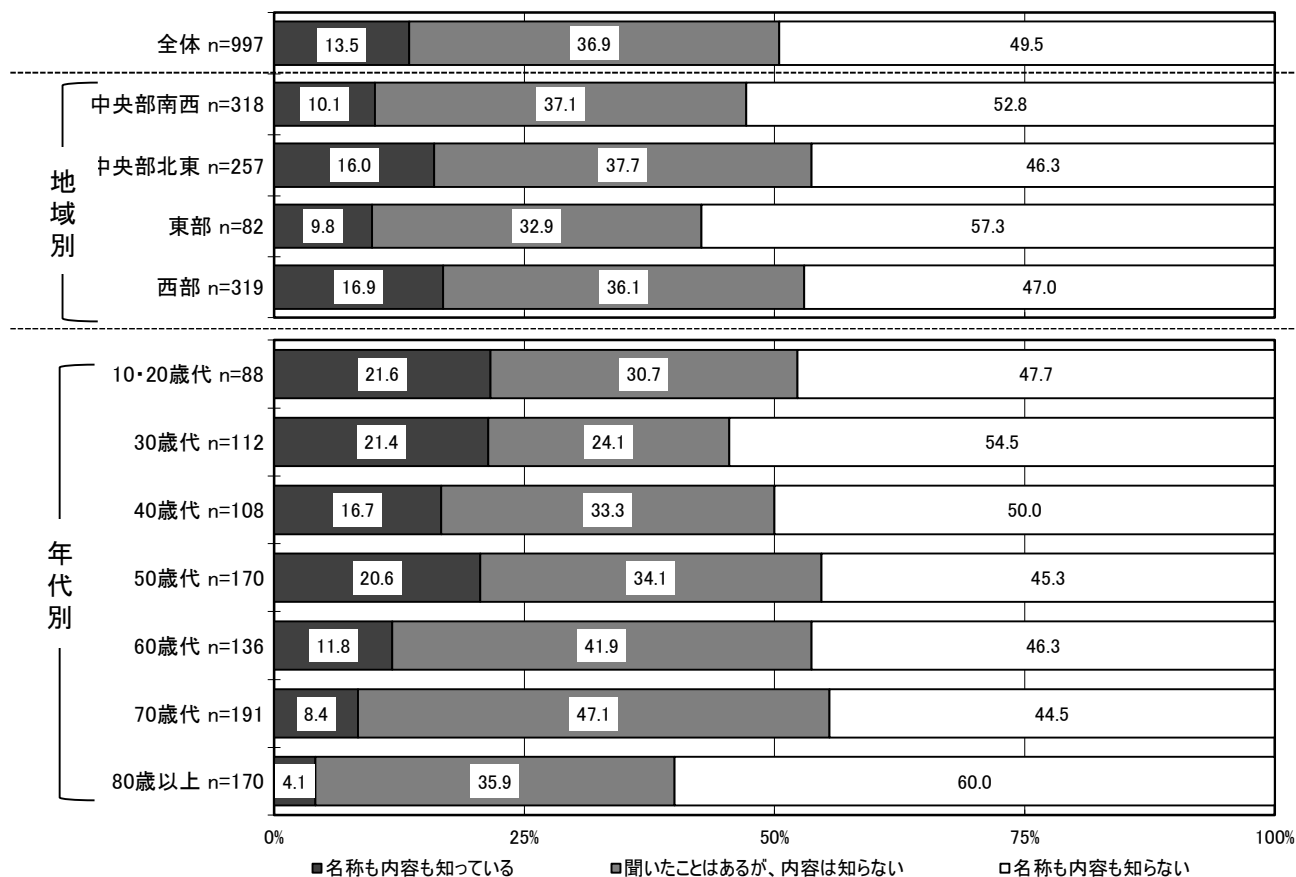
	全体 n=938	地区				年齢区分							
		中央部南 西 n=298	中央部北 東 n=240	東部 n=75	西部 n=304	10・20歳 代 n=87	30歳代 n=109	40歳代 n=102	50歳代 n=164	60歳代 n=128	70歳代 n=175	80歳以上 n=151	
住民ニーズの定期的把握と 施策への反映	37.6	37.2	34.6	41.3	40.8	43.7	54.1	57.8	40.9	39.8	24.6	21.2	
住民と行政の協働のまちづくり	27.8	25.5	27.9	30.7	28.9	32.2	24.8	27.5	18.9	25.0	28.0	38.4	
行政情報の公開	20.6	18.8	25.4	14.7	19.7	17.2	14.7	18.6	20.7	21.1	25.1	21.9	
健全な財政運営	40.8	43.0	38.3	34.7	41.4	40.2	46.8	48.0	47.0	39.1	35.4	31.1	
近隣市町との広域的な連携の推進	14.5	12.4	16.7	14.7	14.8	12.6	12.8	12.7	17.7	13.3	13.1	17.2	
情報化による行政サービスの充実	19.7	18.5	22.1	10.7	21.7	23.0	25.7	14.7	23.2	20.3	17.1	16.6	
職員の資質向上	22.4	25.2	21.3	18.7	21.4	26.4	21.1	20.6	18.9	24.2	23.4	23.2	
その他	2.6	1.7	2.9	4.0	2.3	1.1	2.8	4.9	2.4	2.3	1.7	2.0	

(網掛け)は上位3項目

問 23 あなたはD Xを知っていますか。(SA)

「名称も内容も知らない」が 49.5%で最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」が 36.9%となっています。

年代別では、他の年代に比べて『70 歳代』で「聞いたことはあるが、内容は知らない」、『80 歳以上』で、「名称も内容も知らない」の割合が高くなっています。

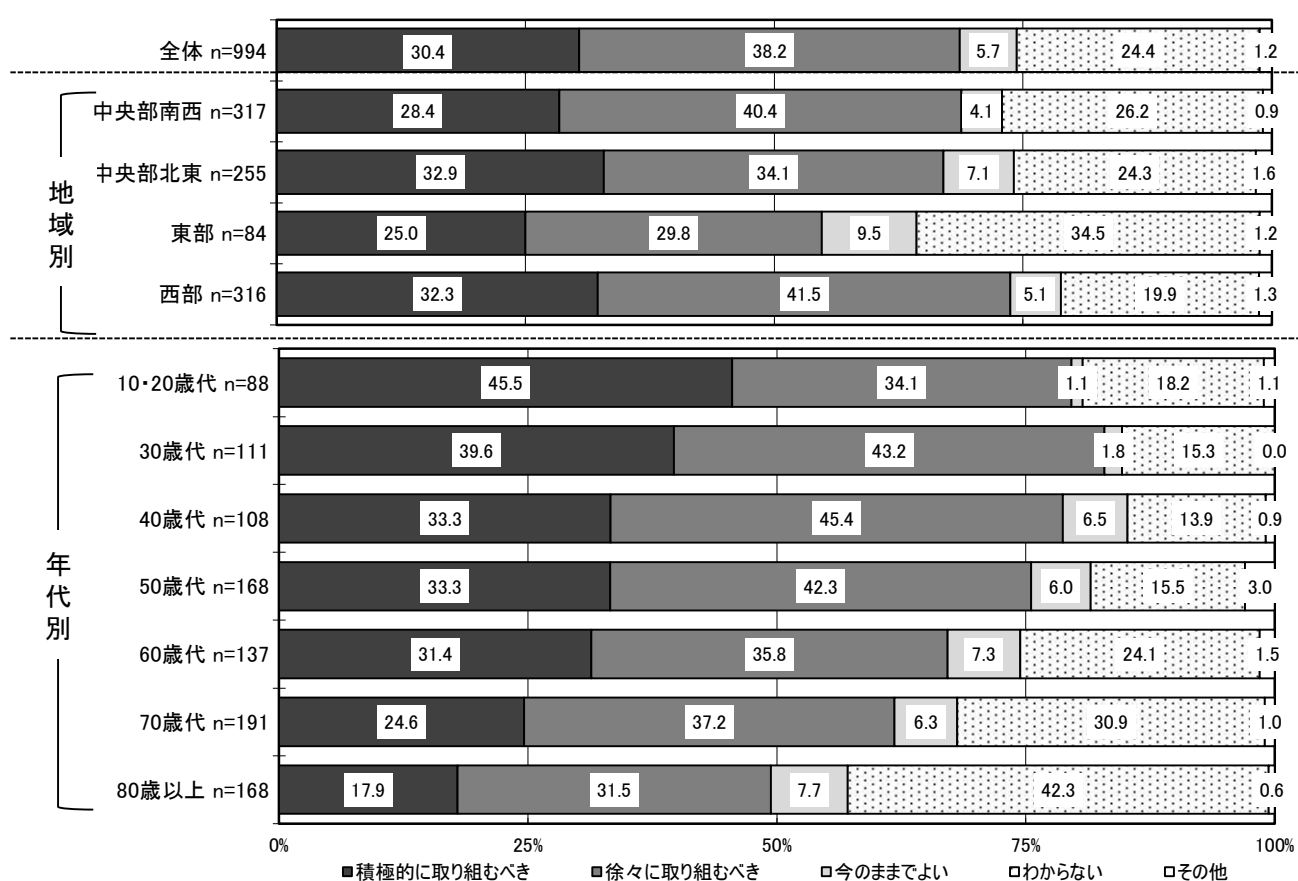


問 24 今後、自治体における各種デジタル技術の導入など、行政サービスのデジタル化を推進するための取組について、どのようにお考えですか。(SA)

「徐々に取り組むべき」が 38.2%で最も高くなっています。次いで「積極的に取り組むべき」が 30.4%、「わからない」が 24.4%が続いています。

地域別では、『東部』で「わからない」の割合が高くなっています。

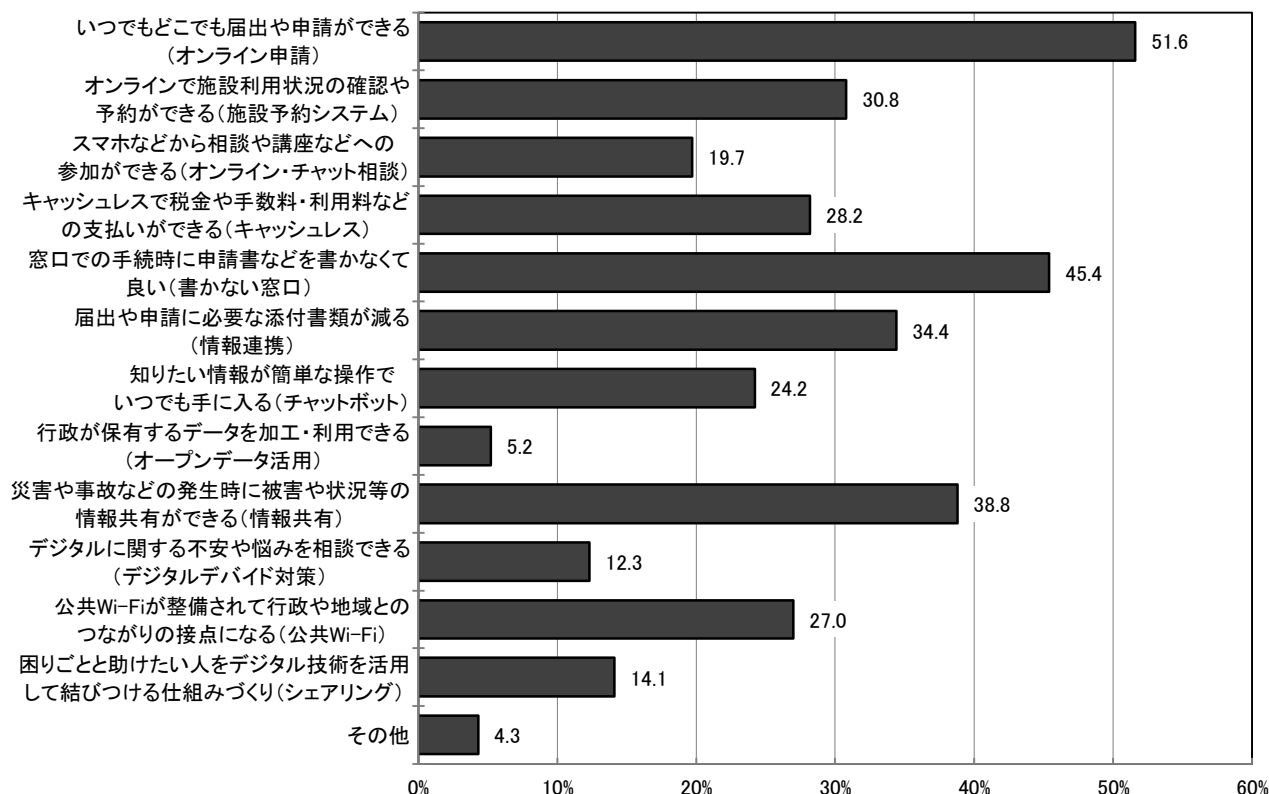
年代別では、他の年代に比べて『10・20 歳代』で「積極的に取り組むべき」、『80 歳以上』で、「わからない」の割合が高くなっています。



問 25 あなたは、熊野町が行うデジタル化の取組について、今後どのような点に力を入れていくべきだと思いますか。(MA)

「いつでもどこでも届出や申請ができる(オンライン申請)」が 51.6%で最も高くなっています。次いで「窓口での手続時に申請書などを書かなくて良い(書かない窓口)」が 45.4%、「災害や事故などの発生時に被害や状況等の情報共有ができる(情報共有)」が 38.8%で続いています。

(MA) n=915



地域別では、他の地域に比べて『東部』で「スマホなどから相談や講座などへの参加ができる(オンライン・チャット相談)」の割合が高くなっています。

年代別では、他の年代に比べて『10・20 歳代』で「いつでもどこでも届出や申請ができる(オンライン申請)」「オンラインで施設利用状況の確認や予約ができる(施設予約システム)」「スマホなどから相談や講座などへの参加ができる(オンライン・チャット相談)」「キャッシュレスで税金や手数料・利用料などの支払いができる(キャッシュレス)」「公共 Wi-Fi が整備されて行政や地域とのつながりの接点になる(公共 Wi-Fi)」、『30 歳代』で「いつでもどこでも届出や申請ができる(オンライン申請)」「オンラインで施設利用状況の確認や予約ができる(施設予約システム)」「キャッシュレスで税金や手数料・利用料などの支払いができる(キャッシュレス)」、『40 歳代』で「いつでもどこでも届出や申請ができる(オンライン申請)」「オンラインで施設利用状況の確認や予約ができる(施設予約システム)」、『50 歳代』で「届出や申請に必要な添付書類が減る(情報連携)」の割合が高くなっています。

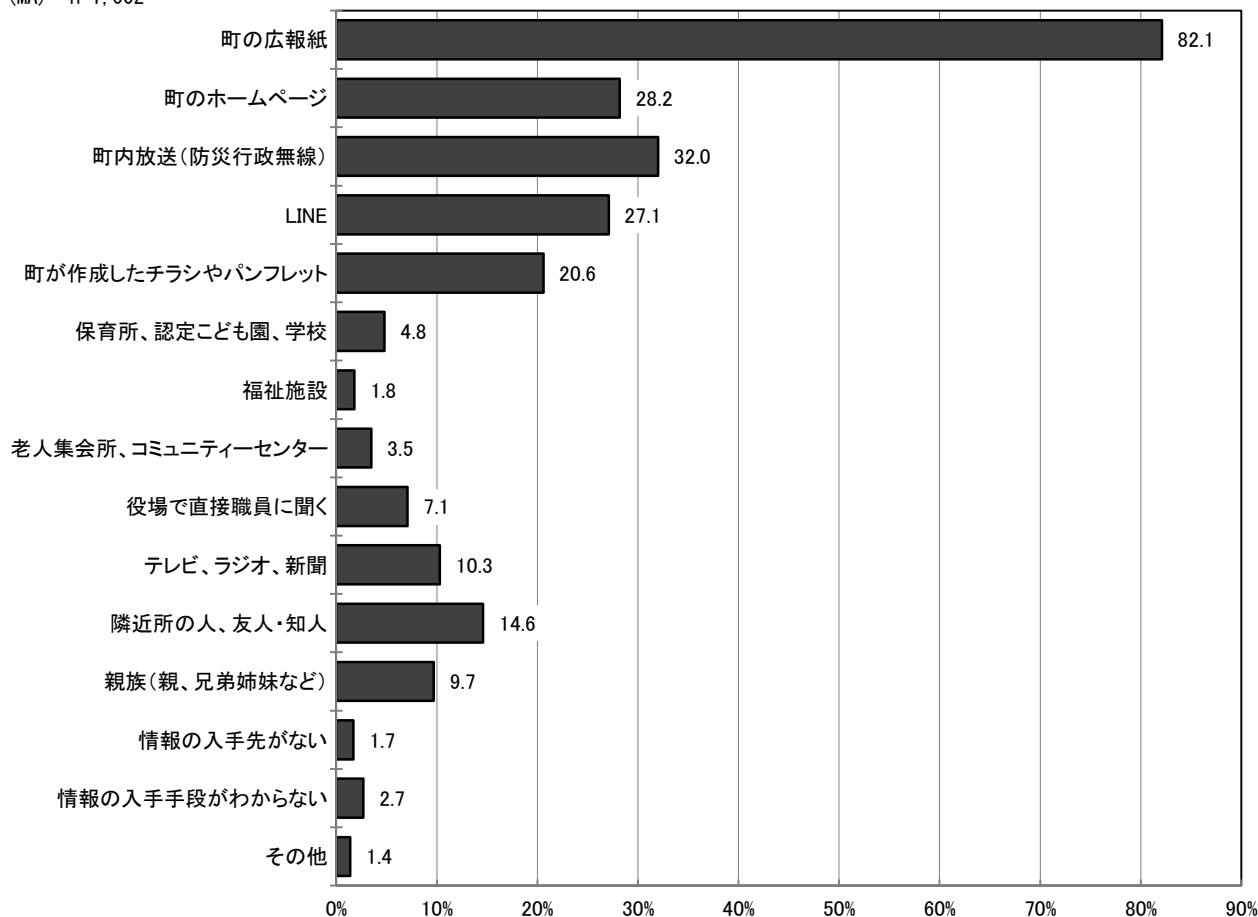
	全体 n=915	地区				年齢区分						
		中央部南 西 n=291	中央部北 東 n=237	東部 n=73	西部 n=294	10・20歳 代 n=87	30歳代 n=107	40歳代 n=104	50歳代 n=164	60歳代 n=125	70歳代 n=165	80歳以上 n=142
いつでもどこでも届出や申請ができる (オンライン申請)	51.6	49.5	52.3	53.4	53.7	72.4	72.0	63.5	61.0	49.6	36.4	26.1
オンラインで施設利用状況の確認や 予約ができる(施設予約システム)	30.8	28.2	33.8	32.9	31.3	50.6	50.5	50.0	34.8	22.4	13.3	14.8
スマホなどから相談や講座などへの 参加ができる(オンライン・チャット相談)	19.7	17.5	21.5	30.1	17.0	29.9	21.5	26.0	21.3	18.4	11.5	14.8
キャッシュレスで税金や手数料・利用料など の支払いができる(キャッシュレス)	28.2	27.8	25.3	35.6	30.6	48.3	53.3	35.6	33.5	22.4	13.3	11.3
窓口での手続時に申請書などを書かなくて 良い(書かない窓口)	45.4	47.1	42.6	43.8	46.9	46.0	55.1	38.5	52.4	43.2	39.4	45.1
届出や申請に必要な添付書類が減る (情報連携)	34.4	34.0	32.9	32.9	37.1	39.1	43.9	43.3	47.0	34.4	21.2	20.4
知りたい情報が簡単な操作で いつでも手に入る(チャットボット)	24.2	24.1	24.9	20.5	24.8	32.2	17.8	28.8	25.0	20.8	28.5	17.6
行政が保有するデータを加工・利用できる (オープンデータ活用)	5.2	3.8	5.9	6.8	6.1	4.6	8.4	5.8	6.1	4.0	5.5	3.5
災害や事故などの発生時に被害や状況等の 情報共有ができる(情報共有)	38.8	34.7	41.8	47.9	39.5	42.5	39.3	46.2	44.5	42.4	34.5	28.2
デジタルに関する不安や悩みを相談できる (デジタルデバйд対策)	12.3	12.4	10.5	13.7	13.6	9.2	5.6	10.6	10.4	18.4	15.8	14.1
公共Wi-Fiが整備されて行政や地域との つながりの接点になる(公共Wi-Fi)	27.0	28.9	27.0	26.0	26.5	47.1	28.0	43.3	32.9	22.4	19.4	10.6
困りごとと助けたい人をデジタル技術を活用 して結びつける仕組みづくり(シェアリング)	14.1	14.4	13.9	11.0	15.3	12.6	15.0	21.2	14.0	13.6	9.7	15.5
その他	4.3	5.8	4.2	1.4	2.7	1.1	1.9	2.9	1.8	5.6	4.8	8.5

(網掛け)は上位3項目

問 26 熊野町の町政に関する情報を主にどこから入手していますか。(MA)

「町の広報紙」が82.1%で最も高くなっています。次いで「町内放送(防災行政無線)」が32.0%、「町のホームページ」が28.2%で続いています。

(MA) n=1,002



年代別では、他の年代に比べて『10・20 歳代』で「親族(親、兄弟姉妹など)」の割合が高くなっており、『30 歳代』『40 歳代』で「LINE」、『50 歳代』で「町のホームページ」、『70 歳代』で「町の広報紙」の割合が高くなっています。

	全体 n=1,002	地区				年齢区分							
		中央部南 西 n=317	中央部北 東 n=259	東部 n=82	西部 n=322	10・20歳 代 n=87	30歳代 n=109	40歳代 n=109	50歳代 n=171	60歳代 n=136	70歳代 n=191	80歳以上 n=176	
町の広報紙	82.1	81.4	83.0	86.6	81.4	60.9	70.6	73.4	83.0	86.0	92.1	90.9	
町のホームページ	28.2	30.3	27.8	28.0	27.0	34.5	33.9	35.8	39.8	31.6	23.0	9.1	
町内放送(防災行政無線)	32.0	30.0	34.4	40.2	30.1	35.6	21.1	28.4	32.2	28.7	37.2	35.8	
LINE	27.1	22.7	31.7	28.0	27.6	32.2	47.7	42.2	39.8	25.0	13.1	6.8	
町が作成したチラシやパンフレット	20.6	19.6	22.4	20.7	19.9	12.6	18.3	18.3	12.3	18.4	27.7	29.0	
保育所、認定こども園、学校	4.8	5.0	5.4	3.7	4.0	8.0	14.7	12.8	3.5	0.7	1.0	－	
福祉施設	1.8	1.3	2.7	－	1.9	1.1	0.9	0.9	0.6	2.2	2.1	3.4	
老人集会所、コミュニティセンター	3.5	2.5	3.5	4.9	3.7	－	0.9	0.9	0.6	0.7	5.8	10.2	
役場で直接職員に聞く	7.1	8.8	6.9	－	6.8	2.3	4.6	6.4	8.2	3.7	9.9	9.1	
テレビ、ラジオ、新聞	10.3	9.8	13.1	11.0	8.7	2.3	2.8	6.4	7.6	9.6	15.7	19.3	
隣近所の人、友人・知人	14.6	12.6	16.2	15.9	14.9	10.3	8.3	10.1	11.7	15.4	16.2	23.3	
親族(親、兄弟姉妹など)	9.7	9.8	11.6	12.2	8.1	34.5	13.8	10.1	4.7	5.1	4.2	10.2	
情報の入手先がない	1.7	1.9	1.9	1.2	1.6	3.4	0.9	1.8	3.5	2.2	－	1.1	
情報の入手手段がわからない	2.7	2.5	2.7	2.4	2.5	2.3	0.9	4.6	1.8	1.5	2.1	4.5	
その他	1.4	1.3	1.5	－	1.6	1.1	2.8	1.8	0.6	1.5	1.0	1.1	

(網掛け)は上位3項目

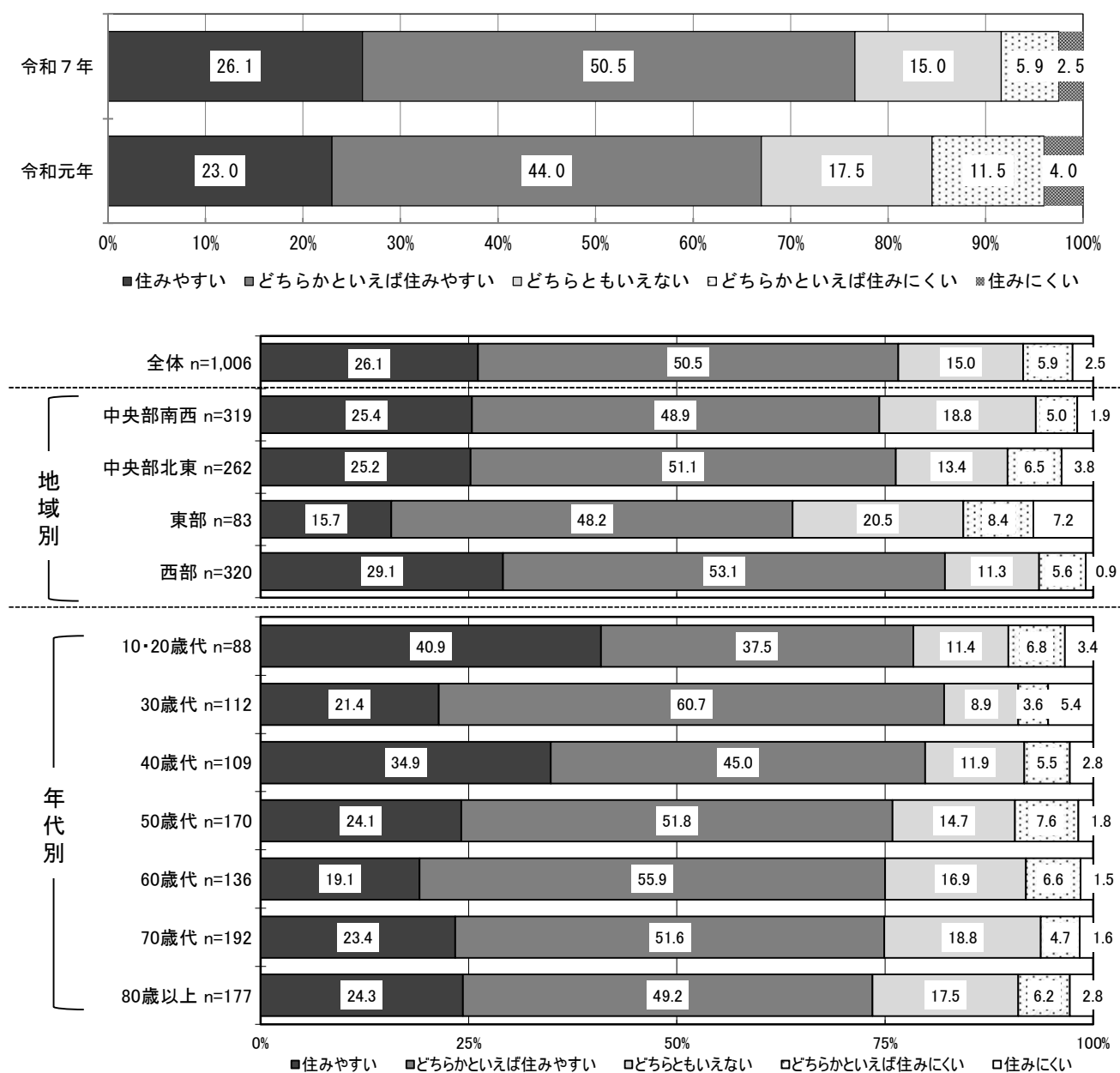
3. まちの住みやすさについて

問 27 あなたは、熊野町の住みやすさについてどのように思われますか。(SA)

「どちらかといえば住みやすい」が 50.5%を占めています。次いで「住みやすい」が 26.1%、「どちらともいえない」が 15.0%で続いています。住みやすい層(「住みやすい」+「どちらかといえば住みやすい」)は7割以上となっています。

前回調査と比較すると、「住みやすい」+「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合が高くなっています。

年代別では、他の年代に比べて『10・20 歳代』で「住みやすい」、『30 歳代』で「どちらかといえば住みやすい」の割合が高くなっています。

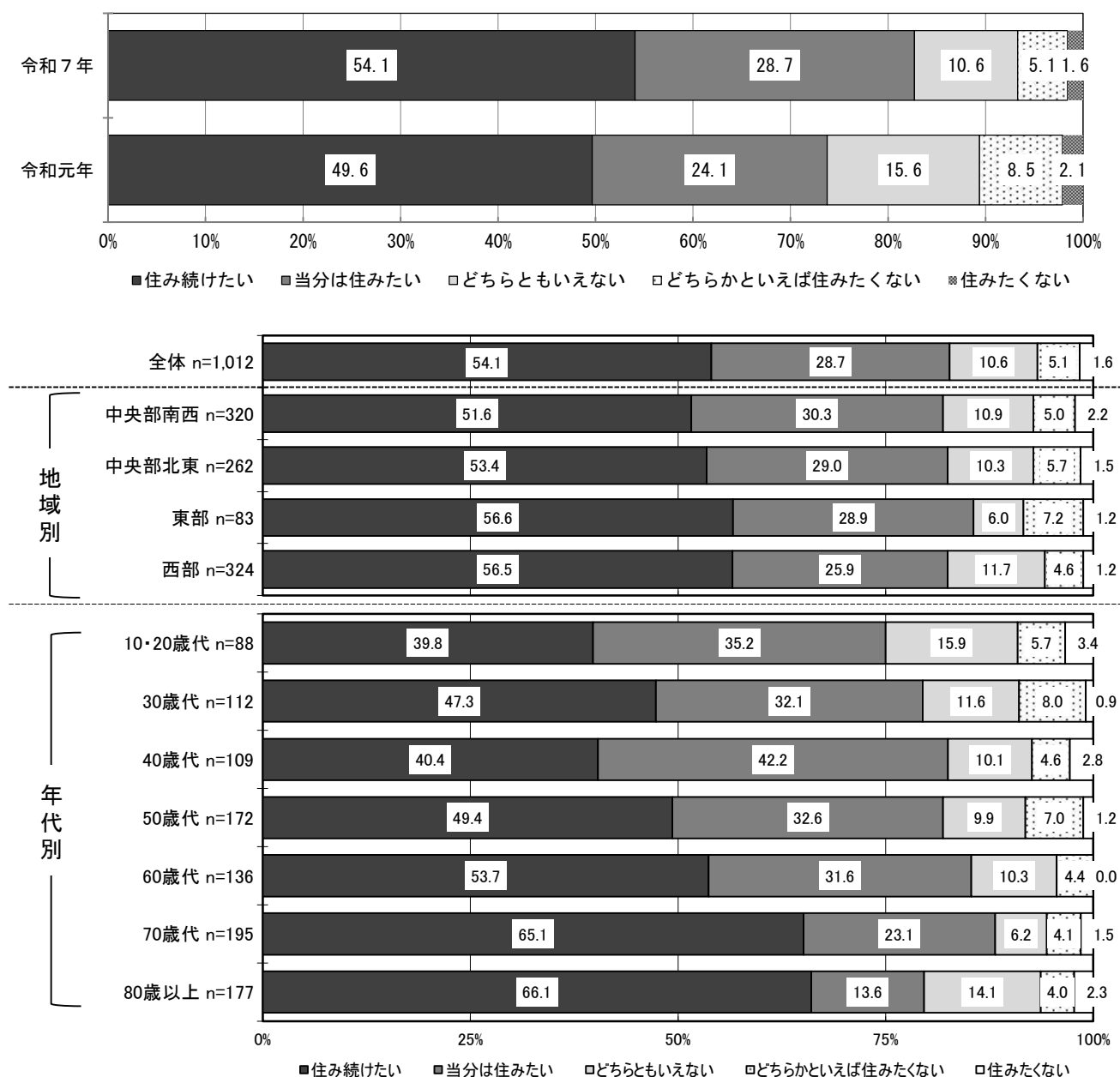


問 28 あなたは、今後も熊野町に住み続けたいと思いますか。(SA)

「住み続けたい」が 54.1%を占めています。次いで「当分は住みたい」が 28.7%、「どちらともいえない」が 10.6%で続いています。

前回調査と比較すると、「住み続けたい」+「当分は住みたい」を合わせた割合が高くなっています。

年代別では、他の年代に比べて『40 歳代』で「当分は住みたい」、『70 歳代』『80 歳以上』で、「住み続けたい」の割合が高くなっています。

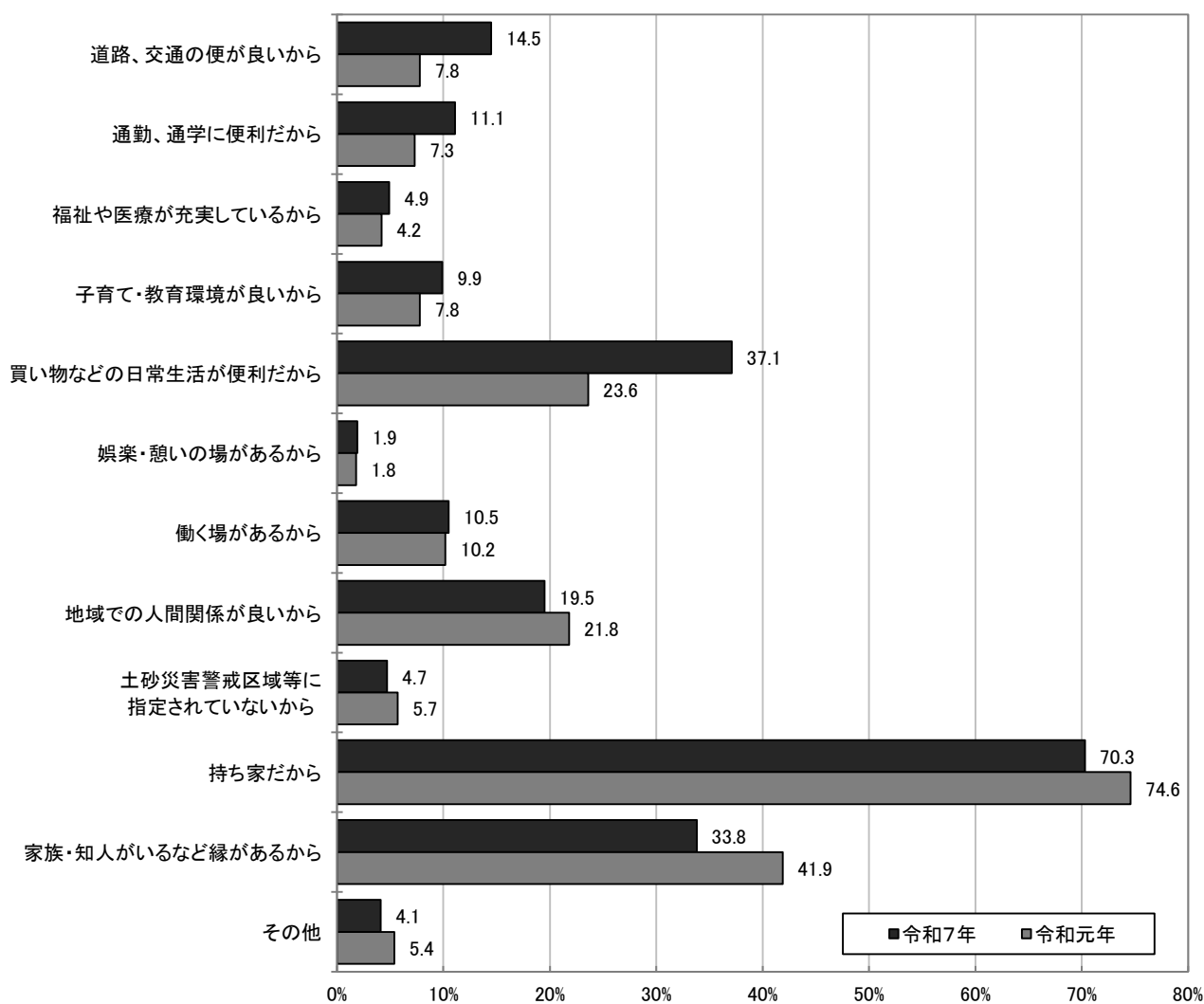


※ 問 28 で「1. 住み続けたい」「2. 当分は住みたい」を選択した方におうかがいします。

問 29 （住み続けたい）その理由は何ですか。（MA）

「持ち家だから」が 70.3%で最も高くなっています。次いで「買い物などの日常生活が便利だから」が 37.1%、「家族・知人がいるなど縁があるから」が 33.8%が続いています。

前回調査と比較すると、「買い物などの日常生活が便利だから」の割合が高くなっています。



地域別では、他の地域に比べて『東部』で「持ち家だから」の割合が高くなっています。

年代別では、他の年代に比べて『10・20 歳代』で「子育て・教育環境が良いから」の割合が高くなっており、『30 歳代』で「子育て・教育環境が良いから」「通勤、通学に便利だから」、『40 歳代』で「通勤、通学に便利だから」、『70 歳代』で「持ち家だから」の割合が高くなっています。

	全体 n=832	地区				年齢区分							
		中央部南 西 n=261	中央部北 東 n=213	東部 n=71	西部 n=266	10・20歳 代 n=66	30歳代 n=89	40歳代 n=89	50歳代 n=139	60歳代 n=116	70歳代 n=171	80歳以上 n=140	
道路、交通の便が良いから	14.5	9.2	16.0	4.2	21.1	16.7	14.6	13.5	12.9	12.9	15.2	15.7	
通勤、通学に便利だから	11.1	11.1	10.8	11.3	12.0	19.7	23.6	23.6	15.1	8.6	2.3	1.4	
福祉や医療が充実しているから	4.9	5.0	5.6	5.6	3.4	4.5	3.4	2.2	3.6	4.3	7.0	5.7	
子育て・教育環境が良いから	9.9	10.3	7.0	7.0	12.0	27.3	30.3	14.6	7.9	4.3	1.8	1.4	
買い物などの日常生活が便利だから	37.1	41.0	36.2	19.7	38.3	37.9	34.8	34.8	41.0	37.9	38.6	32.1	
娯楽・憩いの場があるから	1.9	1.9	1.9	4.2	1.5	1.5	—	2.2	3.6	—	2.3	2.9	
働く場があるから	10.5	8.4	16.4	9.9	7.5	7.6	14.6	18.0	15.8	14.7	4.7	2.1	
地域での人間関係が良いから	19.5	19.2	19.2	15.5	21.1	21.2	12.4	20.2	19.4	13.8	22.8	22.9	
土砂災害警戒区域等に 指定されていないから	4.7	2.7	4.7	1.4	6.8	—	4.5	2.2	5.0	3.4	4.7	7.9	
持ち家だから	70.3	68.6	72.8	83.1	66.9	30.3	73.0	61.8	66.9	78.4	80.7	77.9	
家族・知人がいるなど縁があるから	33.8	35.2	38.0	31.0	29.3	42.4	28.1	33.7	36.0	29.3	32.7	35.7	
その他	4.1	4.6	3.3	9.9	2.3	7.6	1.1	7.9	2.9	1.7	5.3	2.9	

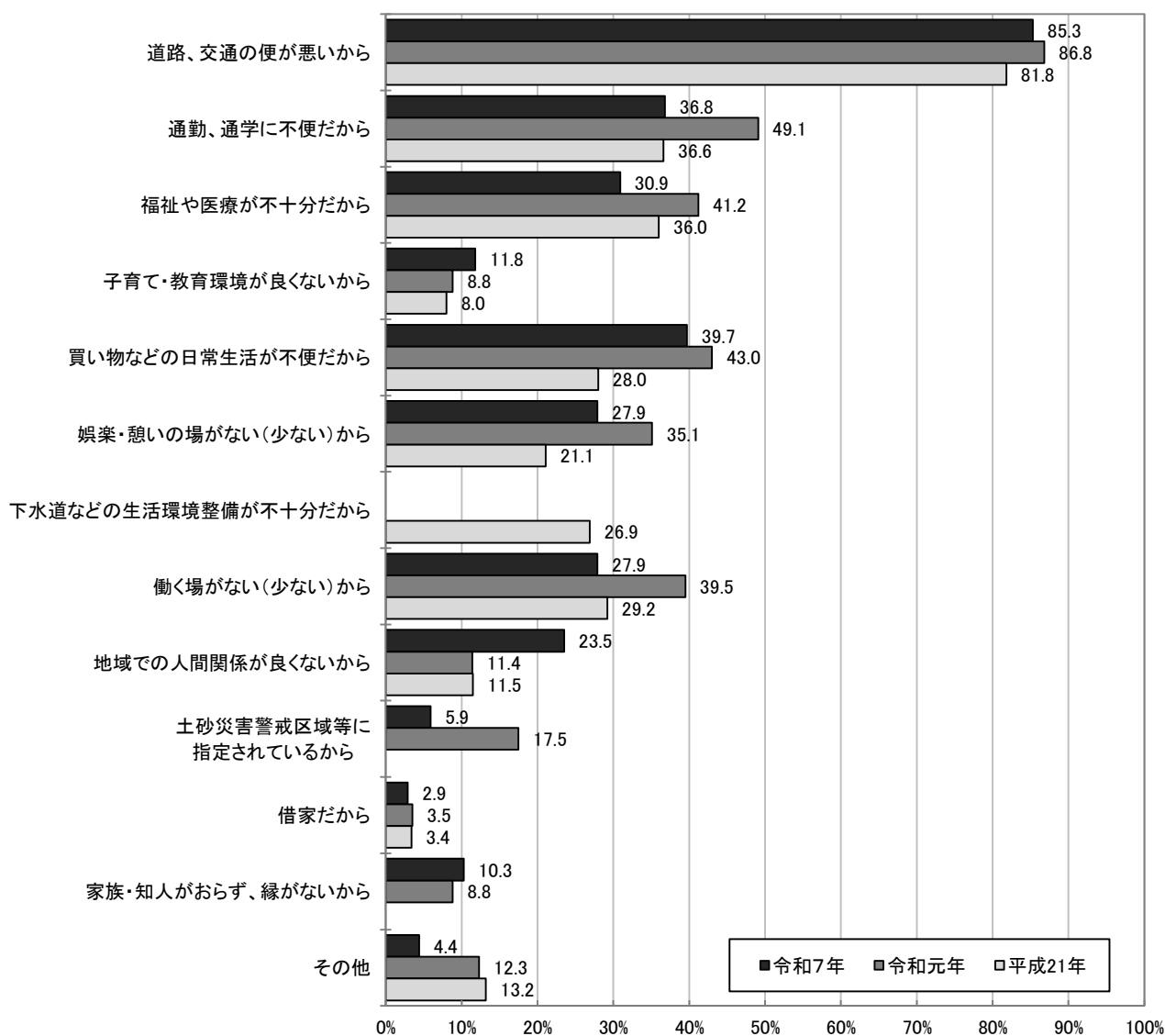
(網掛け)は上位3項目

※ 問28で「4.どちらかといえば住みたくない」「5.住みたくない」を選択した方におうかがいします。

問30 (住みたくない) その理由は何ですか。(MA)

「道路、交通の便が悪いから」が85.3%で最も高くなっています。次いで「買い物などの日常生活が不便だから」が39.7%、「通勤、通学に不便だから」が36.8%が続いています。

前回調査と比較すると、「地域での人間関係が良くないから」の順に割合が高くなっています。



地域別では、他の地域に比べて『中央部北東』で「通勤、通学に不便だから」、『西部』で、「娯楽・憩いの場がない(少ない)から」「働く場がない(少ない)から」「地域での人間関係が良くないから」の割合が高くなっています。

	全体 n=68	地区				年齢区分							
		中央部南 西 n=23	中央部北 東 n=19	東部 n=7	西部 n=19	10・20歳 代 n=8	30歳代 n=10	40歳代 n=8	50歳代 n=14	60歳代 n=6	70歳代 n=11	80歳以上 n=11	
道路、交通の便が悪いから	85.3	82.6	94.7	85.7	78.9	100.0	90.0	87.5	92.9	100.0	63.6	72.7	
通勤、通学に不便だから	36.8	39.1	52.6	28.6	21.1	62.5	30.0	37.5	50.0	50.0	27.3	9.1	
福祉や医療が不十分だから	30.9	17.4	36.8	42.9	36.8	25.0	40.0	25.0	28.6	50.0	27.3	27.3	
子育て・教育環境が良くないから	11.8	4.3	15.8	14.3	15.8	25.0	10.0	25.0	—	—	9.1	18.2	
買い物などの日常生活が不便だから	39.7	34.8	36.8	42.9	47.4	50.0	40.0	25.0	42.9	16.7	27.3	63.6	
娯楽・憩いの場がない(少ない)から	27.9	21.7	26.3	14.3	42.1	25.0	70.0	37.5	14.3	16.7	18.2	18.2	
働く場がない(少ない)から	27.9	21.7	15.8	28.6	47.4	37.5	30.0	25.0	14.3	16.7	45.5	27.3	
地域での人間関係が良くないから	23.5	13.0	31.6	—	36.8	12.5	10.0	12.5	7.1	33.3	27.3	63.6	
土砂災害警戒区域等に 指定されているから	5.9	8.7	5.3	—	5.3	—	—	—	7.1	—	18.2	9.1	
借家だから	2.9	4.3	—	—	5.3	—	10.0	—	—	—	9.1	—	
家族・知人がおらず、縁がないから	10.3	13.0	5.3	—	15.8	—	10.0	12.5	14.3	16.7	9.1	9.1	
その他	4.4	4.3	—	14.3	5.3	—	10.0	12.5	7.1	—	—	—	

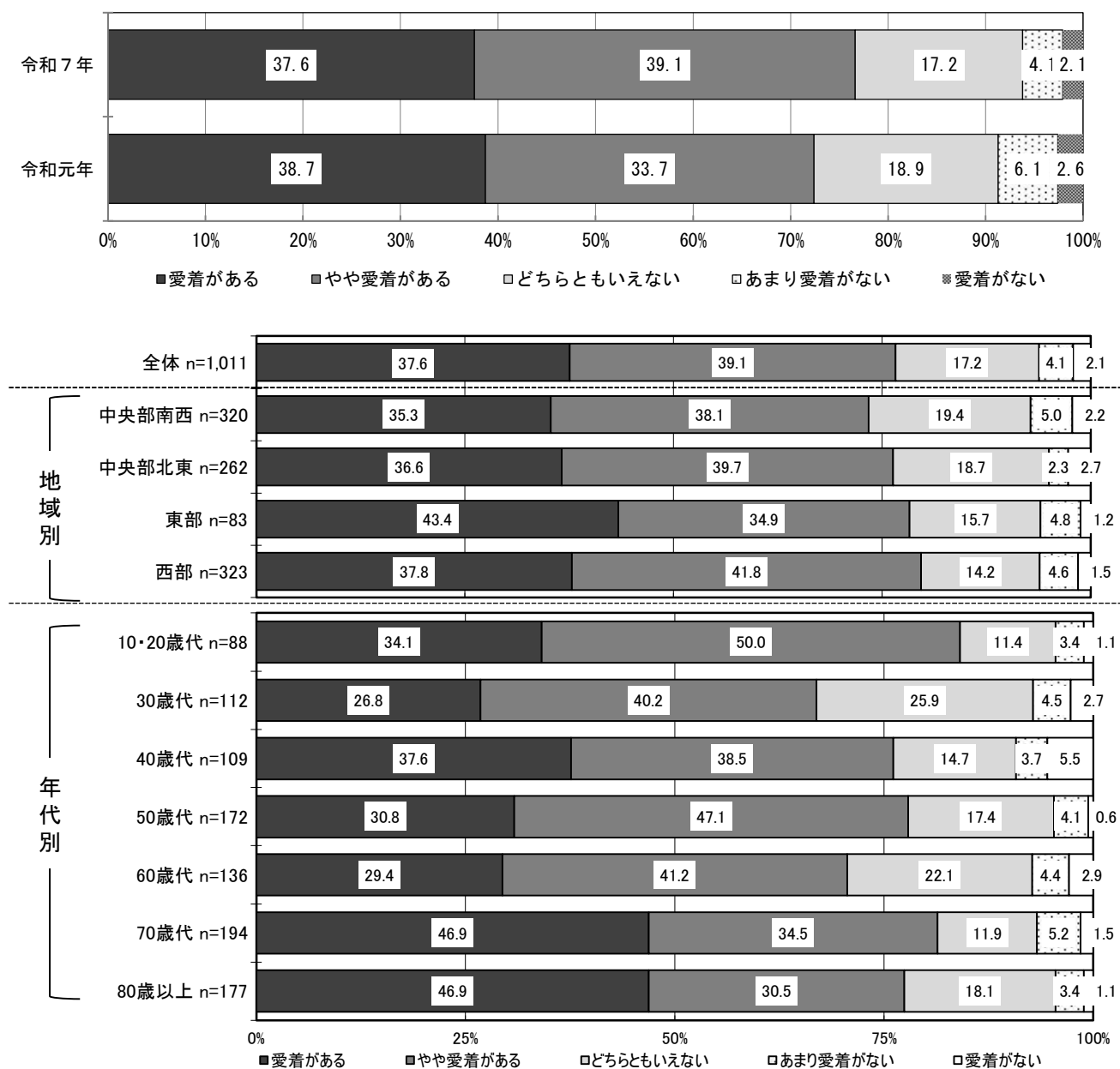
(網掛け)は上位3項目

問 31 あなたは、熊野町に愛着を持っていますか。(SA)

「やや愛着がある」が 39.1%で最も高くなっています。次いで、「愛着がある」が 37.6%、「どちらともいえない」が 17.2%で続いています。

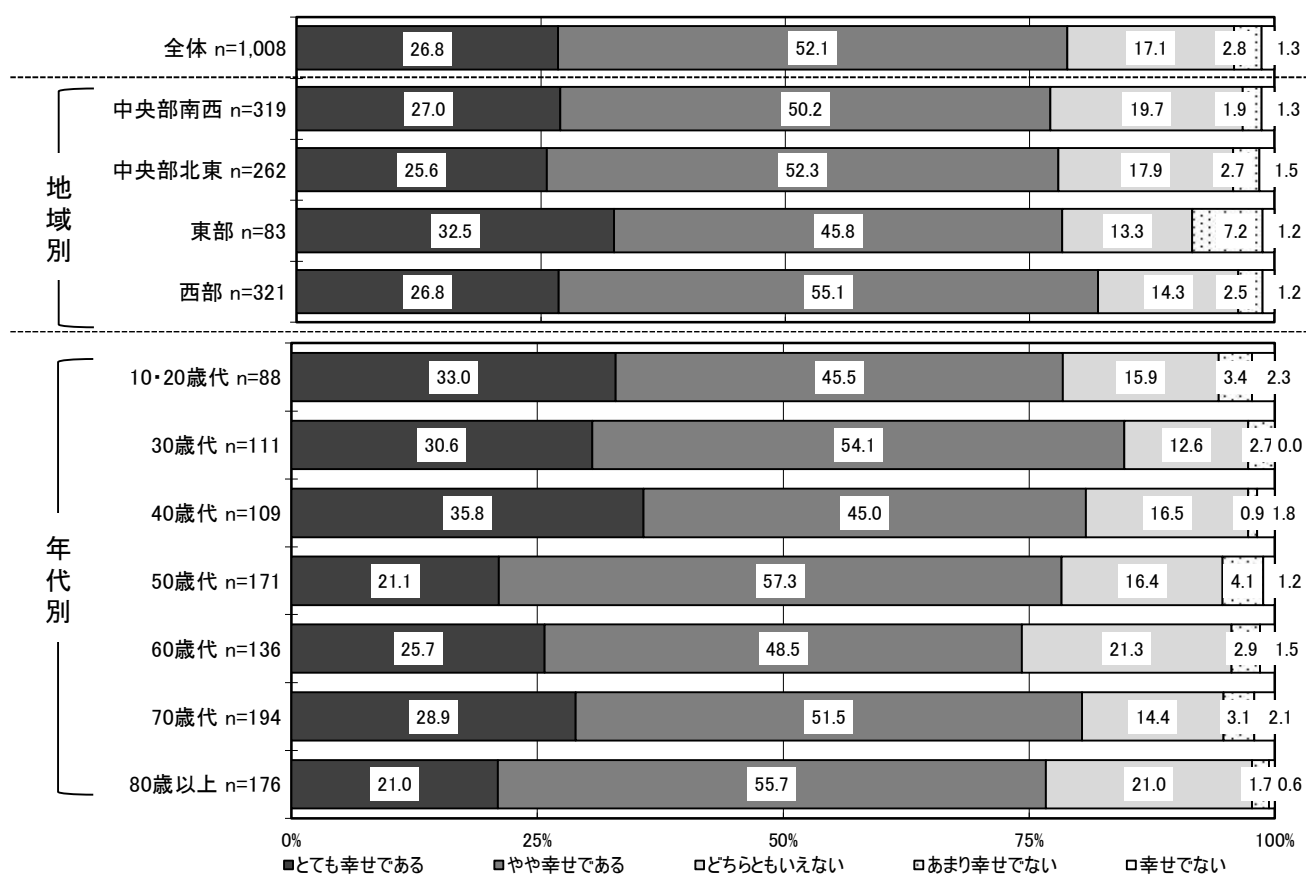
前回調査と比較すると、「愛着がある」+「やや愛着がある」を合わせた割合が高くなっています。

年代別では、他の年代に比べて『10・20 歳代』で「やや愛着がある」の割合が高くなっています。



問 32 現在、あなたは、どの程度幸せですか。(SA)

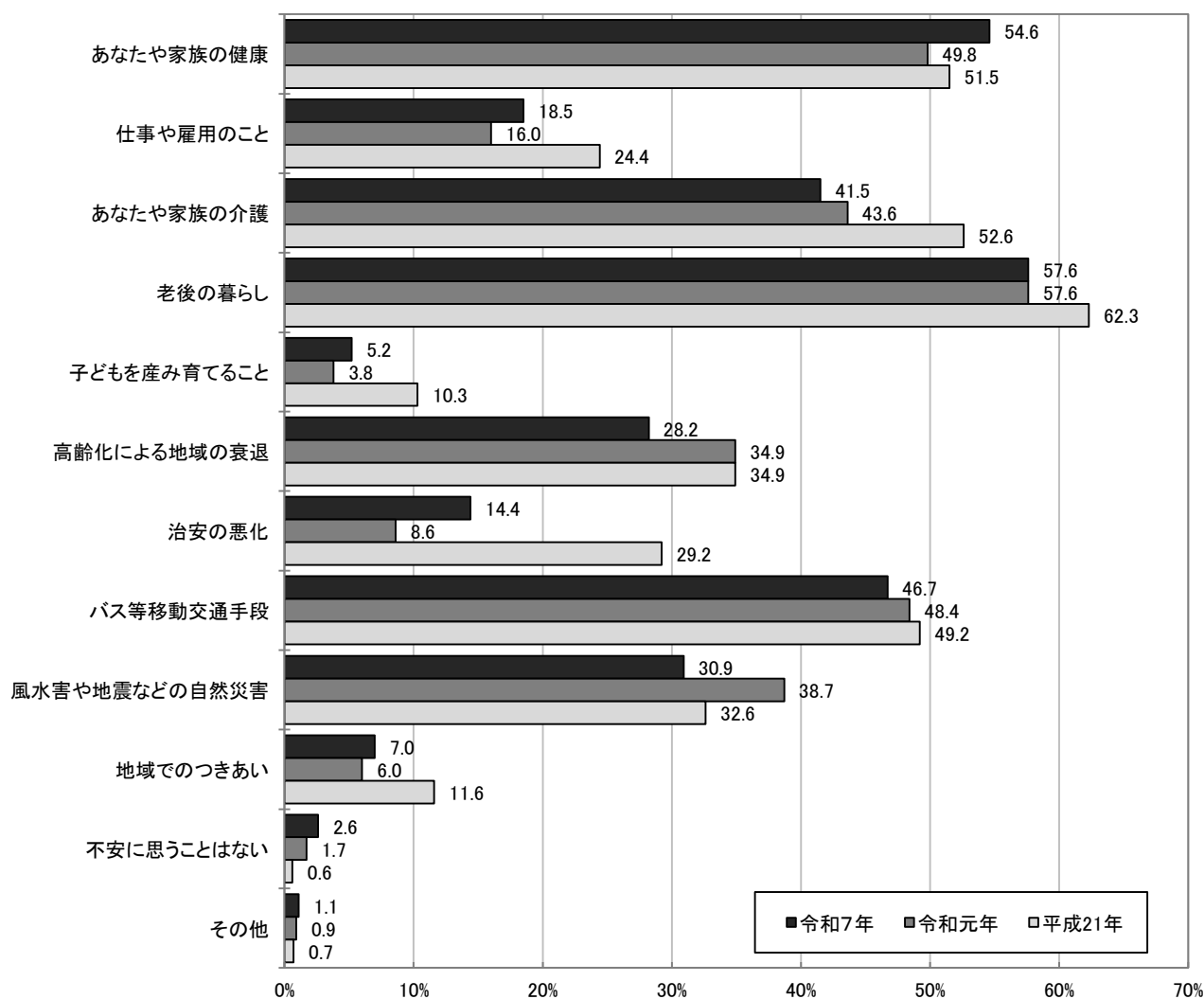
「やや幸せである」が52.1%で最も高くなっています。次いで「とても幸せである」が26.8%、「どちらともいえない」が17.1%が続いています。



4. 今後のまちづくりについて

問 33 あなたは、将来に対して、どのようなことが不安ですか。(MA)

「老後の暮らし」が 57.6%で最も高くなっています。次いで「あなたや家族の健康」が 54.6%、「バス等移動交通手段」が 46.7%で続いています。



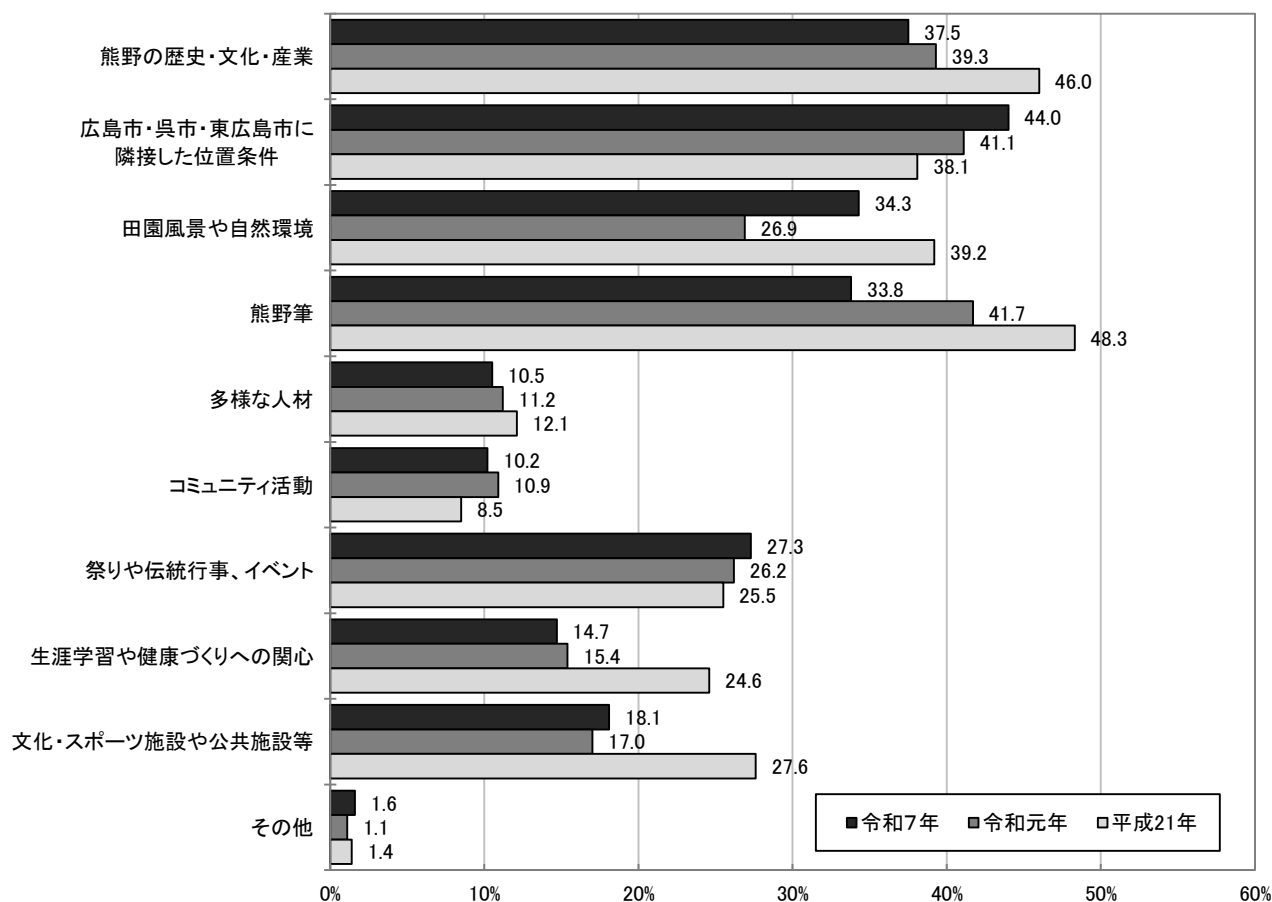
年代別では、他の年代に比べて『10・20 歳代』『30 歳代』で「仕事や雇用のこと」「子どもを産み育てること」、『40 歳代』で「仕事や雇用のこと」、『50 歳代』で「あなたや家族の介護」「老後の暮らし」の割合が高くなっています。

	全体 n=1,016	地区				年齢区分							
		中央部南 西 n=324	中央部北 東 n=257	東部 n=84	西部 n=328	10・20歳 代 n=89	30歳代 n=111	40歳代 n=108	50歳代 n=173	60歳代 n=137	70歳代 n=194	80歳以上 n=180	
あなたや家族の健康	54.6	50.6	59.9	44.0	57.6	40.4	55.0	53.7	59.0	56.9	58.2	52.8	
仕事や雇用のこと	18.5	21.3	17.5	14.3	18.0	39.3	39.6	32.4	27.2	9.5	3.6	2.2	
あなたや家族の介護	41.5	41.7	42.4	36.9	42.1	34.8	34.2	43.5	56.1	42.3	35.1	40.6	
老後の暮らし	57.6	58.0	54.1	56.0	60.7	37.1	63.1	63.9	76.3	59.1	54.6	45.0	
子どもを産み育てること	5.2	6.5	3.9	2.4	5.8	19.1	18.9	7.4	—	0.7	1.5	1.1	
高齢化による地域の衰退	28.2	27.2	28.4	35.7	25.9	33.7	24.3	30.6	24.9	24.1	29.4	29.4	
治安の悪化	14.4	14.8	13.2	14.3	13.7	22.5	18.0	20.4	15.0	13.1	8.8	8.9	
バス等移動交通手段	46.7	47.5	48.2	53.6	43.9	47.2	53.2	43.5	54.3	52.6	37.1	45.0	
風水害や地震などの自然災害	30.9	31.8	31.5	34.5	28.0	40.4	36.9	29.6	37.6	32.1	21.1	25.0	
地域でのつきあい	7.0	7.4	7.4	6.0	5.8	9.0	9.0	8.3	6.9	5.1	2.1	9.4	
不安に思うことはない	2.6	2.8	2.3	1.2	2.7	3.4	1.8	3.7	0.6	0.7	4.6	2.8	
その他	1.1	0.6	0.8	2.4	0.9	2.2	—	0.9	0.6	0.7	0.5	1.7	

(網掛け)は上位3項目

問 34 あなたは、熊野町のこれからのまちづくりにおいて、活かしていきたいことや大切にしていきたいことは何だと思われますか。(MA)

「広島市・呉市・東広島市に隣接した位置条件」が 44.0%で最も高くなっています。次いで「熊野の歴史・文化・産業」が 37.5%、「田園風景や自然環境」が 34.3%が続いています。



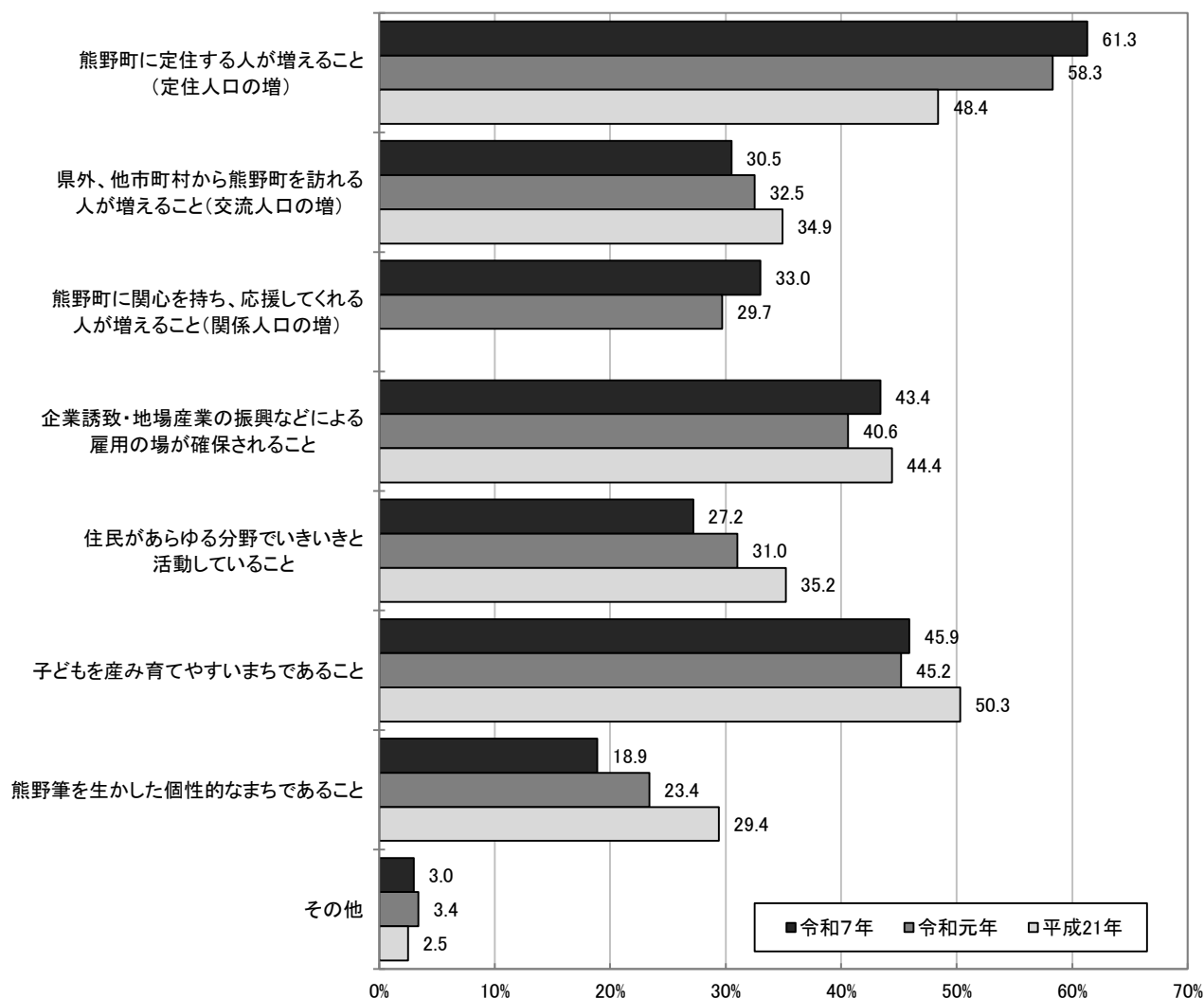
年代別では、他の年代に比べて『10・20 歳代』で「熊野筆」「祭りや伝統行事、イベント」、『30 歳代』で「祭りや伝統行事、イベント」、『80 歳以上』で、「熊野の歴史・文化・産業」の割合が高くなっています。

	全体 n=960	地区				年齢区分							
		中央部南 西 n=304	中央部北 東 n=246	東部 n=82	西部 n=306	10・20歳 代 n=89	30歳代 n=106	40歳代 n=105	50歳代 n=164	60歳代 n=129	70歳代 n=176	80歳以上 n=168	
熊野の歴史・文化・産業	37.5	43.4	38.2	30.5	34.0	38.2	31.1	38.1	32.9	36.4	37.5	47.6	
広島市・呉市・東広島市に隣接した位置条件	44.0	40.1	45.5	42.7	46.7	44.9	51.9	42.9	50.6	45.7	40.3	34.5	
田園風景や自然環境	34.3	35.2	32.1	42.7	32.0	27.0	27.4	41.0	31.7	32.6	35.2	39.9	
熊野筆	33.8	38.2	31.3	28.0	33.3	51.7	34.9	40.0	40.9	34.9	22.2	25.0	
多様な人材	10.5	8.9	11.0	6.1	12.1	6.7	5.7	16.2	10.4	8.5	10.2	12.5	
コミュニティ活動	10.2	8.6	8.9	3.7	14.1	11.2	6.6	6.7	13.4	14.7	6.3	10.7	
祭りや伝統行事、イベント	27.3	29.6	25.6	24.4	27.1	56.2	41.5	32.4	23.8	19.4	16.5	20.8	
生涯学習や健康づくりへの関心	14.7	11.8	17.1	18.3	14.4	6.7	3.8	15.2	12.2	17.8	19.9	19.0	
文化・スポーツ施設や公共施設等	18.1	16.8	20.3	12.2	19.9	24.7	27.4	18.1	14.0	20.2	15.3	15.5	
その他	1.6	2.0	1.6	-	1.6	-	1.9	1.9	1.2	2.3	1.1	2.4	

(網掛け)は上位3項目

問 35 あなたは熊野町の活性化には、どのようなことが必要だと思いますか。(MA)

「熊野町に定住する人が増えること(定住人口の増)」が 61.3%で最も高くなっています。次いで「子どもを産み育てやすいまちであること」が 45.9%、「企業誘致・地場産業の振興などによる雇用の場が確保されること」が 43.4%で続いています。



年代別では、他の年代に比べて『10・20 歳代』で「県外、他市町村から熊野町を訪れる人が増えること（交流人口の増）」「子どもを産み育てやすいまちであること」「熊野筆を生かした個性的なまちであること」、『30 歳代』で「企業誘致・地場産業の振興などによる雇用の場が確保されること」「子どもを産み育てやすいまちであること」、『40 歳代』で「熊野町に関心を持ち、応援してくれる人が増えること（関係人口の増）」の割合が高くなっています。

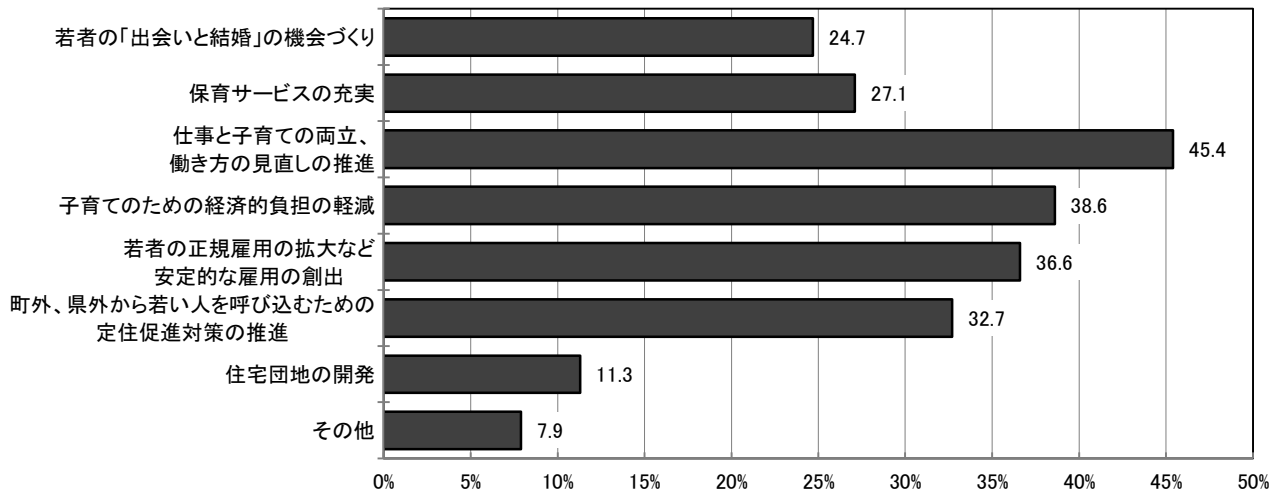
	全体 n=999	地区				年齢区分							
		中央部南 西 n=318	中央部北 東 n=255	東部 n=83	西部 n=319	10・20歳 代 n=89	30歳代 n=111	40歳代 n=106	50歳代 n=169	60歳代 n=135	70歳代 n=191	80歳以上 n=174	
熊野町に定住する人が増えること (定住人口の増)	61.3	59.7	57.3	67.5	64.9	58.4	54.1	54.7	62.1	57.0	68.6	66.7	
県外、他市町村から熊野町を訪れる 人が増えること(交流人口の増)	30.5	26.7	30.2	27.7	35.7	42.7	33.3	34.9	26.0	25.2	23.0	36.8	
熊野町に関心を持ち、応援してくれる 人が増えること(関係人口の増)	33.0	35.2	32.9	30.1	31.7	33.7	27.0	43.4	29.0	28.9	27.7	42.5	
企業誘致・地場産業の振興などによる 雇用の場が確保されること	43.4	39.9	47.8	47.0	43.3	42.7	55.9	51.9	47.9	41.5	33.5	40.2	
住民があらゆる分野でいきいきと 活動していること	27.2	27.0	28.6	26.5	26.3	24.7	20.7	28.3	25.4	27.4	32.5	27.0	
子どもを産み育てやすいまちであること	45.9	45.6	46.3	44.6	46.1	60.7	71.2	53.8	43.2	51.9	35.6	26.4	
熊野筆を生かした個性的なまちであること	18.9	21.1	20.4	18.1	15.7	31.5	16.2	24.5	17.8	17.8	11.0	21.8	
その他	3.0	3.1	5.1	-	1.6	5.6	7.2	0.9	3.0	0.7	3.1	1.1	

(網掛け)は上位3項目

問 36 あなたは、今後、熊野町の人口を維持、増加するためには、どのような対策が必要だと思いますか。(MA)

「仕事と子育ての両立、働き方の見直しの推進」が 45.4%で最も高くなっています。次いで「子育てのための経済的負担の軽減」が 38.6%、「若者の正規雇用の拡大など安定的な雇用の創出」が 36.6%が続いています。

(MA) n=984



年代別では、他の年代に比べて『10・20 歳代』『30 歳代』で「保育サービスの充実」「子育てのための経済的負担の軽減」、『40 歳代』で「子育てのための経済的負担の軽減」、『80 歳以上』で、「若者の「出会いと結婚」の機会づくり」の割合が高くなっています。

	全体 n=984	地区				年齢区分							
		中央部南 西 n=316	中央部北 東 n=249	東部 n=79	西部 n=317	10・20歳 代 n=89	30歳代 n=111	40歳代 n=107	50歳代 n=169	60歳代 n=133	70歳代 n=185	80歳以上 n=166	
若者の「出会いと結婚」の機会づくり	24.7	25.3	25.3	25.3	24.0	30.3	15.3	16.8	18.3	21.1	24.9	43.4	
保育サービスの充実	27.1	24.1	25.7	25.3	31.9	41.6	49.5	35.5	24.9	27.1	17.8	12.0	
仕事と子育ての両立、 働き方の見直しの推進	45.4	41.5	44.2	36.7	52.4	49.4	52.3	51.4	47.3	44.4	40.5	39.2	
子育てのための経済的負担の軽減	38.6	39.6	36.9	31.6	41.3	64.0	66.7	56.1	38.5	30.8	21.1	22.3	
若者の正規雇用の拡大など 安定的な雇用の創出	36.6	36.7	34.1	45.6	36.6	28.1	27.0	43.9	36.1	38.3	38.4	41.0	
町外、県外から若い人を呼び込むための 定住促進対策の推進	32.7	29.7	34.1	35.4	34.7	32.6	27.9	29.0	36.1	25.6	37.3	36.7	
住宅団地の開発	11.3	10.8	13.3	10.1	10.4	5.6	11.7	5.6	14.8	12.8	12.4	11.4	
その他	7.9	7.6	7.6	7.6	8.5	9.0	16.2	9.3	11.2	6.0	2.7	4.8	

(網掛けは上位3項目)

問 37 あなたが思う熊野町の良いところ、自慢できること・ものは何ですか。(FA)

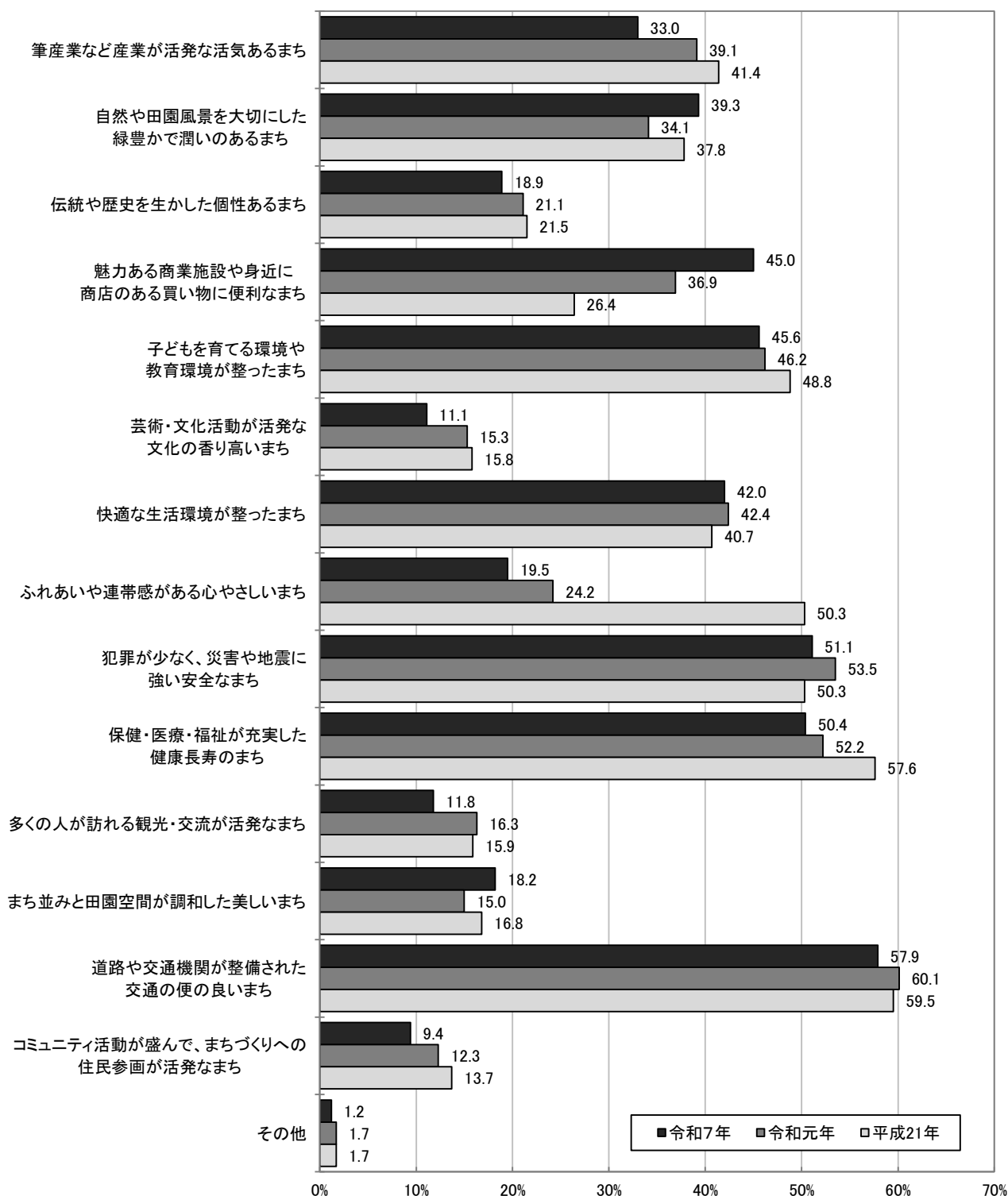
項目	件数
自然が豊か	121 件
熊野筆の産業が有名	117 件
周辺市町へのアクセスが良い	80 件
商業施設が充実して買い物など町内で完結する	73 件
町民がやさしい	44 件
住みやすい	31 件
ほどよく田舎である	30 件
静か、穏やか、のどか	29 件

項目	件数
子育てがしやすい	27 件
空気がきれい	26 件
運転免許がなければ難しい	20 件
教育機関が多い	19 件
大型ゴミが無料、ゴミ袋の指定がない	14 件
医療施設が整っている	14 件
自治体の取組が積極的、混んでいない	12 件
イベントが充実している	12 件
町長がしっかりしている、役場の職員が親切で相談しやすい	9 件
治安が良い、災害も少ない	9 件
スポーツが盛んなこと	7 件
雇用を活性化している	5 件
熊野町のクーポンがある	4 件
福祉に力を入れている	4 件
土地や家賃が安い	3 件
公園が多い	3 件
その他	29 件
意見総数（回答者数 431 名）	742 件

問 38 あなたは、熊野町が将来どのようなまちであれば良いと思いますか。(MA)

「道路や交通機関が整備された交通の便の良いまち」が 57.9%で最も高くなっています。次いで「犯罪が少なく、災害や地震に強い安全なまち」が 51.1%、「保健・医療・福祉が充実した健康長寿のまち」が 50.4%で続いています。

前回調査と比較すると、「自然や田園風景を大切にした緑豊かで潤いのまるまち」「魅力ある商業施設や身近に商店のある買い物に便利なまち」の割合が高くなっています。



地域別では、他の地域に比べて『東部』で「自然や田園風景を大切にしたい緑豊かで潤いのあるまち」の割合が高くなっています。

年代別では、他の年代に比べて『10・20 歳代』で「子どもを育てる環境や教育環境が整ったまち」の割合が高くなっており、『30 歳代』で「子どもを育てる環境や教育環境が整ったまち」、「犯罪が少なく、災害や地震に強い安全なまち」の割合が高くなっており、『40 歳代』で「伝統や歴史を生かした個性あるまち」、「子どもを育てる環境や教育環境が整ったまち」、「快適な生活環境が整ったまち」の割合が高くなっています。

	全体 n=1,004	地区				年齢区分							
		中央部南 西 n=322	中央部北 東 n=253	東部 n=84	西部 n=321	10・20歳 代 n=88	30歳代 n=110	40歳代 n=106	50歳代 n=172	60歳代 n=136	70歳代 n=190	80歳以上 n=178	
筆産業など産業が活発な活気あるまち	33.0	32.3	33.6	33.3	33.0	38.6	21.8	30.2	32.0	30.9	33.7	41.0	
自然や田園風景を大切にしたい 緑豊かで潤いのあるまち	39.3	39.8	34.4	51.2	38.3	31.8	33.6	45.3	34.9	36.8	41.1	45.5	
伝統や歴史を生かした個性あるまち	18.9	20.5	19.8	15.5	17.4	28.4	14.5	29.2	20.3	17.6	14.2	15.7	
魅力ある商業施設や身近に 商店のある買い物に便利なまち	45.0	46.3	48.2	42.9	42.4	50.0	48.2	50.9	50.6	40.4	36.3	44.9	
子どもを育てる環境や 教育環境が整ったまち	45.6	44.4	45.1	46.4	48.0	59.1	75.5	57.5	43.6	46.3	31.6	31.5	
芸術・文化活動が活発な 文化の香り高いまち	11.1	12.7	13.4	8.3	8.4	14.8	11.8	14.2	11.6	8.1	7.4	12.9	
快適な生活環境が整ったまち	42.0	41.6	41.5	39.3	44.2	46.6	46.4	52.8	50.6	39.7	35.3	32.0	
ふれあいや連帯感がある心やさしいまち	19.5	17.1	20.2	16.7	22.1	19.3	15.5	23.6	17.4	13.2	20.0	25.8	
犯罪が少なく、災害や地震に 強い安全なまち	51.1	49.7	51.8	48.8	53.6	55.7	62.7	53.8	56.4	52.2	38.4	49.4	
保健・医療・福祉が充実した 健康長寿のまち	50.4	50.9	47.8	47.6	53.9	48.9	51.8	47.2	55.8	50.0	43.7	56.2	
多くの人が訪れる観光・交流が活発なまち	11.8	11.2	11.9	15.5	11.2	18.2	15.5	15.1	13.4	8.1	6.3	11.2	
まち並みと田園空間が調和した美しいまち	18.2	17.7	16.2	20.2	20.2	26.1	14.5	27.4	23.8	13.2	10.5	18.5	
道路や交通機関が整備された 交通の便の良いまち	57.9	57.5	57.7	59.5	57.9	63.6	64.5	54.7	66.9	66.9	45.3	50.6	
コミュニティ活動が盛んで、まちづくりへの 住民参画が活発なまち	9.4	9.0	9.5	6.0	10.3	9.1	6.4	8.5	9.9	8.1	8.9	12.4	
その他	1.2	1.6	2.0	1.2	-	1.1	0.9	0.9	1.7	0.7	1.6	0.6	

(網掛け)は上位3項目

問 39 これからの熊野町のまちづくりについて、ご意見や提案（アイデア）をお持ちでしたら、どんなことでも結構ですので、自由に記入してください。（FA）

項目	件数
公共交通、交通網の整備など	84 件
道路やその周辺の整備	67 件
飲食店や商店、レジャー施設等の充実	43 件
住民の声を聞き、それが実感できるまち	22 件
子育て支援の充実	21 件
スポーツ関連の充実	20 件
総合病院の設置	19 件
筆産業の活性化	19 件
商業施設、複合施設の充実	18 件
渋滞の改善	17 件
交流・コミュニティ活動の充実	16 件
空き家、古民家の利活用	13 件
犯罪対策、治安の維持	13 件
車がないと生活できない	11 件
まちの格差の是正	10 件
企業誘致、大企業誘致の推進	10 件
小児科の設置	10 件
遊休地・竹林を整備・活用	9 件

項目	件数
公園の整備	9 件
教育環境の充実	8 件
広報など、市の情報提供や PR の充実	8 件
町への費用の補助（水道、通学費等）	7 件
就労環境の充実	6 件
学校給食について	6 件
河川の整備、活用	5 件
農業・地産地消の充実	5 件
デジタル化の推進	5 件
その他	104 件
意見総数（回答者数 407 名）	585 件